

2025年度「学生生活に関する調査」結果

(Web公開版)

事務局庶務課

目次

サマリー	学生生活に関する調査 結果報告	1
補足資料	分析・改善策／株式会社リアセック	10
第1章	学生生活の満足度	26
	【全体満足度】 本学での教育・学習、学生生活全体に関する満足度	27
	主要7項目の満足度比較① [n=「利用したことがない・わからない」を除く]	28
	主要7項目の満足度比較② [n=全員]	28
	問1 本学の授業やカリキュラム、履修制度全般に関する満足度	29
	問1-1 本学のカリキュラム（授業科目体系）の構成	30
	問1-2 シラバスのわかりやすさ	31
	問1-3 1学期ごとの履修登録単位数の制限	31
	問1-4 抽選となる科目の数	32
	問1-5 各科目の履修者数	32
	問1-6 受講している授業の内容や進め方	33
	問2 本学の学習支援制度や仕組み全般に関する満足度	33
	問2 本学の学習支援制度や仕組みに関する満足度（個別項目の相対比較①） n=「利用したことがない・わからない」を除く	34
	問2 本学の学習支援制度や仕組みに関する満足度（個別項目の相対比較②） n=全員の回答	35
	問2-1 アカデミックアドバイザーやオフィスアワー等の本学の学習をサポートする仕組み	35
	問2-2 地域交流活動（フィールドワークやボランティア等）を体験しての満足度	36
	問2-3 インターンシップを体験しての満足度（1）利用率比較	36
	問2-3 インターンシップを体験しての満足度（2）満足度比較	37
	問2-3 インターンシップを体験しての満足度（3）学科別比較	37
	問2-3 インターンシップを体験しての満足度（4）学科別比較	38
	問2-4 海外研修（短期留学、語学研修、オンライン留学等を含む）を体験しての満足度	38
	問2-5 英会話・韓国語サロンを体験しての満足度	39
	問3 本学の就職支援全般に関する満足度	39
	問3 本学のキャリア支援、キャリア教育に関する満足度（個別項目の相対比較①） n=「参加したことがない・わからない」を除く	40
	問3 本学のキャリア支援、キャリア教育に関する満足度（個別項目の相対比較②） n=全員の回答	41
	問3-1 就職相談（オンラインを含む面談・添削等）の満足度	41
	問3-2 授業におけるキャリア教育科目の満足度	42
	問3-3 就職ガイダンス・情報提供・説明会等についての満足度	43
	問4 本学の施設・設備等全般に関する満足度	44
	問4 本学の施設・設備等に関する満足度（個別項目の相対比較①） n=「参加したことがない・わからない」を除く	45
	問4 本学の施設・設備等に関する満足度（個別項目の相対比較②） n=全員	45
	問4-1 各施設の学生ラウンジ（KOMOREBI等）	46
	問4-2 学食	46
	問4-3 生協	47
	問4-4 大学バス	47
	問4-5 学内Wi-Fi	48
	問4-6 ポータル	48
	問4-7 トイレ	49
	問4-8 学生会館（新座キャンパス）	49
	問4-9 図書館	50
	問4-10 保健室	50
	問4-11 インタラクティブスペース	51
	問5 本学の窓口や相談方法全般に関する満足度	51
	問5 本学の窓口や相談方法に関する満足度（個別項目の相対比較①） n=「各利用者」	52
	問5 本学の窓口や相談方法に関する満足度（個別項目の相対比較②） n=全員	53
	問5-1 保健室の対応	53
	問5-2 学生課の対応	54
	問5-3 学生相談室の対応	54
	問5-4 学生支援室の対応	55
	問5-5 教務課の対応	55
	問5-6 庶務課の対応	56
	問5-7 地域交流課の対応	56
	問5-8 国際交流課の対応	57
	問5-9 図書課の対応	57
	問5-10 就職課の対応	58
	問5-11 情報サービス課の対応	58
	問6 クラブ・サークル、学生会活動に関する満足度	59
	問7 学内での友人関係に関する満足度	59

第2章 学生生活・学修行動の現状	60
問9 入学後に学内で遭遇したトラブル①	61
問9 入学後に学内で遭遇したトラブル②	61
問9 入学後に学内で遭遇したトラブル③	62
問9 入学後に学内で遭遇したトラブル④	62
問10 入学後に学外で遭遇したトラブル①	63
問10 入学後に学外で遭遇したトラブル②	63
問10 入学後に学外で遭遇したトラブル③	64
【参考資料】学生一人当たりの1週間の大学の授業の平均時間	64
問11 1週間あたりの学修行動時間（個別項目の相対比較）	65
問11-1 大学の授業の予習・復習等の学修時間	65
問11-2 大学の授業とは直接関係のない（検定・資格・語学等）の学修時間	66
問11-3 学内のクラブ・サークル・委員会等の活動時間	67
問11-4 本学とは無関係のクラブ・サークルの活動時間	68
問11-5 ボランティアの活動時間	68
問11-6 国際交流の活動時間	69
問11-7 地域の活動時間	69
問11-8 アルバイト時間	70
問12 資格取得に向けた学修や行動について①	71
問13 資格取得に向けた学修や行動について②	72
問14 資格取得に向けた学修や行動について③	72
問15 本学の建学の精神や理念、教育目標について	73
問16 学部・学科の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー) について	73
第3章 学修成果の把握	74
問17 学生の学修成果の把握（個別項目の相対比較）	75
問17-1 広い視野をもって専門知識を体系的に理解する力	75
問17-2 価値観の多様性を理解し、他者に働きかけるコミュニケーションスキルと表現力	76
問17-3 問題を発見し、解決に導く論理的思考力	77
問17-4 生涯にわたって活かすことのできる、実践と結びついた豊かな教養と創造力	78
問17-5 現代社会のさまざまな場面において、協働して目標を達成できる力	79
あなたの現在の居住状況を選択してください。	80
第4章 【特別設問】	81
問19 学内のクラブ・サークル・委員会の所属状況	82
問20 所属している活動	82
問21 所属している理由	83
問22 クラブ・サークル・委員会に参加していない理由	83
問23 参加したい条件	84
第5章 自由記述回答	85
参考資料 設問項目一覧	87

サマリー

学生生活に関する調査 結果報告

令和 7（2025）年度 学生生活に関する調査 結果報告

跡見学園女子大学

庶務課

1. 趣旨

この調査は、本学学生の大学生活の実態を把握すると同時に大学生活に対する満足度の現状を把握するために2014年度より行われている調査です。この調査により、現在の本学の問題点を把握し、その改善・解決に向けて活用されるべき基礎資料を得るために実施しています。

2. アンケートの実施概要

- (1) 実施主体：庶務課
- (2) 実施対象：全学部生及び全大学院生
- (3) 実施期間：2025年 6月 23日（月）～2025年 7月24日（木）
- (4) 調査内容：教学マネジメントを支える基盤の1つとして点検・評価に活用するため、2023年度に調査内容を大幅に変更し、3つのポリシー検証におけるエビデンスとして、教育の質の保証に活用することを踏まえた設問にしています。
- (5) 前回調査からの主な変更点：
特別設問にクラブ、サークル、委員会の学生活動をテーマに、所属状況、所属している理由、参加していない理由、参加したいと思う条件の設問を設定

3. 2025 年度調査結果

- (1) 調査対象者数：2,576名
- (2) 回答者数（回答率）：992名（回答率38.5%）
過去5年間の推移

年度	回答率	対象学生数	回答者数	利用ツール
2025年度	38.5%	2,576名	992名	Microsoft 365 Forms
2024年度	33.9%	2,986名	1,011名	Microsoft 365 Forms
2023年度	45.4%	3,629名	1,649名	Microsoft 365 Forms
2022年度	34.4%	4,069名	1,398名	Atomi Information Portal
2021年度	43.0%	4,303名	1,851名	Atomi Information Portal
2020年度	76.1%	4,510名	3,431名	Atomi Information Portal

回答者内訳（学年別回答率）

2025 年度	回答者数	在籍者数	回答率
学部 1 年生	277	470	58.9%
学部 2 年生	203	557	36.4%
学部 3 年生	255	669	38.1%
学部 4 年生	240	855	28.1%
学部計	975	2,551	38.2%
大学院生	17	25	68.0%
全体	992	2,576	38.5%

※参考：2024 年度回答者内訳

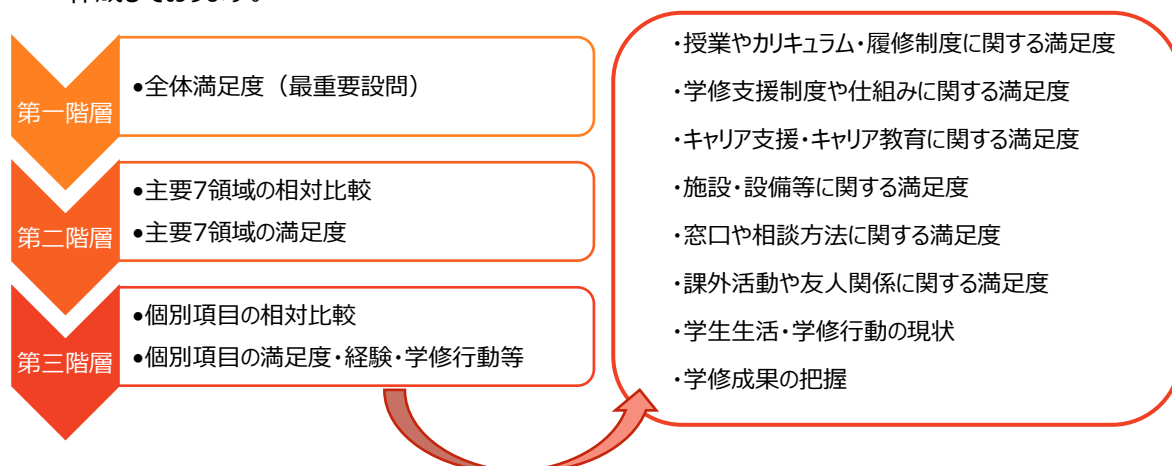
2024 年度	回答者数	在籍者数	回答率
学部 1 年生	279	499	55.9%
学部 2 年生	293	772	38.0%
学部 3 年生	252	808	31.2%
学部 4 年生	179	876	20.4%
学部計	1003	2955	33.9%
大学院生	8	31	25.8%
全体	1011	2986	33.9%

回答者内訳（学部・学科・学年別回答率）

学部 学科	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	計
文学部 人文学科	67.7%	33.8%	57.8%	38.8%	47.8%
文学部 現代文化表現学科	70.5%	32.5%	37.2%	27.3%	40.0%
文学部 コミュニケーション文化学科	68.8%	39.0%	31.6%	20.3%	32.3%
文学部計	69.4%	34.0%	44.7%	30.5%	41.7%
マネジメント学部 マネジメント学科	54.3%	28.6%	32.1%	19.5%	31.1%
マネジメント学部 生活環境マネジメント学科	61.9%	38.5%	45.8%	43.4%	45.6%
マネジメント学部計	55.9%	30.8%	35.7%	27.4%	35.0%
観光コミュニティ学部 観光デザイン学科	57.7%	51.3%	30.2%	19.6%	36.0%
観光コミュニティ学部 まちづくり学科 (コミュニティデザイン学科)	47.1%	50.0%	40.9%	31.8%	41.8%
観光コミュニティ学部計	55.1%	51.0%	32.4%	21.6%	37.1%
心理学部 臨床心理学科	46.9%	34.9%	33.3%	28.9%	35.8%
学部計	58.9%	36.4%	38.1%	28.1%	38.2%

4. 報告書の構成

（１）今年度の調査設問は次の３層構造により構成しました。そのため本報告書においては、この構造に基づき作成しております。



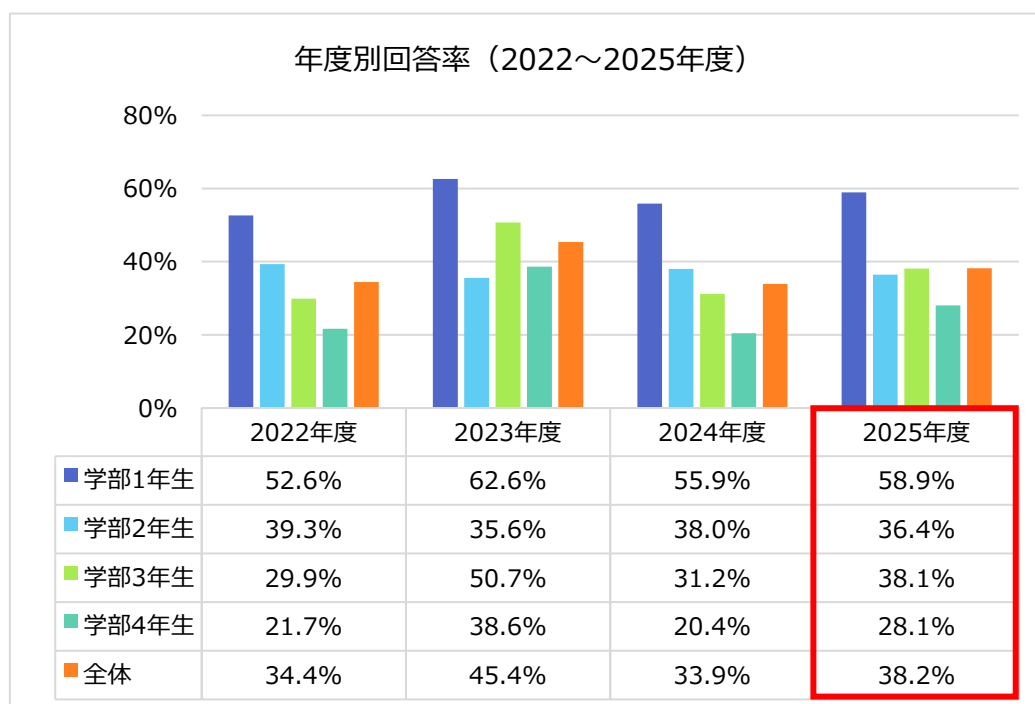
（２）その他

- 1) 比率は、回答者数を100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入しました。そのため、百分比の合計が100%にならない場合があります。
- 2) グラフ作成の都合上、選択肢表記や回答の小さい比率は、短縮・省略している場合があります。
- 3) 2025年度の集計結果は、回答者全体、学年ごとに加え、一部に学科別を示しています。時系列の推移（過年度調査との比較）は全体（全学年など）の集計結果を掲載しました。
- 4) 回答における満足度は「満足」+「どちらかといえば満足」を「満足・計」、「不満」+「どちらかといえば不満」を「不満・計」とし、それらの比較を判断基準としました。

5. 2025年度本調査のまとめ（学部）

（1）回答率の変化

回答率は昨年から増加。昨年度比で 4.3 ポイント増加しました。



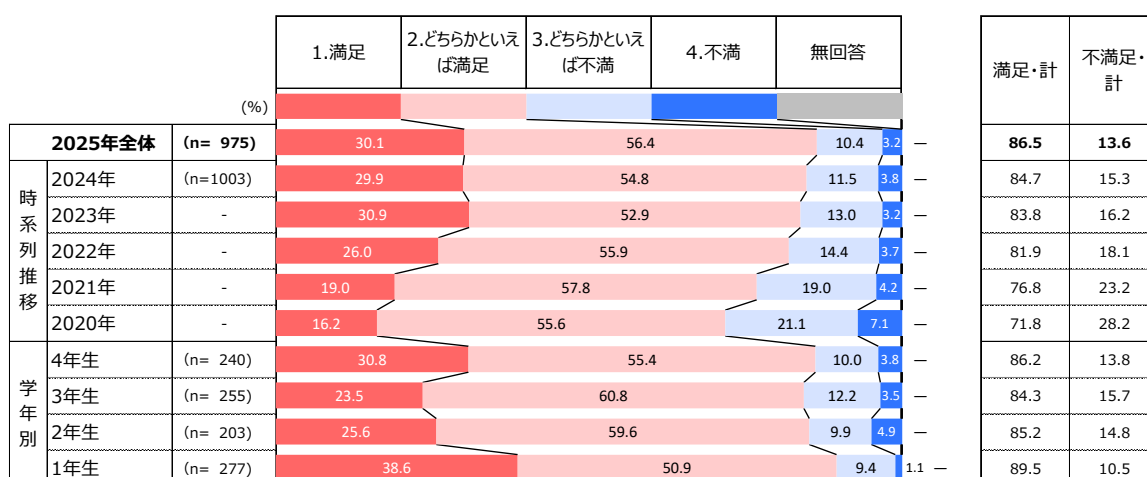
今年度、回答率は 38.2%と前年度から 4.3 ポイント増加しました。昨年度は、7 月 8 日～9 月 30 日の調査実施でしたが、今年度は春学期定期試験前の早期に実施するとともに、学生へのポータルでの依頼、アカデミックアドバイザーからの呼びかけを繰り返し行ったことで、回答率増加に一定の効果があったと考えられます。

（2）全体満足度の変化

全体満足度は 5 年連続で上昇、昨年度比で 1.8 ポイント向上しました。

下図は本調査の全体満足度「本学での教育・学習、学生生活全体に関する満足度」について 5 年間の推移を時系列比較したグラフです。「満足している」および「どちらかという満足」を合わせた満足・計は、コロナ禍の 2020 年度に大きく落ち込んで以降、5 年連続で向上しました。

▶問 8 本学での教育・学習、学生生活等に関して、全体としてどの程度満足していますか？



(3) 主要 7 領域満足度の相対評価

学生満足度を効果的に測定するため、2023年度より7つの項目を主要領域として定めています。

1. 本学の授業やカリキュラム、履修制度等の満足度
2. 本学の学習支援制度や仕組みに関する満足度
3. 本学のキャリア支援、キャリア教育に関する満足度
4. 本学の施設・設備等に関する満足度
5. 本学の窓口や相談方法に関する満足度
6. クラブ、サークル、学生会活動等に関する満足度
7. 学内における友人関係に関する満足度

個別項目を領域ごとに7つに分け、大学に対する総合満足度と個別項目満足度の中間領域による全体満足度の相対評価を分析することにより、学生生活における総合満足度のうち、どの領域に満足し、どの領域に不満があるのかを判断することが可能となります。

▶主要 7 領域の満足度比較

		1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満		満足・計	不満・計
	(%)							
Q5.窓口や相談方法全般	(n= 690)	32.9	57.7	7.2	2.2		90.6	9.4
Q2.学習支援制度や仕組み全般	(n= 975)	24.5	65.6	7.8	2.1		90.1	9.9
Q4.施設や設備全般	(n= 975)	31.5	56.0	10.7	1.8		87.5	12.5
Q7.学内における友人関係	(n= 975)	47.5	39.3	8.6	4.6		86.8	13.2
Q3.就職支援全般	(n= 567)	28.4	57.7	9.3	4.6		86.1	13.9
Q1.授業やカリキュラム、履修制度全般	(n= 975)	23.7	52.5	18.8	5.0		76.2	23.8
Q6.クラブ、サークル、学生会活動等	(n= 310)	33.5	37.1	18.4	11.0		70.6	29.4

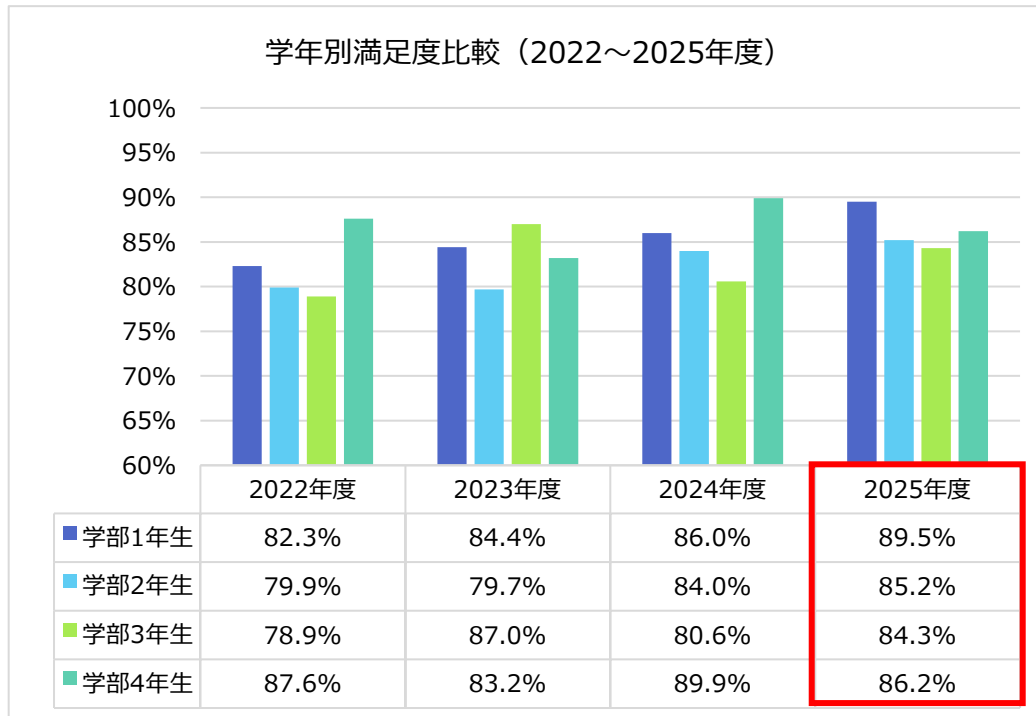
※「満足・計」のスコアで降順ソート

今回の調査結果では、最も満足度の高い項目は「問5 窓口や相談方法全般」が満足・計90.6%となり、非常に高い結果でした。一方、最も満足度が低い項目は「問6 クラブ、サークル、学生会活動等」であり、満足・計は70.6%でした。また、自由記述回答では、前期課程の修得単位を後期課程に算入できないといった履修制度への不満、各窓口での対応への指摘等が挙げられました。

(4) 学年別満足度比較

満足度は学部 1 年生と 4 年生が高く、2 年生と 3 年生が低い傾向（2023 年度除く）

全体満足度を問う設問「本学での教育・学習、学生生活全体に関する満足度」結果の時系列推移において満足度を学年別に比較すると、2023 年度を除き、1 年生と 4 年生の満足度が高く、2 年生と 3 年生の満足度が低い傾向にあります。2025 年度において満足度が最も低かったのは 3 年生で、最も高かった 1 年生とは 5.2 ポイントの開きがありました。

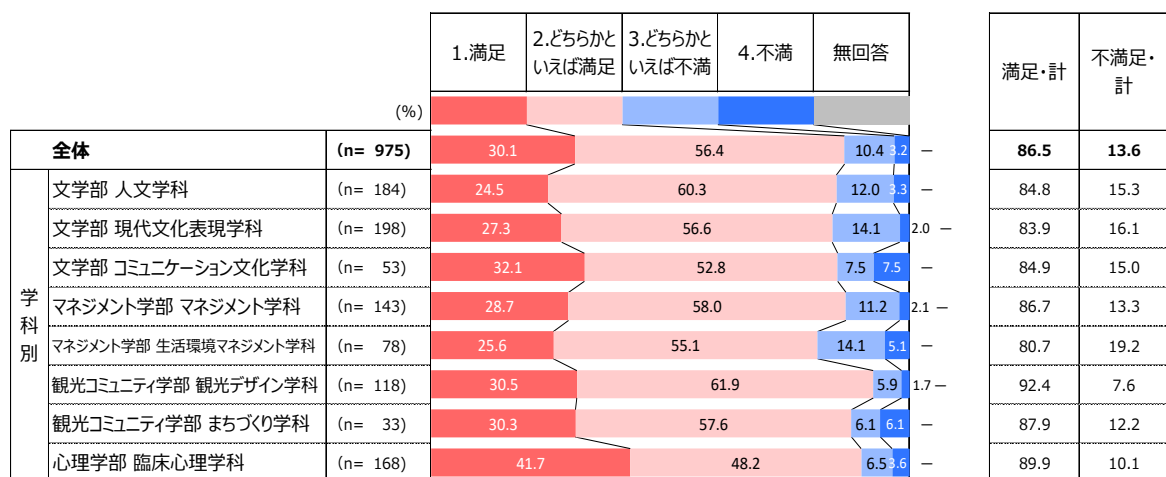


(5) 学科別満足度比較

満足度は各学科ともに8割以上と高い結果

全体満足度を問う設問「本学での教育・学習、学生生活全体に関する満足度」結果において、学科別に見ると、満足・計の割合は各学科ともに8割以上と高い結果となりました。特に観光デザイン学科、臨床心理学科が高く、一方、生活環境マネジメント学科ではやや低い結果でした。

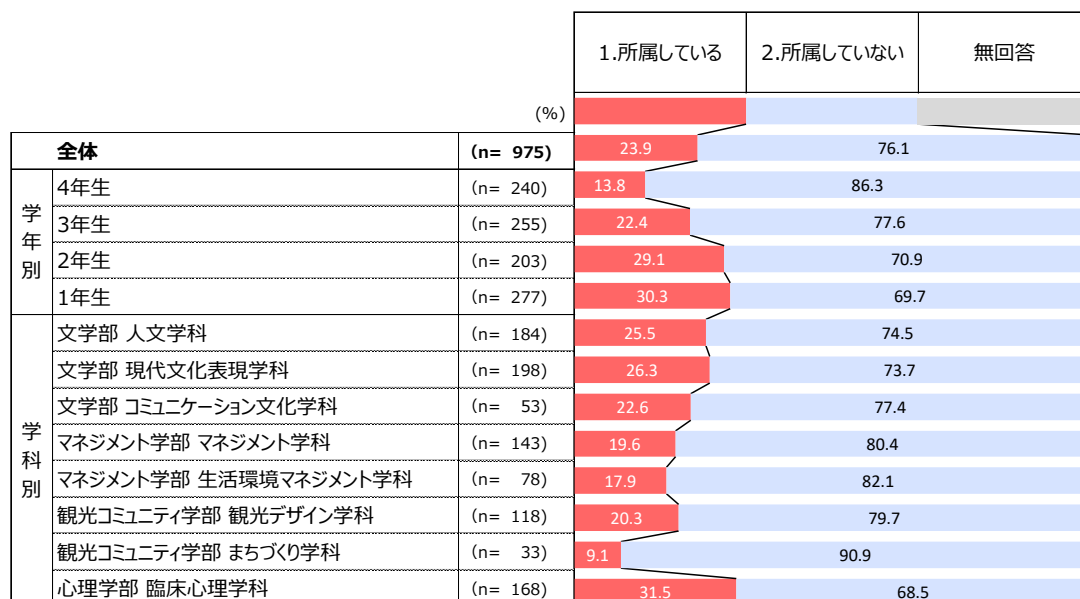
▶問8 本学での教育・学習、学生生活等に関して、全体としてどの程度満足していますか？



(6) 特別設問（クラブ、サークル、委員会の活動）

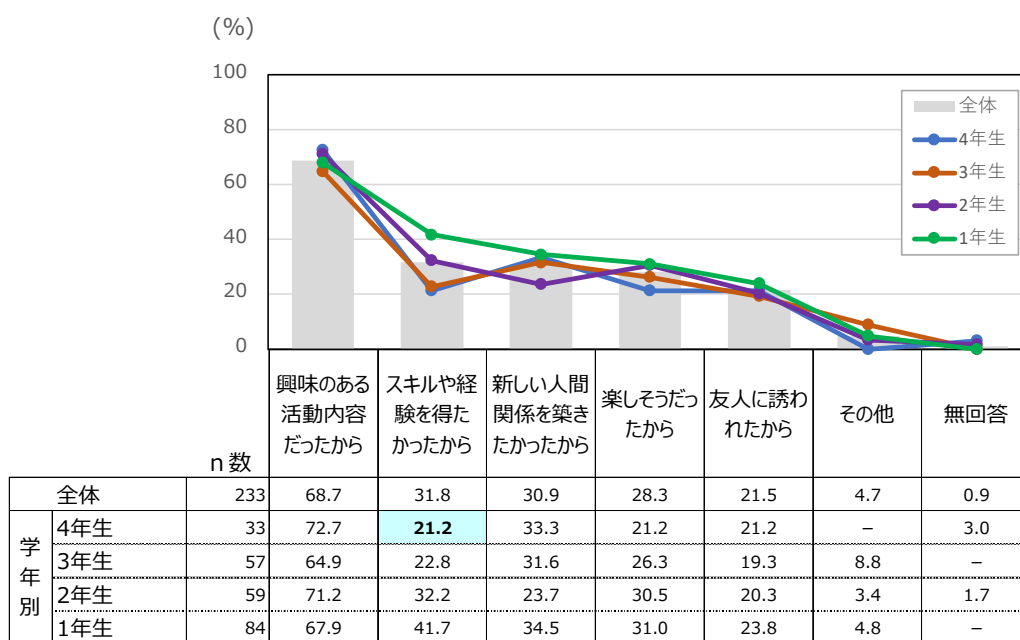
クラブ、サークル、委員会の所属率は全体 23.9%、1・2 年生では 3 割と高いが、学年が上がるにつれ低下

▶問 19 あなたは、現在、学内のクラブ・サークル・委員会のいずれかに所属していますか？



学内のクラブ・サークル・委員会活動の所属率は全体で 23.9%、1～2 年生は約 3 割に対し、3 年生で 2 割程度に減る結果となりました。3 年生でのキャンパス移動も要因の一つと考えられます。学科別にみると、もっとも高いのは臨床心理学科の 31.5%でした。

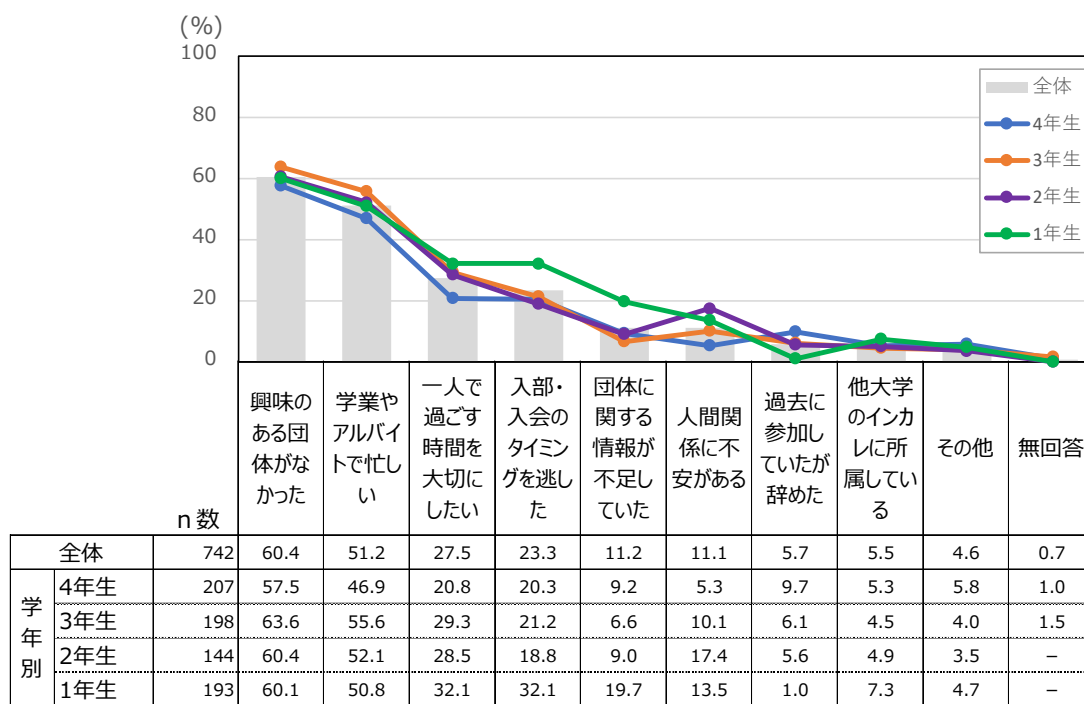
▶問 21 所属している理由を教えてください（複数選択可）



※全体の回答の降順ソート（「その他」「無回答」を除く）

「興味のある活動内容だったから」が 68.7%と突出して高く、以下、「スキルや経験を得たかったから」「新しい人間関係を築きたかったから」が 3 割強で続く結果となりました。

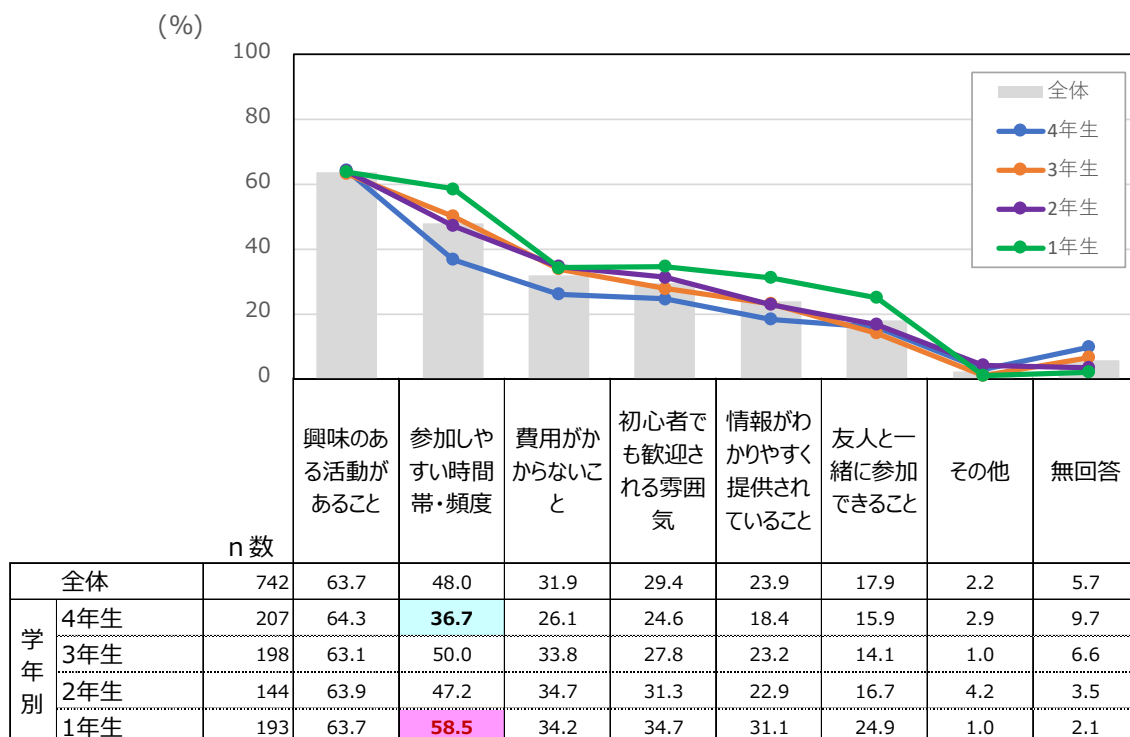
▶問 22 クラブ・サークル・委員会に参加していない理由を教えてください（複数選択可）



※全体の回答の降順ソート（「その他」「無回答」を除く）

所属していない学生にその理由を尋ねたところ、「興味のある団体がなかった」60.4%、「学業やアルバイトで忙しい」51.2%が 2 大理由となっています。学年別にみると、1 年生で「入部・入会のタイミングを逃した」「団体に関する情報が不足していた」の割合が、ほかの学年に比べて高いことが分かります。

▶問 23 どのような条件が整えば参加したいと思いますか？（複数選択可）



所属していない学生に、どのような条件が整えば参加したいと思うか尋ねたところ、「興味のある活動があること」が63.7%ともっとも高く、次いで「参加しやすい時間帯・頻度」が48.0%で続く結果となりました。1年生ではほかの学年に比べて、「参加しやすい時間帯・頻度」、「初心者でも歓迎される雰囲気」、「情報がわかりやすく提供されていること」、「友人と一緒に参加できること」といった条件も高い傾向が見て取れます。

以上

補足資料

分析・改善策 / 株式会社 リアセック

調査概要

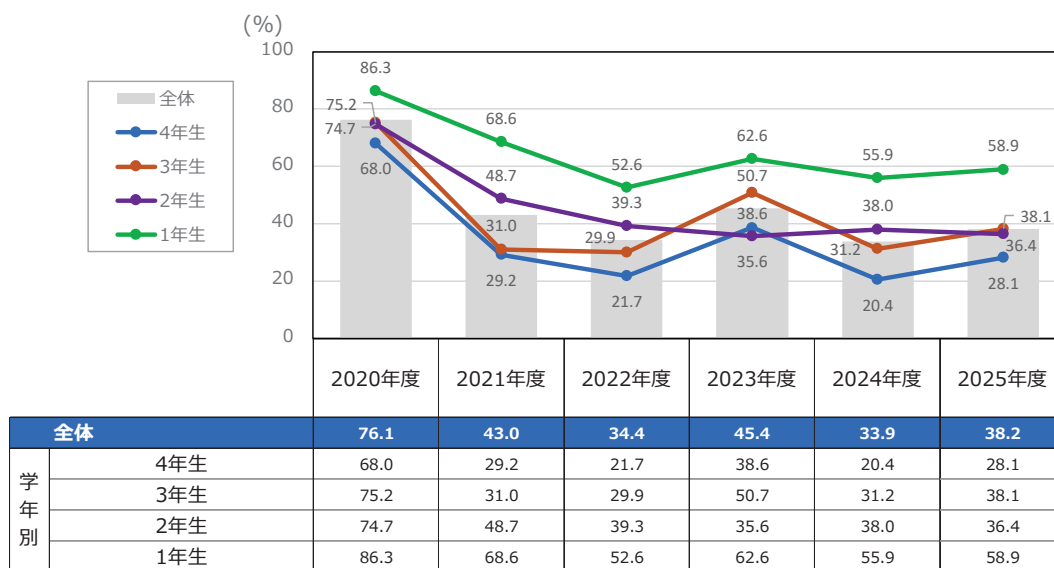
- 調査目的
 - 跡見学園女子大学の在学生の大学に対する満足度を把握する
 - 学生生活や学修行動、学修成果を把握する
 - クラブ、サークル、委員会など学生生活の状況を把握する
- 調査実施時期
 - 2025年6月23日（月）～ 2025年7月24日（木）※本来7月6日(日)を期日としていたが延長。
- 対象者条件
 - 跡見学園女子大学に在学中の学部1～4年生と大学院生
 - 回収したサンプル数は下記の通り

	全体	学部									大学院 人文科学研究科
			文学部			マネジメント学部		観光コミュニティ学部		心理学部	
			人文学科	現代文化表現学科	コミュニケーション文化学科	マネジメント学科	生活環境マネジメント学科	観光デザイン学科	まちづくり学科	臨床心理学科	
全体	992	975	184	198	53	143	78	118	33	168	17
1年生	277	277	44	74	11	44	13	30	8	53	
2年生	203	203	24	40	16	26	10	40	9	38	
3年生	255	255	59	42	12	43	22	26	9	42	
4年生	240	240	57	42	14	30	33	22	7	35	
M1	9										9
M2	8										8

※各ページのグラフにおいては、構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

調査概要：アンケート回収率（学部生）

アンケート回収率の推移



調査概要：大学生版回答者属性（学科別学年構成比）

- ✓ 全体での学年の構成比は1年生がもっとも多く28.4%、次いで3年生26.2%、4年生24.6%と続き、2年生の割合がもっとも低く20.8%である。
- ✓ 前回2024年と比較すると4年生の回答の割合が高く、昨年比較では4年生の回答傾向の影響があることに留意する必要がある。
- ✓ 学科別では、現代文化表現学科、臨床心理学科、マネジメント学科で1年生の占める割合が高い。生活環境マネジメント学科では4年生の割合が高く、4割強を占めている。

			1年生	2年生	3年生	4年生
			(%)			
全体		(n= 975)	28.4	20.8	26.2	24.6
文学部	人文学科	(n= 184)	23.9	13.0	32.1	31.0
	現代文化表現学科	(n= 198)	37.4	20.2	21.2	21.2
	コミュニケーション文化学科	(n= 53)	20.8	30.2	22.6	26.4
マネジメント学部	マネジメント学科	(n= 143)	30.8	18.2	30.1	21.0
	生活環境マネジメント学科	(n= 78)	16.7	12.8	28.2	42.3
観光コミュニケーション学部	観光デザイン学科	(n= 118)	25.4	33.9	22.0	18.6
	まちづくり学科	(n= 33)	24.2	27.3	27.3	21.2
心理学部	臨床心理学科	(n= 168)	31.5	22.6	25.0	20.8
※参考	2024年全体	(n=1003)	27.8	29.2	25.1	17.8

調査概要：大学生版回答者属性（居住状況）

- ✓ 自宅からの通学が9割程度を占める。
- ✓ 時系列の推移も、ほぼ例年と同様の傾向であった。
- ✓ 学年別でみると、各学年とも自宅からの通学が9割前後となっている。

F3. 居住状況（全体／単一回答）

			1.自宅からの通学	2.自宅以外からの通学	無回答
			(%)		
2025年全体		(n= 975)	89.7	10.3	—
時系列推移	2024年	(n=1003)	89.7	10.3	—
	2023年	-	89.7	10.3	—
	2022年	-	89.9	10.1	—
	2021年	-	90.9	9.1	—
	2020年	-	91.9	8.1	—
	4年生	(n= 240)	88.8	11.3	—
学年別	3年生	(n= 255)	90.2	9.8	—
	2年生	(n= 203)	89.7	10.3	—
	1年生	(n= 277)	90.3	9.7	—

※2023年以前はN数なし

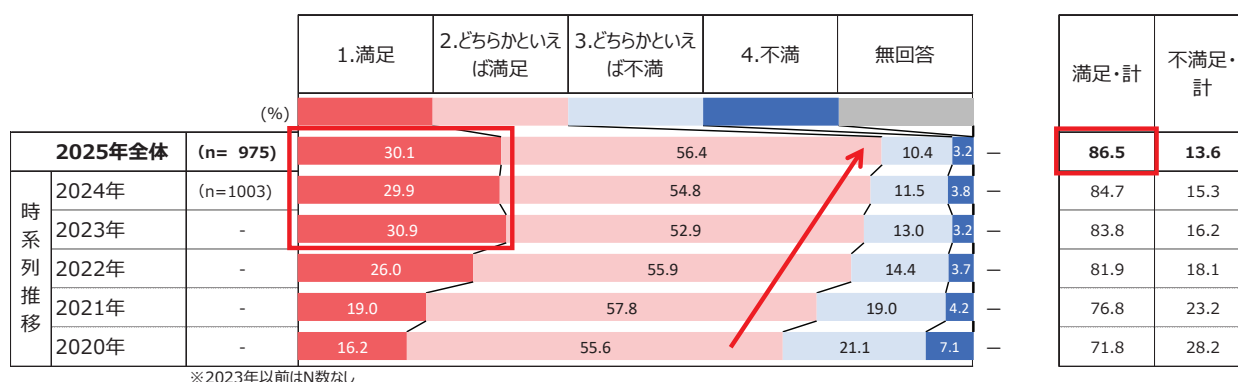
1-1. 満足度（全体の概観）

総合満足度と主要7項目の満足度の関係を整理し、総合満足度を高めるためのヒントを探る

【教育・学習、学生生活全体に関する満足度】総合満足度 時系列変化

- ✓ 2025年度の貴学在校生の総合満足度は、セカンドボックスまで合わせた「満足・計」が86.5%で、前年度（84.7%）から微増、2020年度以降5年連続で上昇している。
- ✓ トップボックス「満足」の割合は2020年度と比較すると2倍近くのコアとなり、3年連続で約3割を維持している。

問8 本学での教育・学習、学生生活等に関して、全体としてどの程度満足していますか（全体／単一回答）



【全体満足度】本学での教育・学習、学生生活全体に関する満足度

- ✓ 主要7項目の個別満足度でトップボックス「満足」の割合に注目すると「学内における友人関係」が47.5%で最多、次いで「クラブ、サークル、学生会活動」が33.5%で続く。
- ✓ セカンドボックスまで合わせた「満足度・計」で比較すると、高いのは「窓口や相談方法全般」「学習支援制度や仕組み全般」で90%に上る。一方「クラブ、サークル、学生会活動」で「満足・計」が7割にとどまるほか、明らかに「不満」とする割合が11%と高い。

主要7項目の満足度比較（利用者／単一回答）

※主要7項目

- 問1-7 授業やカリキュラム、履修制度全般について、どの程度満足していますか
- 問2-6 学習支援制度や仕組み全般に関して、どの程度満足していますか
- 問3-4 就職支援全般について、どの程度満足していますか
- 問4-12 施設や設備全般について、どの程度満足していますか
- 問5-12 窓口や相談方法全般について、どの程度満足していますか
- 問6 クラブ、サークル、学生会活動等について、どの程度満足していますか
- 問7 学内における友人関係について、どの程度満足していますか

		1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満		満足・計	不満・計
	(%)							
Q1.授業やカリキュラム、履修制度全般	(n= 975)	23.7	52.5	18.8	5.0		76.2	23.8
Q2.学習支援制度や仕組み全般	(n= 975)	24.5	65.6	7.8	2.1		90.1	9.9
Q3.就職支援全般	(n= 567)	28.4	57.7	9.3	4.6		86.1	13.9
Q4.施設や設備全般	(n= 975)	31.5	56.0	10.7	1.8		87.5	12.5
Q5.窓口や相談方法全般	(n= 690)	32.9	57.7	7.2	2.2		90.6	9.4
Q6.クラブ、サークル、学生会活動等	(n= 310)	33.5	37.1	18.4	11.0		70.6	29.4
Q7.学内における友人関係	(n= 975)	47.5	39.3	8.6	4.6		86.8	13.2

【学生生活の満足度】総合満足度と個別満足度の関係性

- ✓ 個別項目の満足度と総合満足度との相関係数を算出した結果、いずれも相関係数0.5を超える強い相関が認められ、個々の満足度は総合満足度と関連が強い。
- ✓ もっとも相関係数が高いのは「窓口や相談方法全般」であった。次いで、「施設や設備全般」「学内における友人関係」と続く。

	n数	個別項目満足度 (満足・計)	順位	総合満足度 (問8)との 相関係数	順位
問1 授業やカリキュラム、履修制度全般	975	76.2	6	0.540	5
問2 学習支援制度や仕組み全般	975	90.1	2	0.467	7
問3 就職支援全般	567	86.1	5	0.468	6
問4 施設や設備全般	975	87.5	3	0.570	2
問5 窓口や相談方法全般	690	90.6	1	0.620	1
問6 クラブ、サークル、学生会活動等	310	70.6	7	0.544	4
問7 学内における友人関係	975	86.8	4	0.555	3
平均値		84.0		0.538	

※相関係数はすべて有意確率1%未満

※■は平均値以上のスコア

●相関係数とは

2群のデータの関連性を示す指標のことで、-1.0～1.0の範囲に値を取り、1に近いほど関連性が強いといえます。一般的には0.5以上で強い相関、0.2以上で弱い相関があるとされています。

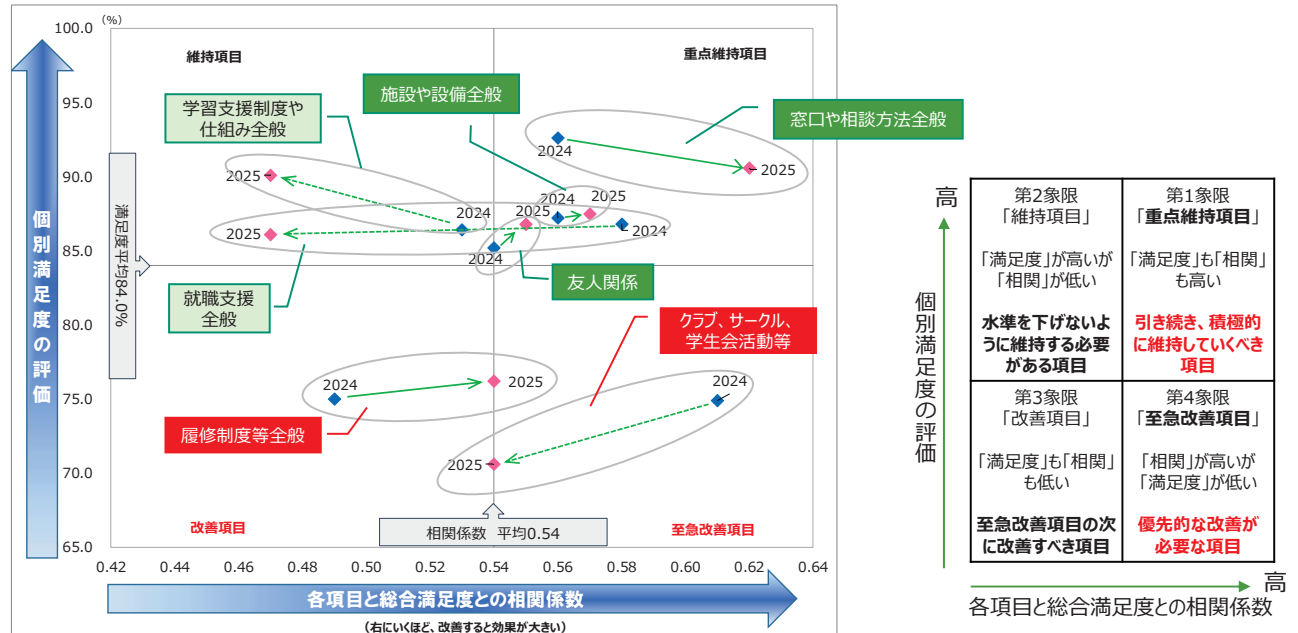
●有意確率とは

2群のデータの偏りが偶然生じる、たまたま得られたものであるという確率。0.05以下であれば5%有意とし、95%の確率で生じる確率ということになります。0.01以下であれば1%有意とし、99%の確率で生じる確率ということになります。

【学生生活の満足度】総合満足度と個別満足度のポートフォリオ分析

- ✓ ポートフォリオ分析の結果、改善項目は「履修制度全般」「クラブ、サークル、学生会活動」となった。「履修制度全般」は2024年度より相関係数が上がり、至急改善へ向かっていることから、最優先で満足度を高める対応が必要だといえる。
- ✓ 「窓口や相談方法」も昨年に比べて相関係数がさらに高まっていることから、満足度が高い項目ではあるものの注力が必要と考える。
- ✓ 昨年は重点維持項目にあった「就職支援全般」が今年は維持項目となった。相関係数が下がっているが就職支援の満足度は就職環境に左右されると考えられることから、環境の変化には備えておく必要があるだろう。

■ 貴学全体 (N=975)



1-2. 履修制度の満足度

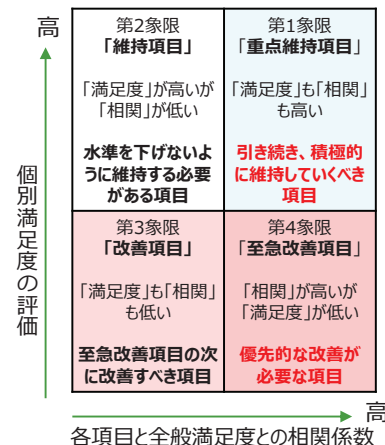
【学生生活の満足度】履修制度全般の改善項目候補

- ✓ 「カリキュラム（授業科目体系）の構成」は履修制度全般の満足度との相関が高い。それ以外の5項目の相関係数に大きな差はない。
- ✓ ポートフォリオ分析で対応の優先順位をつけると、重点維持項目の「カリキュラム（授業科目体系）の構成」、改善項目の「1学期ごとの履修登録単位数の制限」「抽選となる科目の数」の3項目を改善・維持していくと履修制度全般の満足度が上がる可能性が高い。

	n数	個別項目満足度 (満足・計)		履修制度全般の 満足度（問1-7） との相関係数		ポートフォリオ 分析
			順位		順位	
Q1-1 本学のカリキュラム（授業科目体系）の構成	975	80.2	4	0.668	1	重点維持項目
Q1-2 シラバスのわかりやすさ	975	82.2	3	0.419	5	維持項目
Q1-3 1学期ごとの履修登録単位数の制限	975	67.3	5	0.466	2	改善項目
Q1-4 抽選となる科目の数	975	61.9	6	0.462	3	改善項目
Q1-5 各科目の履修者数	975	90.6	1	0.412	6	維持項目
Q1-6 受講している授業の内容や進め方	975	89.7	2	0.455	4	維持項目
平均値		78.7		0.480		

※相関係数はすべて有意確率1%未満

※ ■ は平均値以上のスコア



1-3. 窓口や相談方法の満足度

【学生生活の満足度】窓口や相談方法全般の改善項目候補

- ✓ 各組織窓口のうち、「庶務課」「学生支援室」「就職課」「教務課」「学生課」は窓口や相談方法全般の満足度との相関が高い。
- ✓ ポートフォリオ分析で対応の優先順位をつけると、至急改善項目の「教務課」「学生課」「就職課」「情報サービス課」の4組織の対応を改善・維持していくと、窓口や相談方法全般の満足度が上がる可能性が高い。

	n数	個別項目満足度 (満足・計)		窓口や相談方法全 般の満足度（問5- 12）との相関係数		ポートフォリオ 分析	※参考 利用率	
			順位		順位			順位
Q5-1 保健室の対応	344	95.7	2	0.348	11	維持項目	35.2	7
Q5-2 学生課の対応	590	88.1	8	0.610	5	至急改善項目	60.6	3
Q5-3 学生相談室の対応	130	89.3	7	0.410	10	改善項目	13.3	9
Q5-4 学生支援室の対応	99	91.0	6	0.645	2	重点維持項目	10.1	11
Q5-5 教務課の対応	764	84.7	11	0.634	4	至急改善項目	78.4	1
Q5-6 庶務課の対応	580	94.3	3	0.681	1	重点維持項目	59.4	4
Q5-7 地域交流課の対応	140	92.9	4	0.573	8	重点維持項目	14.4	8
Q5-8 国際交流課の対応	110	91.8	5	0.589	6	重点維持項目	11.2	10
Q5-9 図書課の対応	698	97.1	1	0.427	9	維持項目	71.5	2
Q5-10 就職課の対応	417	86.6	10	0.639	3	至急改善項目	42.8	6
Q5-11 情報サービス課の対応	576	86.8	9	0.574	7	至急改善項目	59.1	5
平均値		90.8		0.557			41.5	

※相関係数はすべて有意確率1%未満

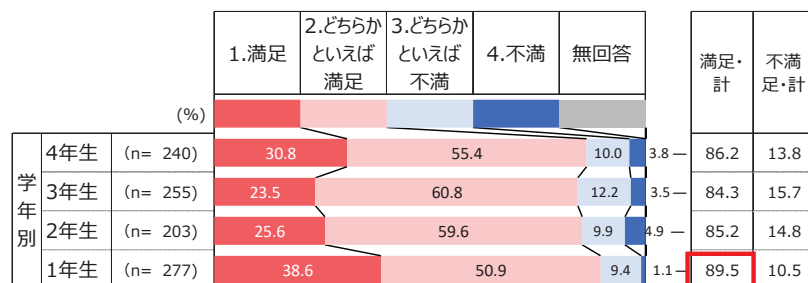
※ ■ は平均値以上のスコア

1-4. 学年別の満足度

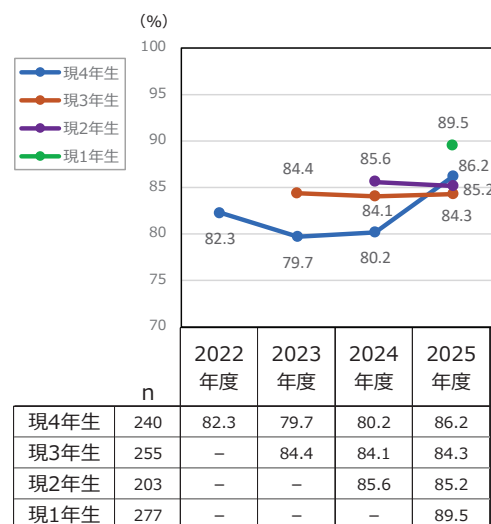
【学生生活の満足度】学年別 総合満足度比較

- ✓ 今年の調査で最も総合満足度が高かったのは1年生で、全体の9割が満足していると回答した。
- ✓ 1～3年生は学年が上がるごとに満足度が低下する傾向にあり、もっとも低い3年生の満足度は84.3%であった。
- ✓ 「満足・計」の割合の変化を調査年度別にみると、現2～3年生は低学年時から変化がなく推移している一方、現4年生はこの1年で6ポイントスコアが上昇した。

問8 本学での教育・学習、学生生活等に関して、全体としてどの程度満足していますか（全体／単一回答）



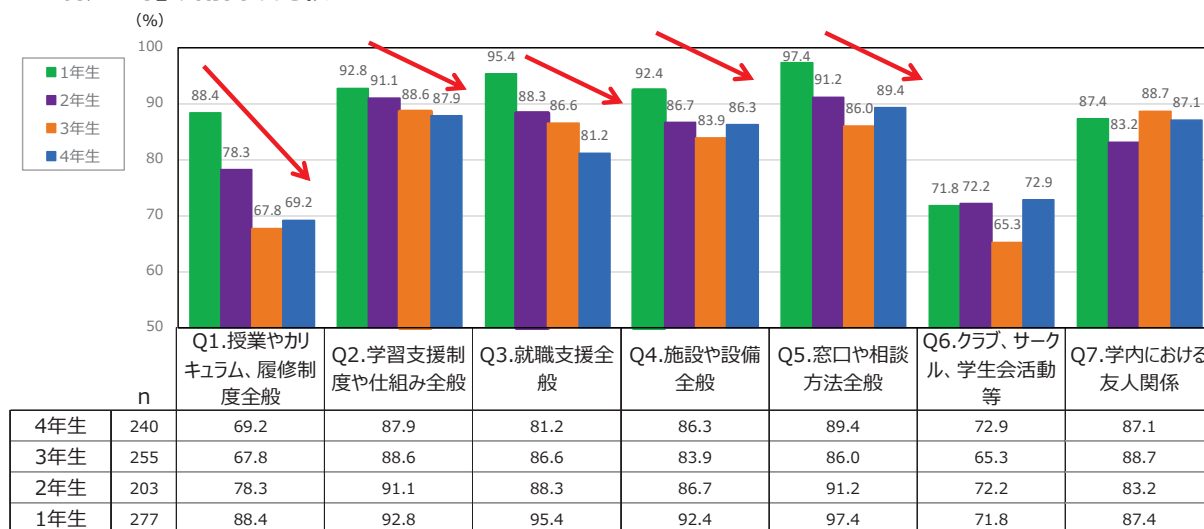
※「満足・計」の割合の調査年度別変化



【学生生活の満足度】学年別 個別項目満足度比較

- ✓ 個別満足度を学年別に比較すると、Q1～Q5は高学年で満足度が下がる傾向にあり、在籍期間の長くなるにつれて満足度が低下するといえる。
- ✓ もっともばらつきが大きいのは「履修制度」で、1年生（88.4%）と比較して3年生、4年生の満足度は約20ポイント低い。
- ✓ 「クラブ、サークル、学生会活動」は3年生のスコアが全学年の中でもっとも低い。

■「満足・計」の割合の比較



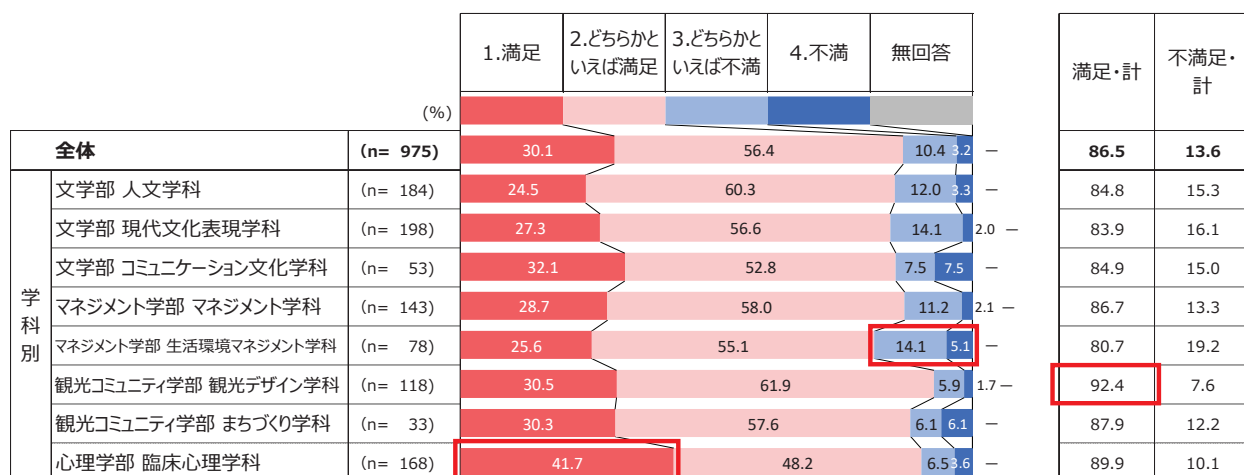
※ただし、Q3、Q5、Q6は利用者ベース

2. 学科別の状況

【学生生活の満足度】学科別 総合満足度比較

- ✓ 総合満足度を学科別に比較すると、各学科ともに8割以上の満足度でいずれの学科でもおおむね満足度は高い。
- ✓ トップボックス「満足」の割合は、特に臨床心理学科で4割を超えて特徴的に高い。
- ✓ セカンドボックスまで合わせた「満足・計」の割合は、観光デザイン学科で特に高く9割を超えている。
- ✓ 「不満足・計」の割合は4年生の回答割合が高い生活環境マネジメント学科で高く、2割近くを占めている。

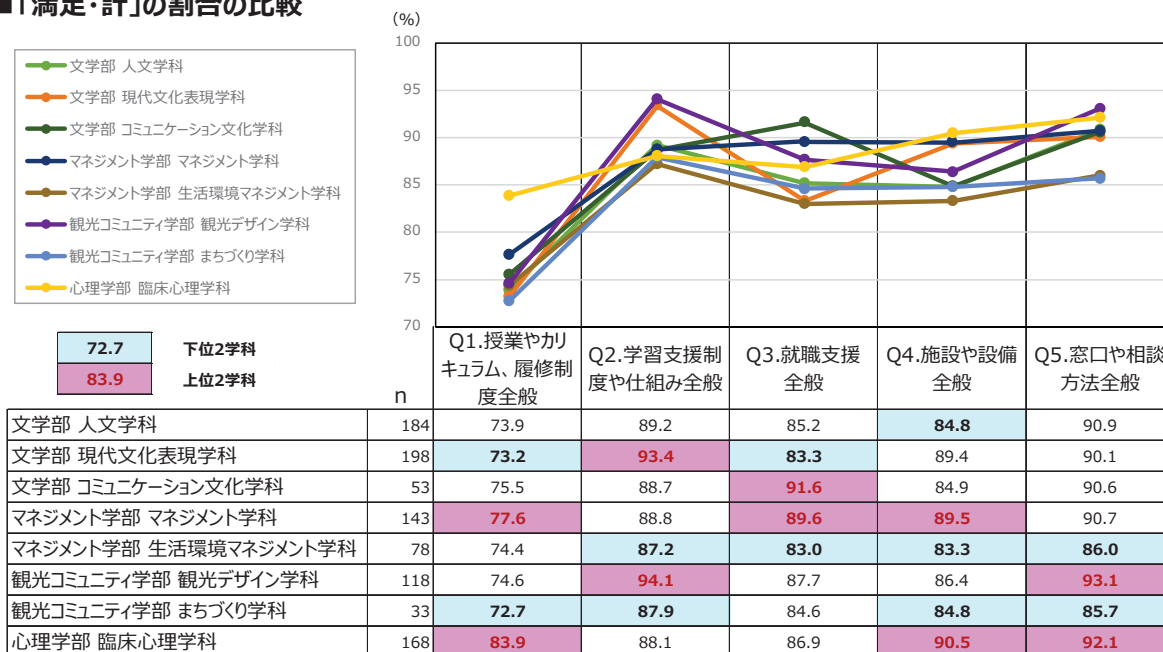
問8 本学での教育・学習、学生生活等に関して、全体としてどの程度満足していますか（全体／単一回答）



【学生生活の満足度】学科別 個別項目満足度比較

- ✓ 個別満足度を学科別に比較すると、臨床心理学科、マネジメント学科で満足度が高く、生活環境マネジメント学科、まちづくり学科で低い傾向となっている。

■「満足・計」の割合の比較

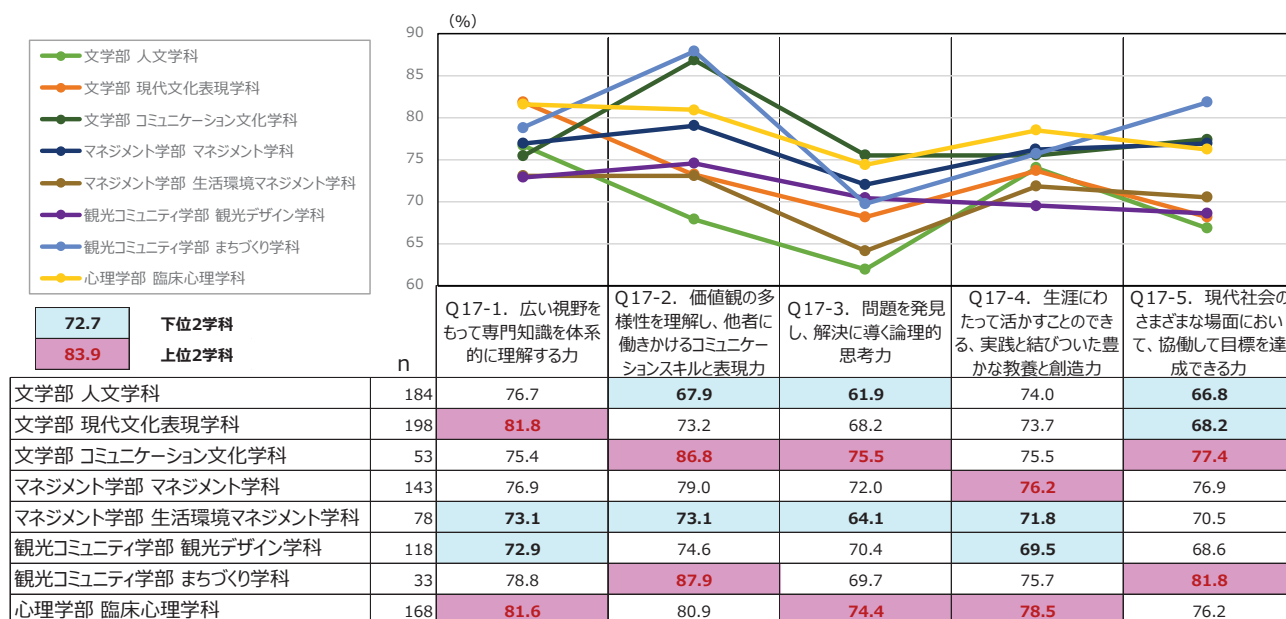


※ただし、Q3、Q5は利用者ベース

【学生生活の満足度】学科別学修成果の把握比較

- ✓ 学修成果の認識を学科別に比較すると、コミュニケーション文化学科、まちづくり学科、臨床心理学科で貴学の学びが「役立っている」とする割合が高い。人文学科、生活環境マネジメント学科で低い傾向となっており、学修成果の実感を高めることが求められる。
- ✓ 特に「価値観の多様性を理解し、他者に働きかけるコミュニケーションスキルと表現力」「問題を発見し、解決に導く論理的思考力」「現代社会のさまざまな場面において、協働して目標を達成できる力」でバラツキが大きい。

■本学の学びが「役立っている・計」の割合の比較



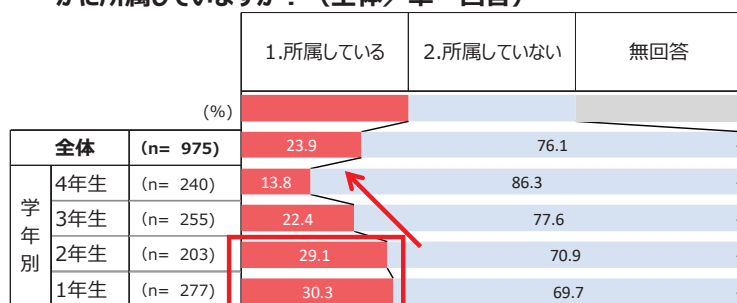
3. クラブ、サークル、学生会活動

昨年調査時の考察で、総合満足度を高めるための提案があった学生活動について、主に特別設問の結果から振り返った。

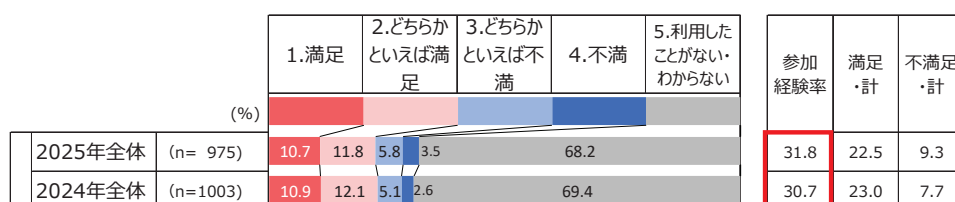
【学生生活の満足度】学生生活の満足度の振り返り（2024年調査の提案から）

- ✓ 学内のクラブ・サークル・委員会活動の現在の所属率は全体で23.9%。1～2年生は3割に対し、3年生で2割に減る。
- ✓ Q19は今年度だけの特別設問のため、時系列変化をみるために参加経験率をQ6の回答で比較したが、昨年から変化はない。

問19 あなたは、現在、学内のクラブ・サークル・委員会のいずれかに所属していますか？（全体／単一回答）



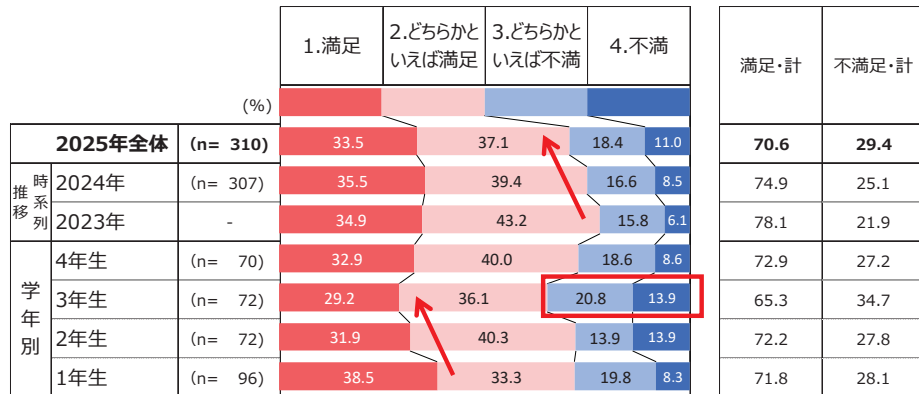
Q6.クラブ、サークル、学生会活動等の満足度（全体／単一回答）



【学生生活の満足度】学生生活の満足度の振り返り（2024年調査の提案から）

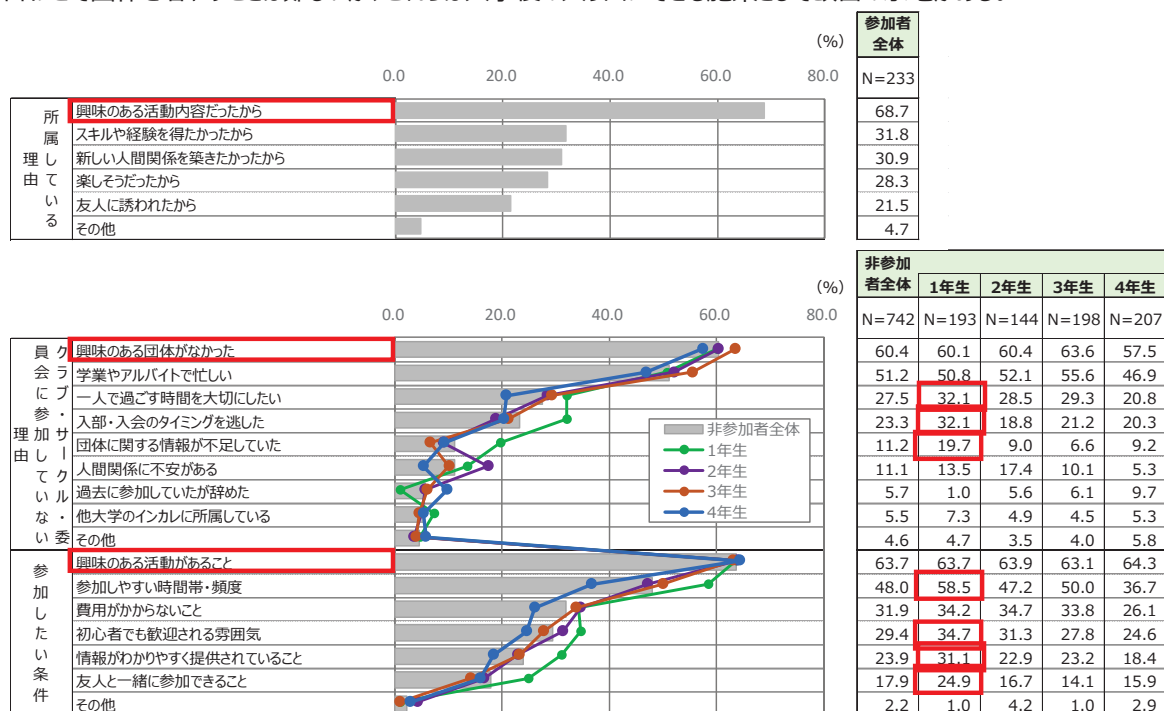
- ✓ 参加者の満足度は低下傾向が続いているが、前述の通り、総合満足度との相関係数も下がっており、影響は低下している。
- ✓ 参加者の中で不満の割合が高いのは3年生で、3人に1人の割合であった。
- ✓ 満足度の理由を尋ねる設問がないため推測にとどまるが、3年生でのキャンパスの移動はひとつの可能性として考えられる。

問6 クラブ、サークル、学生会活動等について、どの程度満足していますか
(参加者／単一回答)



【学生生活の満足度】学生生活の満足度の振り返り（2024年調査の提案から）

- ✓ 参加／非参加理由、所属したくなる条件すべてに共通してスコアが高いのは「興味のある活動／団体の有無」であった。
- ✓ また非参加者の非参加理由や参加したい条件のうち、1年生に特徴的な回答として「入部・入会のタイミングを逃した」「団体に関する情報が不足していた」「参加しやすい時間帯・頻度」「情報がわかりやすく提供されていること」があげられる。個人のそれぞれの興味に合わせて団体を増やすことは難しいが、これらは入学後の入り口にできる施策として改善の余地がある。

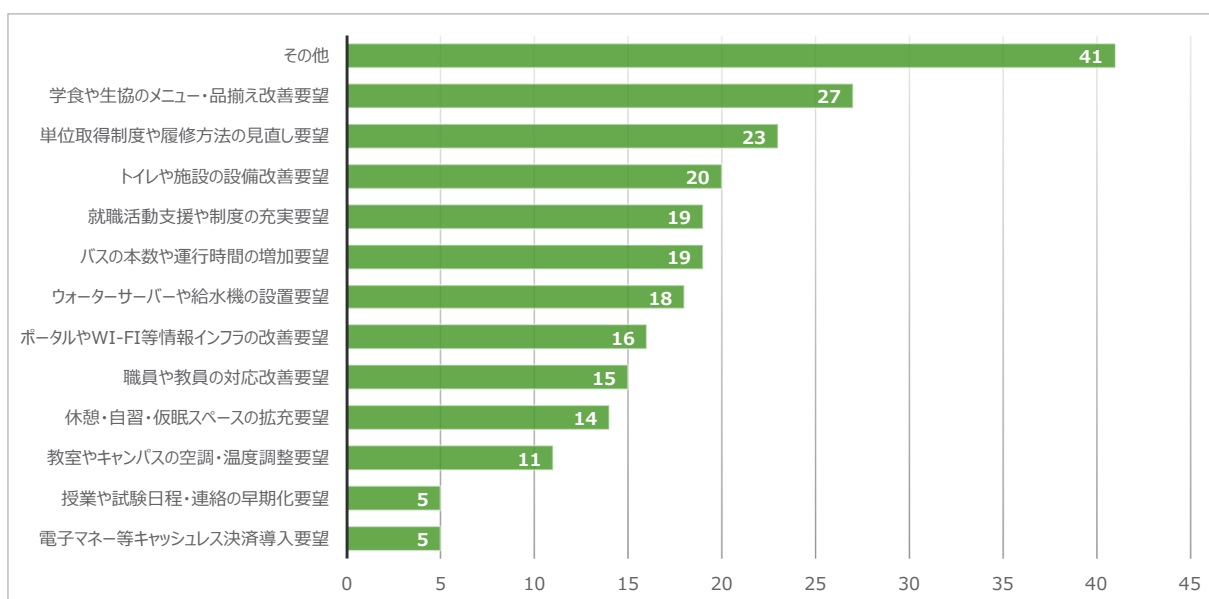


※各設問とも全体の回答の降順ソート

4. 自由記述設問

問18 本学への要望や意見 自由記述回答（項目別集計）

- ✓ フリーコメントをテキストマイニングで分析して、項目別に仕分けすると下記のような傾向となった。
- ✓ 「いずれも当てはまらない」の最多を除くと、トップは「学食や生協のメニュー・品揃え改善要望」となった。
- ✓ 次いで、「単位取得制度や履修方法の見直し要望」、「トイレや施設の設備改善要望」と続く



<考察> 総合満足度をさらに高めるために

1. 履修制度・単位取得の柔軟性を高める必要性

単位取得の制限、抽選科目の多さ、履修登録のタイミング、などが柔軟でないため、就職活動期などにも大きな負担がかかっているといった声が多く見受けられる。そして最も要望されている話題は「1～4年通年で単位取得制度への見直し」である。学生会でも毎年要望をしているにもかかわらず、変化が見受けられないことへの不満が多く見受けられるため、できる範囲での対応は必要と考えられる。

2. 窓口対応や一部教員の対応の改善

教務課・学生課・就職課などの対応への不満が一定数見られ、学生の信頼を損なっている可能性が高いと考えられる。

一部教職員の対応マナーや情報提供の丁寧さ、部署間の連携を改善することで、満足度向上に直結する可能性が高い。

3. 学年進行に伴う満足度低下への対策

1年生の満足度が最も高く、学年が上がるにつれて低下する傾向がある。

特に3年生での満足度低下が顕著であり、履修・就職・課外活動のバランス支援が必要。

(これは1. で示した改善点ともつながっていると考えられる。)

<考察> 総合満足度をさらに高めるために

4. クラブ・サークル活動の再活性化

所属率・満足度ともに低下傾向。特に3年生での不満が多く、キャンパス移動や情報不足が要因と考えられる。入学初期の段階で孤立しないように、情報提供や参加しやすい環境整備も重要。

貴学は1, 2年生と3, 4年生でキャンパスが分かれているため物理的に厳しい可能性もあるが、良い人間関係(友人・教職員)を構築することは、能力の伸長にも影響があると考えられている。(次頁参考)

※他大学の事例としては「できる限り孤立させない工夫」として、入学式のオリエンテーション時期のプログラムの一環として、先輩たちが協力し、サークル活動の紹介を実施、入学したばかりの1年生を何かしらのコミュニティに所属させる仕掛けを全学的に行っている大学もある。

5. 学修成果の実感を高める教育設計

学科によって「学びが役立っている」と感じる度合いに差がある。全体的にスコアは高いため、決して低いとは言えないものの、特に人文学科・生活環境マネジメント学科は下位2学科となる項目が多く、改善の余地があるとも考えられる。

6. 回収率向上のための運用や実査期間・時期の設定

比較的コントロールの効く在学生調査としては、1年生以外の回収率が5割に満たずやや低い印象がある。また元々予定されていた実査時期も短く、回収率の経過を見てから、実査期間の延長や教員からの呼びかけも協力の要請を行ったと伺った。次年度は、後手に回るのではなく、実査時期はある程度余裕を持ち、最初の段階から教員の方から呼びかけに協力していただくなど運用面での工夫が必要と考える。

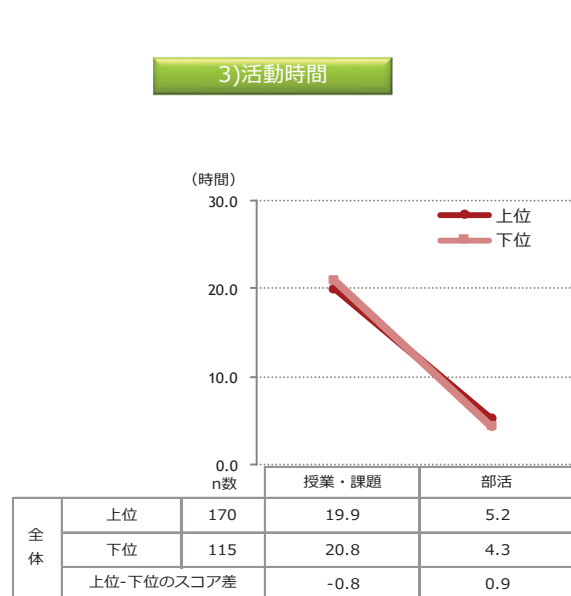
※参考：昨年度末に行った貴学の「卒業生調査」の回収率は24.4%と、コントロールの効きにくい卒業生調査としての回収率は他大学と比較しても優秀な部類であった。(平均的な回収率は13%程度)

参考) 教学 I R PROG 伸長分析 他大学分析事例

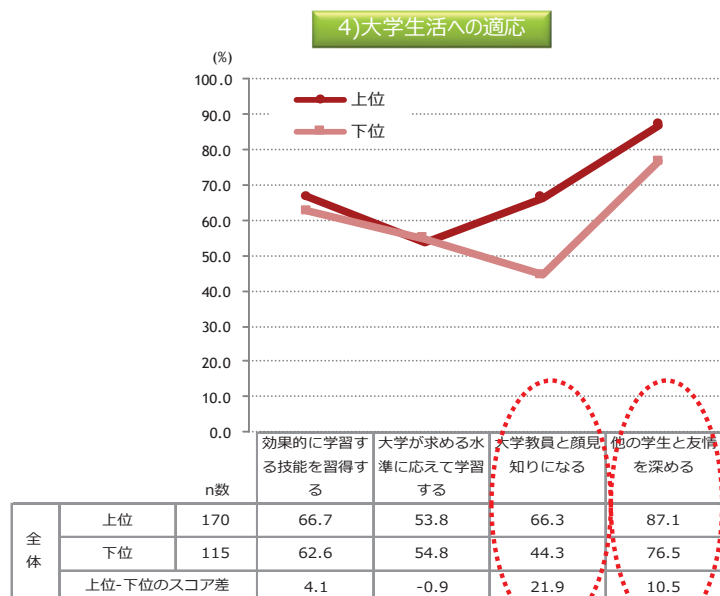
貴学でも実施頂いている、在学生のジェネリックスキル測定のアセスメントテストPROGについて、能力の伸長(1～3年生のスコアの伸び)と、学習や行動、生活についてのアンケートの2つのデータを掛け合わせて分析。対人基礎力の伸長・育成には「良い人間関係の構築」が重要であるといえる。

IRフォーラム事例集より

- 3) 活動時間において、上位グループが下位グループに比べて「部活」の活動時間が長い、大きな差ではない。「授業・課題」の活動時間では差異がみられない。
 4) 大学生生活への適応において、「大学教員と顔見知りになる」「他の学生と友情を深める」などが顕著な差が見受けられる。
 ⇒経験や時間だけでは基礎力への伸長は見られない。学生が主体的・積極的に授業やサークル等に参加する態度が重要と考えられる。



2-2-23 A大学の対人基礎力伸長比較: ③ 週あたりの活動



2-2-24 A大学の対人基礎力伸長比較: ④ 大学生生活への適応

※「基礎力の伸長について」の上位グループ、下位グループ

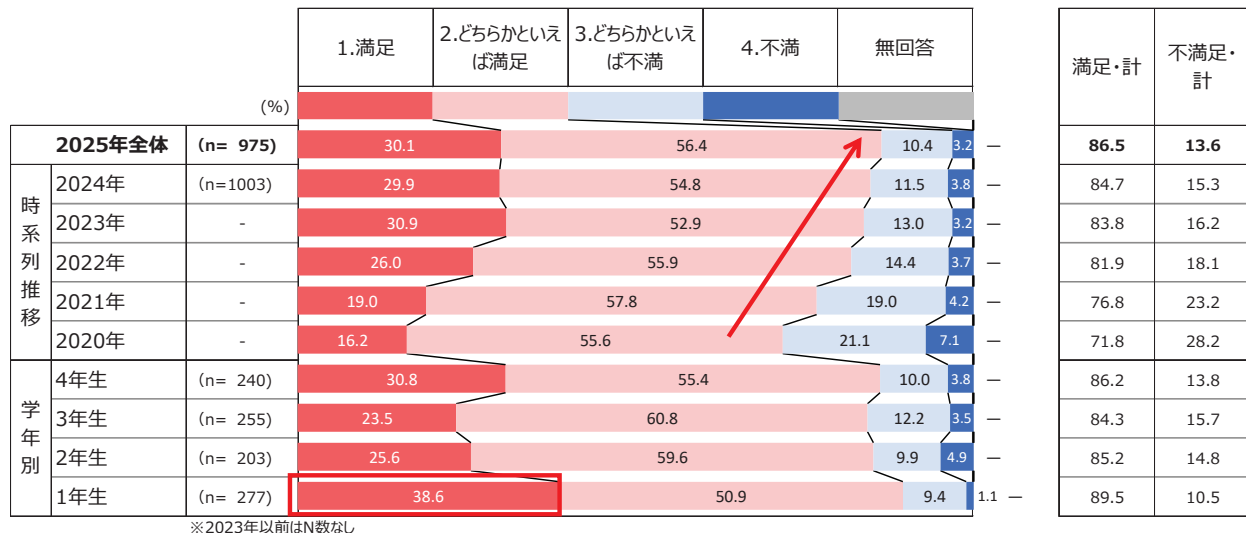
第1章

学生生活の満足度

【全体満足度】本学での教育・学習、学生生活全体に関する満足度

- ✓ 本学での教育・学習、学生生活全体に関する満足度は、肯定的回答86.5%、否定的回答13.6%であり、おおむね満足度は高い。
- ✓ 時系列の推移では、2020年度以降、満足度が微増傾向にあり、「満足・計」の割合は今回は2020年度に比べ14.7ptの増加となった。
- ✓ 学年別では各学年ともに8割以上の満足度であり、トップボックスの「満足」は1年生で高く特徴となっている。

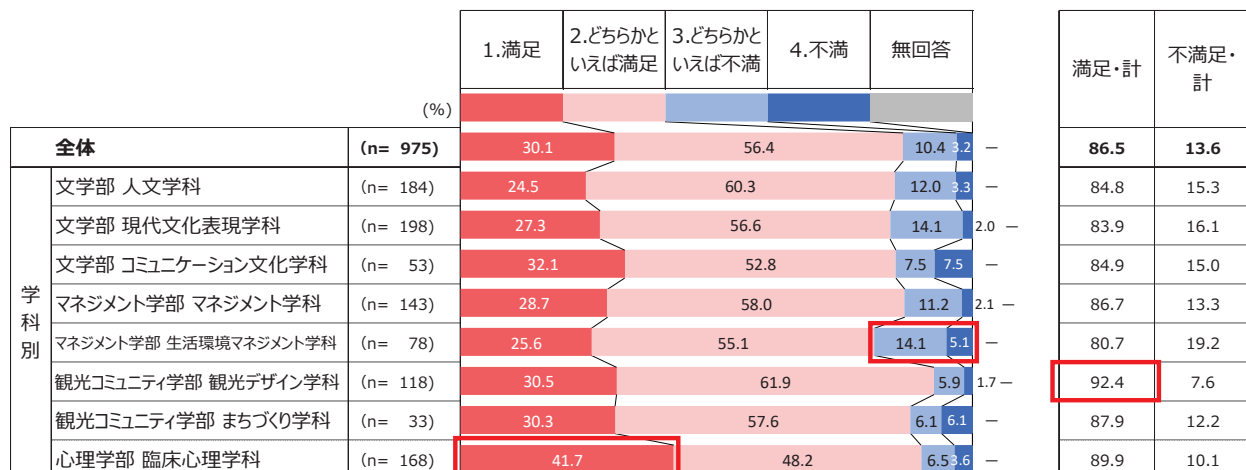
問8 本学での教育・学習、学生生活等に関して、全体としてどの程度満足していますか（全体／単一回答）



【全体満足度】本学での教育・学習、学生生活全体に関する満足度

- ✓ 学科別の満足度では各学科ともに8割以上の満足度でいずれの学科でもおおむね満足度は高い。
- ✓ トップボックス「満足」の割合は、特に臨床心理学科で4割を超えて特徴的に高い。
- ✓ セカンドボックスまで合わせた「満足・計」の割合は、観光デザイン学科で特に高く9割を超えている。
- ✓ 「不満足・計」の割合は生活環境マネジメント学科で高く、2割近くを占めている。

問8 本学での教育・学習、学生生活等に関して、全体としてどの程度満足していますか（全体／単一回答）



主要7項目の満足度比較① [n=「利用したことがない・わからない」を除く]

主要7項目の全般的な満足度について分析するため、全体回答から「利用したことがない・わからない」を除いた集計結果を比較した。

- ✓ もっとも満足度が高いのは「本学の窓口や相談方法全般」であり、もっとも満足度の低いのは「クラブ、サークル、学生会活動」であった。
- ✓ トップボックス「満足」の割合に注目すると「学内における友人関係」が47.5%で最多、次いで「クラブ、サークル、学生会活動」が33.5%で続く。

主要7項目の満足度比較（利用者／単一回答）

※主要7項目

- 問1-7 授業やカリキュラム、履修制度全般について、どの程度満足していますか
- 問2-6 学習支援制度や仕組み全般に関して、どの程度満足していますか
- 問3-4 就職支援全般について、どの程度満足していますか
- 問4-12 施設や設備全般について、どの程度満足していますか
- 問5-12 窓口や相談方法全般について、どの程度満足していますか
- 問6 クラブ、サークル、学生会活動等について、どの程度満足していますか
- 問7 学内における友人関係について、どの程度満足していますか

		1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満		満足・計	不満・計
	(%)							
Q5.窓口や相談方法全般	(n= 690)	32.9	57.7	7.2	2.2		90.6	9.4
Q2.学習支援制度や仕組み全般	(n= 975)	24.5	65.6	7.8	2.1		90.1	9.9
Q4.施設や設備全般	(n= 975)	31.5	56.0	10.7	1.8		87.5	12.5
Q7.学内における友人関係	(n= 975)	47.5	39.3	8.6	4.6		86.8	13.2
Q3.就職支援全般	(n= 567)	28.4	57.7	9.3	4.6		86.1	13.9
Q1.授業やカリキュラム、履修制度全般	(n= 975)	23.7	52.5	18.8	5.0		76.2	23.8
Q6.クラブ、サークル、学生会活動等	(n= 310)	33.5	37.1	18.4	11.0		70.6	29.4

※「満足・計」のスコアで降順ソート

主要7項目の満足度比較② [n=全員]

前述の主要7項目の全般的な満足度を全回答による集計結果を比較した。

- ✓ 満足度を比較すると、「学習支援制度や仕組み全般」「施設や設備全般」「学内における友人関係」が非常に高い。
- ✓ 一方、利用率をみると、「クラブ、サークル、学生会活動」が31.8%と最も低く、次いで「就職支援全般」が58.1%となっている。

主要7項目の満足度比較（全体／単一回答）

※主要7項目

- 問1-7 授業やカリキュラム、履修制度全般について、どの程度満足していますか
- 問2-6 学習支援制度や仕組み全般に関して、どの程度満足していますか
- 問3-4 就職支援全般について、どの程度満足していますか
- 問4-12 施設や設備全般について、どの程度満足していますか
- 問5-12 窓口や相談方法全般について、どの程度満足していますか
- 問6 クラブ、サークル、学生会活動等について、どの程度満足していますか
- 問7 学内における友人関係について、どの程度満足していますか

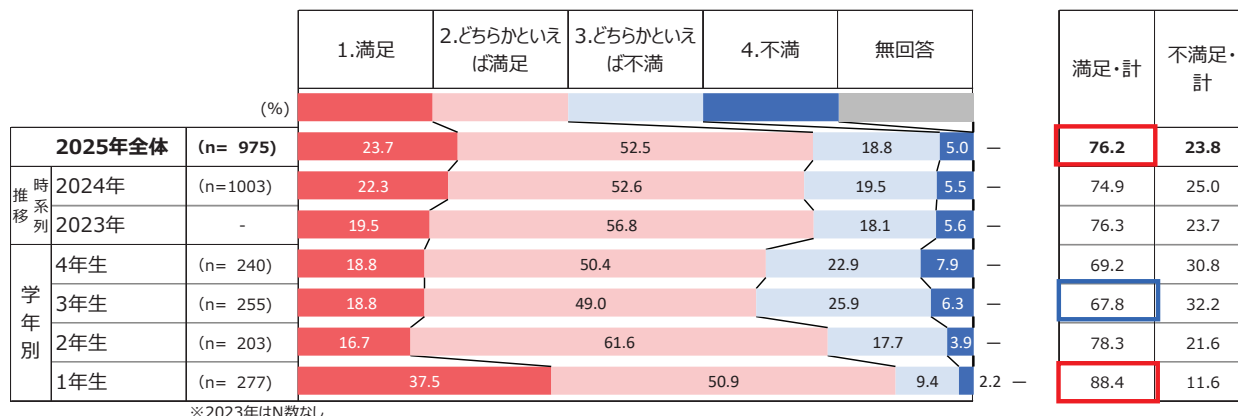
		1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満	5.利用したことがない・わからない	利用率	満足・計	不満・計
	(%)								
Q1.授業やカリキュラム、履修制度全般	(n= 975)	23.7	52.5	18.8	5.0	—	100.0	76.2	23.8
Q2.学習支援制度や仕組み全般	(n= 975)	24.5	65.6	7.8	2.1	—	100.0	90.1	9.9
Q3.就職支援全般	(n= 975)	16.5	33.5	5.4	41.8	1.8	58.1	50.0	8.1
Q4.施設や設備全般	(n= 975)	31.5	56.0	10.7	1.8	—	100.0	87.5	12.5
Q5.窓口や相談方法全般	(n= 975)	23.3	40.8	5.1	29.2	—	70.7	64.1	6.6
Q6.クラブ、サークル、学生会活動等	(n= 975)	10.7	11.8	5.8	68.2	—	31.8	22.5	9.3
Q7.学内における友人関係	(n= 975)	47.5	39.3	8.6	4.6	—	100.0	86.8	13.2

問1 本学の授業やカリキュラム、履修制度全般に関する満足度

問1-7は、問1「本学の授業やカリキュラム・履修制度全般」に関する領域別総合満足度を問う設問である。

- ✓ 全体満足度は「満足・計」76.2%、「不満足・計」23.8%であり、2024年度とほぼ同レベルとなっている。
- ✓ 学年別にみると満足度は1年生がもっとも高く、3年生がもっとも低い。学年が上がるにつれ不満足の高割合が高くなる傾向にある。

問1-7 【満足度】本学の授業やカリキュラム、履修制度全般について（全体／単一回答）

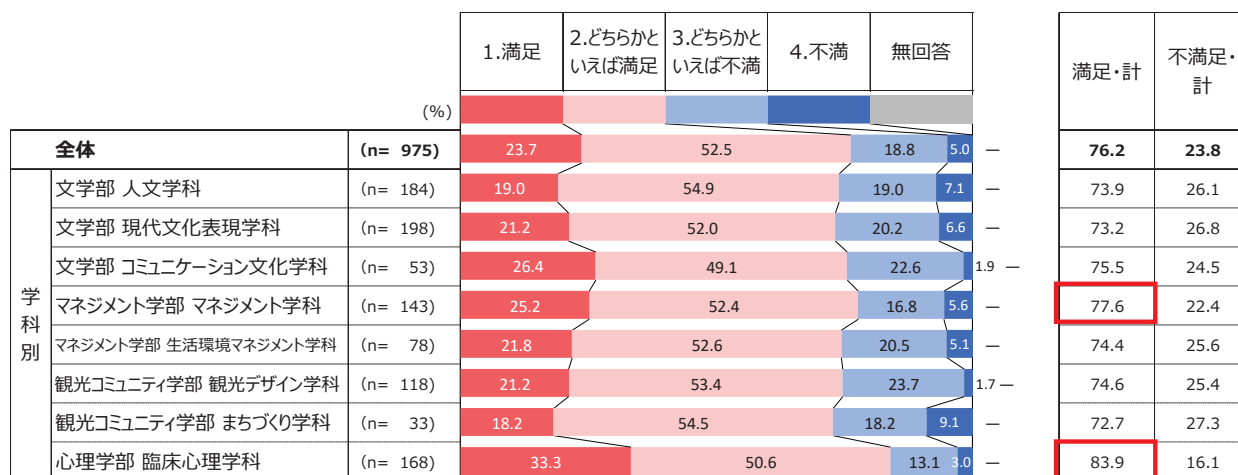


問1 本学の授業やカリキュラム、履修制度全般に関する満足度

「本学の授業やカリキュラム・履修制度全般」に関する領域別総合満足度を学科別に比較した。

- ✓ 満足度がもっとも高いのは臨床心理学科、次いでマネジメント学科であった。前述の通り1年生の満足度が高いことから、いずれも回答者に占める1年生の割合が高いためと考えられる。
- ✓ ただし、現代文化表現学科では1年生の割合が高いにもかかわらず満足度は相対的に低く73.2%であった。

問1-7 【満足度】本学の授業やカリキュラム、履修制度全般について（全体／単一回答）



問1 本学の授業やカリキュラム、履修制度全般に関する満足度

「本学における授業やカリキュラム、履修制度等の満足度」を分析するため、7つの個別項目について全体の回答結果を相対比較した。

- ✓ 「各科目の履修者数」「受講している授業の内容や進め方」の満足度が約9割と非常に高い。
- ✓ 一方、「抽選となる科目の数」「1学期ごとの履修登録単位数の制限」の満足度が相対的に低い。

問1 本学の授業やカリキュラム、履修制度等について、どの程度満足していますか。(全体／単一回答)

※問1 授業やカリキュラム、履修制度全般について、どの程度満足していますか

- 問1-1 本学のカリキュラム（授業科目体系）の構成
- 問1-2 シラバスのわかりやすさ
- 問1-3 1学期ごとの履修登録単位数の制限
- 問1-4 抽選となる科目の数
- 問1-5 各科目の履修者数
- 問1-6 受講している授業の内容や進め方
- 問1-7 本学の授業やカリキュラム、履修制度全般

		1.満足	2.どちらかとい えば満足	3.どちらかとい えば不満	4.不満	無回答		満足・計	不満・計
		(%)							
Q1-5. 各科目の履修者数	(n= 975)	41.0	49.6	7.3	2.1	—	90.6	9.4	
Q1-6. 受講している授業の内容や進め方	(n= 975)	31.6	58.1	8.8	1.5	—	89.7	10.3	
Q1-2. シラバスのわかりやすさ	(n= 975)	28.8	53.4	15.8	1.9	—	82.2	17.7	
Q1-1. カリキュラム（授業科目体系）の構成	(n= 975)	27.6	52.6	16.5	3.3	—	80.2	19.8	
Q1-3. 1学期ごとの履修登録単位数の制限	(n= 975)	28.7	38.6	23.1	9.6	—	67.3	32.7	
Q1-4. 抽選となる科目の数	(n= 975)	27.4	34.5	23.9	14.3	—	61.9	38.2	
Q1-7. 授業やカリキュラム、履修制度全般	(n= 975)	23.7	52.5	18.8	5.0	—	76.2	23.8	

※「満足・計」のスコアで降順ソート（Q1-7を除く）

問1-1 【満足度】本学のカリキュラム（授業科目体系）の構成

- ✓ カリキュラムや授業科目体系の全体満足度は、「満足・計」80.2%、「不満・計」19.8%であり、おおむね満足度は高い。
- ✓ 時系列の推移では、昨年まで微増傾向にあったトップボックス「満足」の割合は昨年から微減したが、2023年以降8割以上の高い満足度を維持している。
- ✓ 学年別でみると1年生で満足度がもっとも高く、3年生でもっとも低い。学年が上がるにつれ「不満」の割合が高くなる傾向にある。

問1-1 【満足度】本学のカリキュラム（授業科目体系）の構成（全体／単一回答）

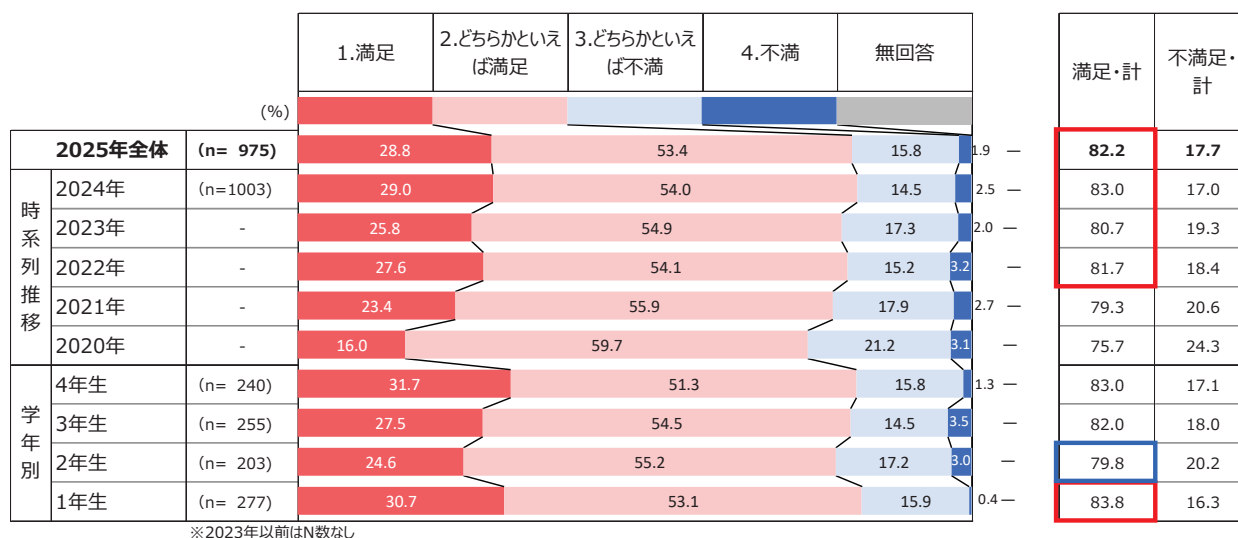
			1.満足	2.どちらかといえ ば満足	3.どちらかといえ ば不満	4.不満	無回答			満足・計	不満・ 計
			(%)								
2025年全体 (n= 975)			27.6	52.6			16.5	3.3		80.2	19.8
時 系 列 推 移	2024年 (n=1003)		28.6	52.8			15.3	3.3		81.4	18.6
	2023年 -		27.1	53.8			15.9	3.2		80.9	19.1
	2022年 -		26.3	50.7			16.7	6.3		77.0	23.0
	2021年 -		26.0	55.1			16.1	2.8		81.1	18.9
	2020年 -		19.8	57.1			18.0	5.1		76.9	23.1
学 年 別	4年生 (n= 240)		23.8	49.2			21.3	5.8		73.0	27.1
	3年生 (n= 255)		23.5	49.4			23.5	3.5		72.9	27.0
	2年生 (n= 203)		19.7	62.6			13.8	3.9		82.3	17.7
	1年生 (n= 277)		40.4	51.3			7.9	0.4		91.7	8.3

※2023年以前はN数なし

問1-2 【満足度】シラバスのわかりやすさ

- ✓ シラバスのわかりやすさの全体満足度は、「満足・計」82.2%、「不満足・計」17.7%であり、おおむね満足度は高い。
- ✓ 時系列の推移では、2022年度以降、8割以上の高い満足度を維持している。
- ✓ 学年別でみると1年生で満足度がもっとも高く、2年生でもっとも低い。
- ✓ 2年生は昨年（グラフ非掲載）1年生時の満足度から傾向に変化がなく、相対的に低いまま推移している（1年生時：満足24.7%、満足・計78.9%）。

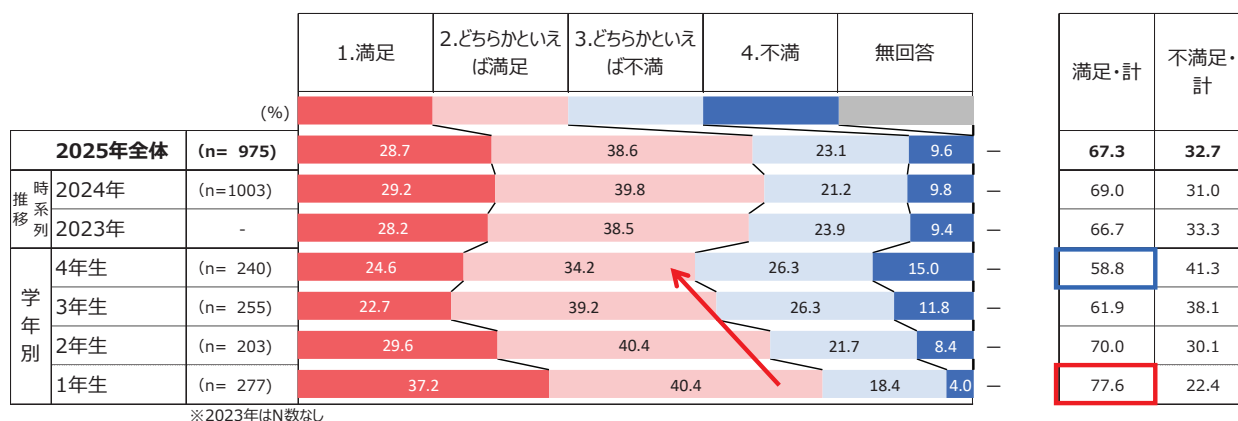
問1-2 【満足度】シラバスのわかりやすさ（全体／単一回答）



問1-3 【満足度】1学期ごとの履修登録単位数の制限

- ✓ 履修登録単位数の制限に関する全体満足度は、「満足・計」67.3%、「不満足・計」32.7%であり、他の指標に比べ満足度が低い。
- ✓ 2024年度（69.0%）に比べ、満足度は微減している。
- ✓ 学年別にみると、1年生で満足度がもっとも高く、4年生でもっとも低い。学年が上がるにつれ「不満足」の割合が高くなる傾向にある。

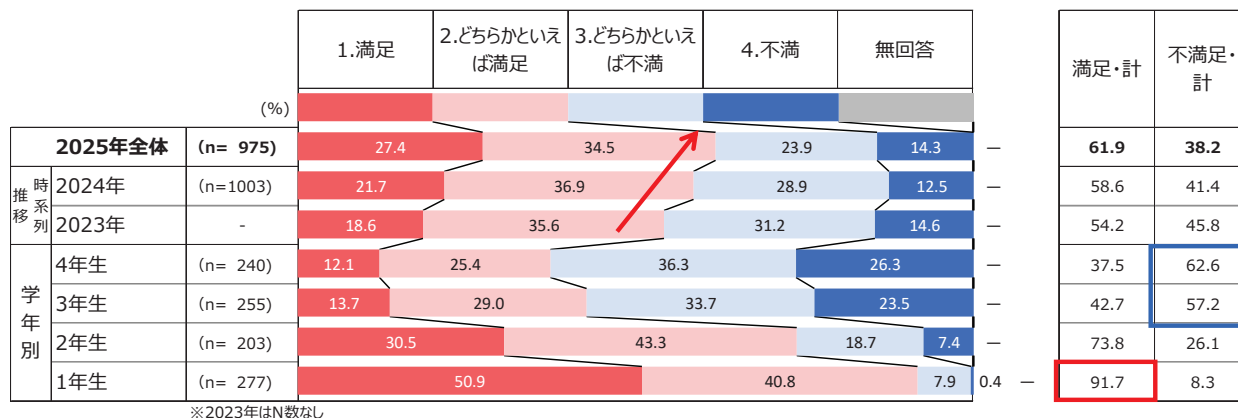
問1-3 【満足度】1学期ごとの履修登録単位数の制限（全体／単一回答）



問1-4 【満足度】抽選となる科目の数

- ✓ 抽選となる科目の数に関する全体満足度は、「満足・計」61.9%、「不満足・計」38.2%であり、他の指標より満足度が低い。
- ✓ しかしながら年々満足度は上昇傾向にあり、2023年度に比べて「満足・計」は7.7ポイント上昇した。
- ✓ 学年別にみると、1年生で満足度がもっとも高く、4年生でもっとも低い。学年が上がるにつれ「不満足」の割合が高くなる傾向にあり、3年生、4年生では過半数が不満足としている。

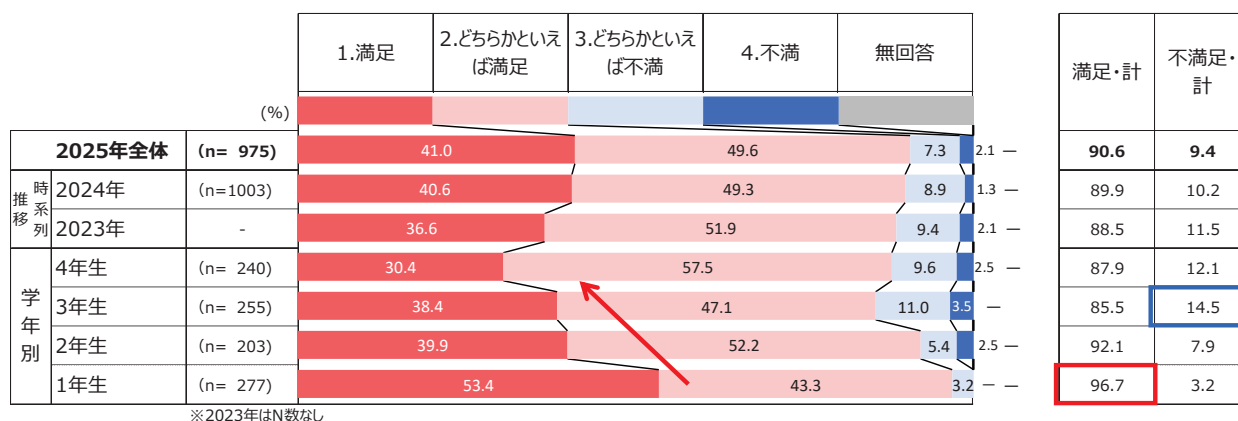
問1-4 【満足度】抽選となる科目の数（全体／単一回答）



問1-5 【満足度】各科目の履修者数

- ✓ 各科目の履修者数に関する全体満足度は、「満足・計」90.6%、「不満足・計」9.4%であり、満足度は高い。
- ✓ わずかずではあるが、年々満足度は上昇傾向にある。
- ✓ 学年別にみると、1年生で満足度がもっとも高く、3年生でもっとも低い。トップボックス「満足」の割合は学年が上がるにつれて低くなる傾向となっている。

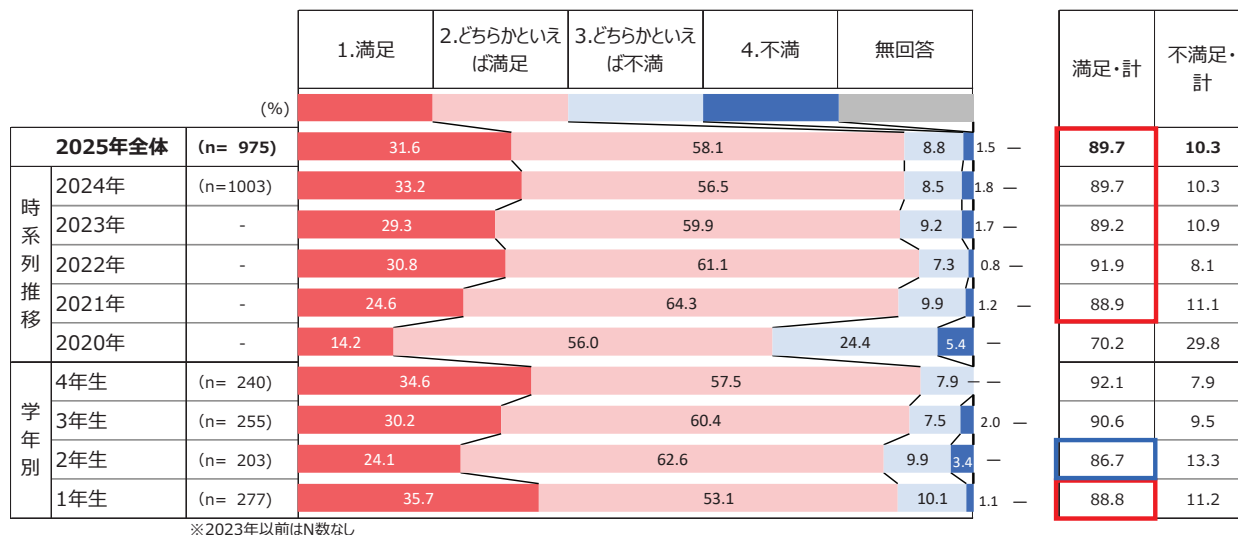
問1-5 【満足度】各科目の履修者数（全体／単一回答）



問1-6 【満足度】受講している授業の内容や進め方

- ✓ 受講している授業の内容や進め方についての全体満足度は、「満足・計」89.7%、「不満足・計」10.3%であり、満足度は高い。
- ✓ 時系列の推移では2021年度から約9割の高い満足度を維持している。
- ✓ 学年別で見ると、各学年で満足度が9割前後とおしなべて高いが、2年生で86.7%と最も低い。4年生、3年生は昨年（グラフ非掲載）から大きな変化がないなか、2年生だけは昨年（1年生時）から下がっている（1年生時：満足33.7%、満足・計91.4%）。

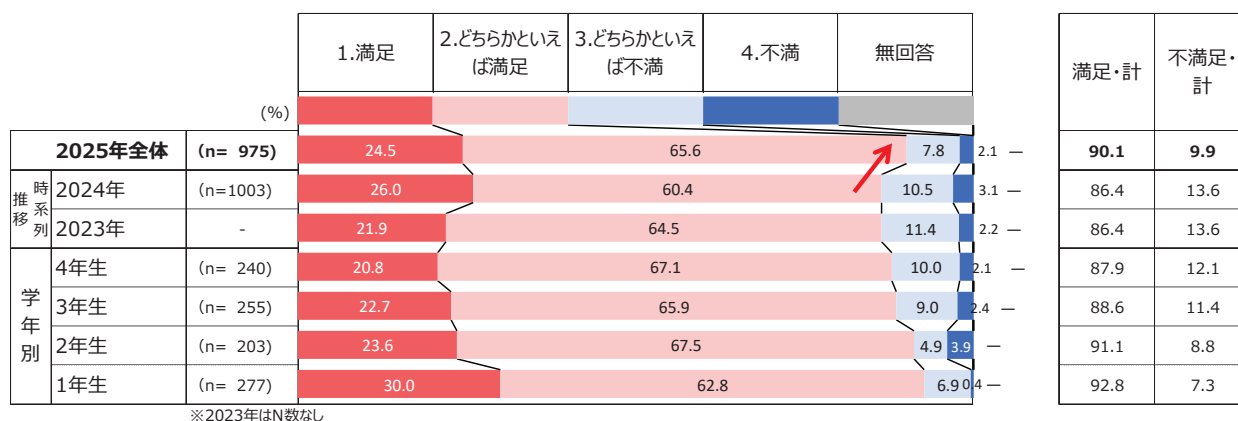
問1-6 【満足度】受講している授業の内容や進め方についての満足度（全体／単一回答）



問2 本学の学習支援制度や仕組み全般に関する満足度

- ✓ 問2-6は、「本学の学習支援制度や仕組み全般」に関する領域別満足度を問う設問である。「満足」と「どちらかといえば満足」をあわせた肯定的回答は90.1%でおおむね満足度は高い。
- ✓ 時系列推移では、2024年以前に比べて「満足・計」が3.7ポイント上昇した。
- ✓ 各学年でおしなべて満足度は9割前後と高い割合になっているが、学年が上がるにつれて低くなる傾向となっている。

問2-6 【満足度】本学の学習支援制度や仕組み全般について（全体／単一回答）



問2 本学の学習支援制度や仕組み全般に関する満足度

- ✓ 「本学の学習支援制度や仕組み全般」に関する領域別総合満足度を学科別に比較した。おおむね9割前後と学科による大きな差はなく、高い満足度を示している。

問2-6 【満足度】本学の学習支援制度や仕組み全般について（全体／単一回答）

		1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満	無回答	満足・計	不満・計
		(%)						
全体		(n= 975)	24.5	65.6	7.8	2.1	90.1	9.9
学科別	文学部 人文学科	(n= 184)	18.5	70.7	8.2	2.7	89.2	10.9
	文学部 現代文化表現学科	(n= 198)	22.2	71.2	5.6	1.0	93.4	6.6
	文学部 コミュニケーション文化学科	(n= 53)	30.2	58.5	9.4	1.9	88.7	11.3
	マネジメント学部 マネジメント学科	(n= 143)	23.8	65.0	9.8	1.4	88.8	11.2
	マネジメント学部 生活環境マネジメント学科	(n= 78)	29.5	57.7	10.3	2.6	87.2	12.9
	観光コミュニティ学部 観光デザイン学科	(n= 118)	22.9	71.2	4.2	1.7	94.1	5.9
	観光コミュニティ学部 まちづくり学科	(n= 33)	27.3	60.6	9.1	3.0	87.9	12.1
心理学部 臨床心理学科		(n= 168)	31.0	57.1	8.9	3.0	88.1	11.9

問2 本学の学習支援制度や仕組みに関する満足度（個別項目の相対比較①） n=各利用者

「本学の学習支援制度や仕組みに関する満足度」を分析するため、6つの個別項目について「参加したことがない・わからない」の回答を除いた集計結果を相対比較した。

- ✓ 各項目とも利用者の満足度は9割以上と高く、トップボックス「満足」に着目すると「海外研修」「英会話・韓国語サロン」で高い。

問2 本学の学習支援制度や仕組み全般に関する満足度（利用者／単一回答）

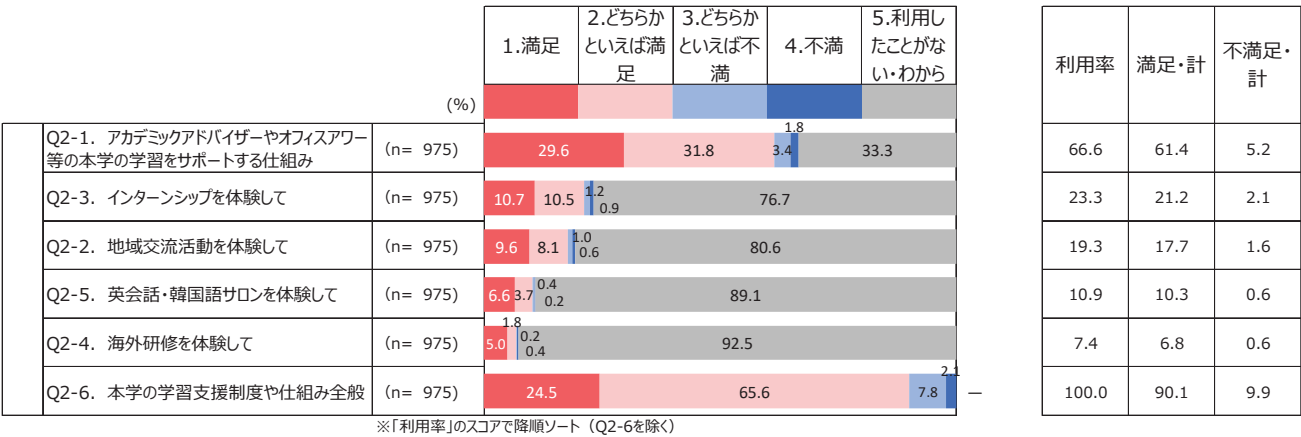
		1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満	満足・計	不満・計
		(%)					
Q2-5. 英会話・韓国語サロンを体験して	(n= 106)	60.4	34.0	3.8	1.9	94.4	5.7
Q2-1. アカデミックアドバイザーやオフィスアワー等の本学の学習をサポートする仕組み	(n= 650)	44.5	47.7	5.1	2.8	92.2	7.9
Q2-4. 海外研修を体験して	(n= 73)	67.1	24.7	2.7	5.5	91.8	8.2
Q2-2. 地域交流活動を体験して	(n= 189)	49.7	41.8	5.3	3.2	91.5	8.5
Q2-3. インターンシップを体験して	(n= 227)	45.8	44.9	5.3	4.0	90.7	9.3
Q2-6. 本学の学習支援制度や仕組み全般	(n= 975)	24.5	65.6	7.8	2.1	90.1	9.9

※「満足・計」のスコアで降順ソート（Q2-6を除く）

問2 本学の学習支援制度や仕組みに関する満足度（個別項目の相対比較②） n=全員の回答

- 「本学の学習支援制度や仕組みに関する満足度」を分析するため、5つの個別項目について全回答の集計結果を相対比較した。
- ✓ 「本学の学習支援制度や仕組み全般」を除くと「アカデミックアドバイザーやオフィスアワー等の本学の学習をサポート」の利用率が66.6%でもっとも高い。一方、「海外研修」の利用率は7.4%に留まる。

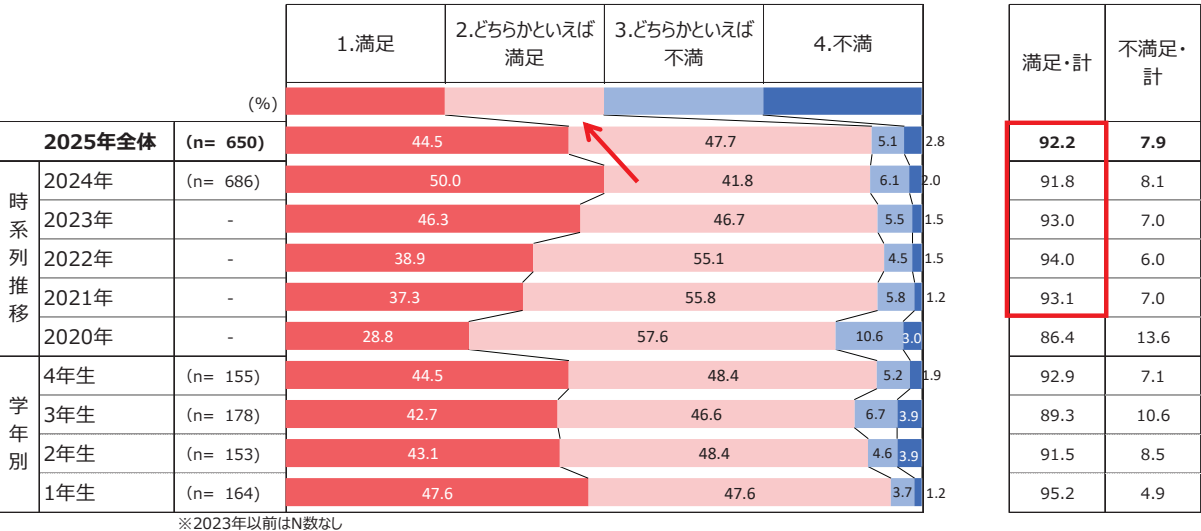
問2 本学の学習支援制度や仕組み全般に関する満足度（全体／単一回答）



問2-1 【満足度】アカデミックアドバイザーやオフィスアワー等の本学の学習をサポートする仕組み

- ✓ 本学の学習をサポートする仕組みの満足度は、「満足・計」92.2%と満足度は非常に高い。
- ✓ 時系列の推移では、「満足・計」の割合は2021年度以降安定して高いものの、トップボックス「満足」のスコアが2024年度から5.5ポイント低下した。
- ✓ 学年別の満足度はいずれも9割前後とおしなべて高い。

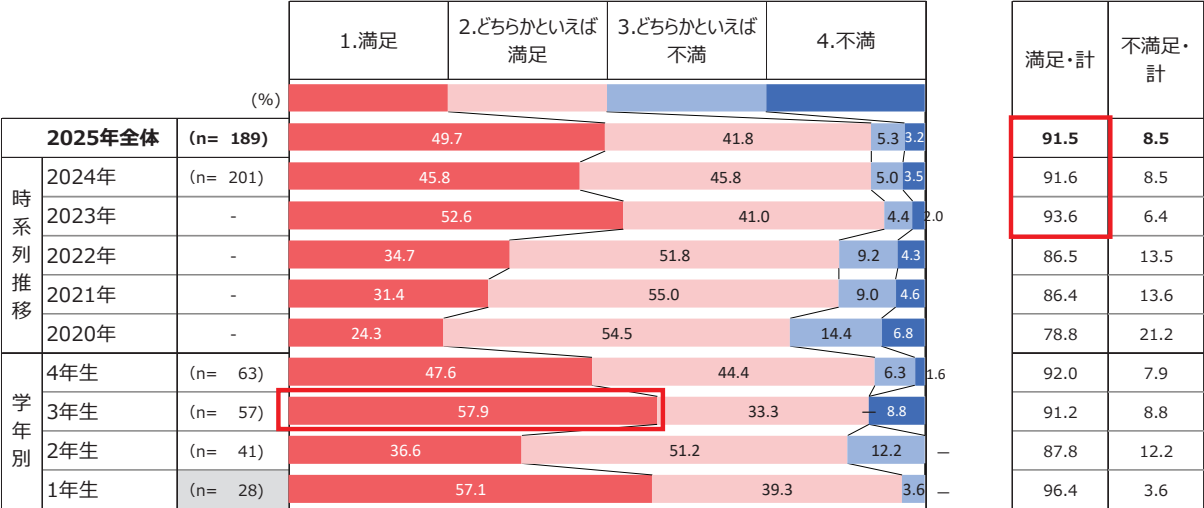
問2-1 【満足度】アカデミックアドバイザーやオフィスアワー等の本学の学習をサポートする仕組み（利用者／単一回答）



問2-2 【満足度】地域交流活動（フィールドワークやボランティア等）を体験して

- ✓ 地域交流活動（フィールドワークやボランティア等）の満足度は91.5%と非常に高い。
- ✓ 時系列でも2023年度以降同レベルの満足度で安定している。
- ✓ 学年別でみると、3年生で「満足」が特徴的に高い。

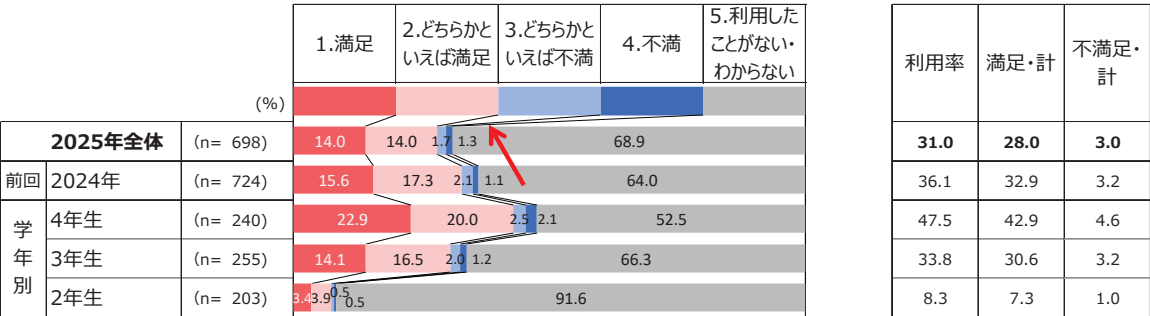
問2-2 【満足度】地域交流活動（フィールドワークやボランティア等）を体験して（利用者／単一回答）



問2-3 【満足度】インターンシップを体験して（1）利用率比較

- ✓ インターンシップを体験しての満足度では2年生以上を対象として集計した。
- ✓ 全体の利用率は31.0%であった。2024年度と比較すると5.1ポイント低下している。
- ✓ 学年別でみると4年生47.5%と相対的に高い利用率であった。
- ✓ 昨年調査（グラフ非掲載）と比較すると、2年生で25.6%から8.3%へ、3年生で44.4%から33.8%へ大きく低下。一方4年生では41.3%から47.5%へ上昇している。

問2-3 【満足度】インターンシップを体験して（2年生以上全体／単一回答）



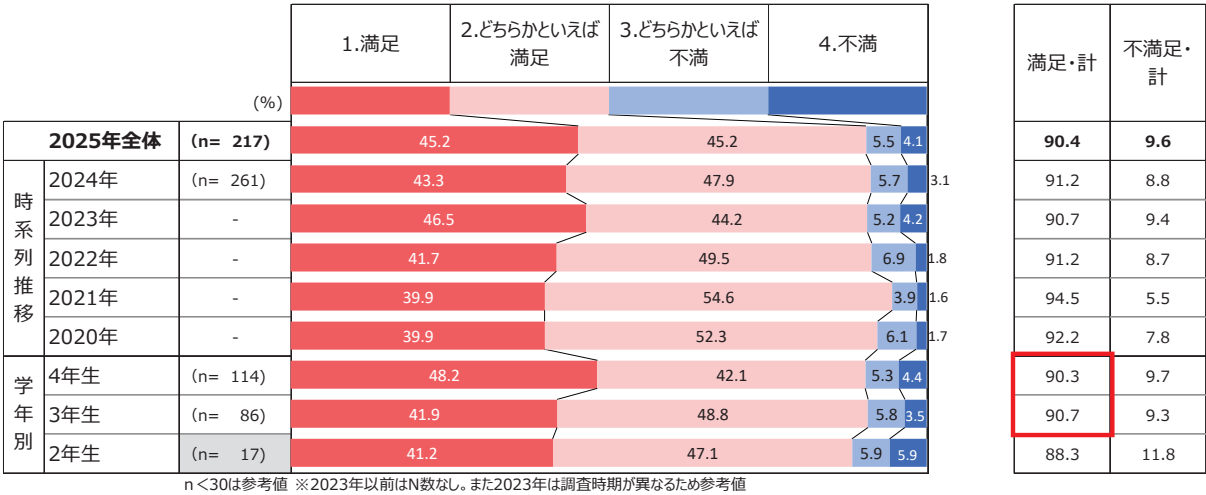
問2-3 【満足度】インターンシップを体験して（2）満足度比較

- ✓ インターンシップの満足度は90.4%と非常に高い。
- ✓ 時系列でみても満足度は9割以上を維持している。
- ✓ 学年別でみてもおしなべて満足度が高い。

※選択肢の対応

2020年度～2022年度	2023年度以降
とても有意義であった	満足
有意義であった	どちらかといえば満足
あまり有意義でない	どちらかといえば不満
有意義でない	不満

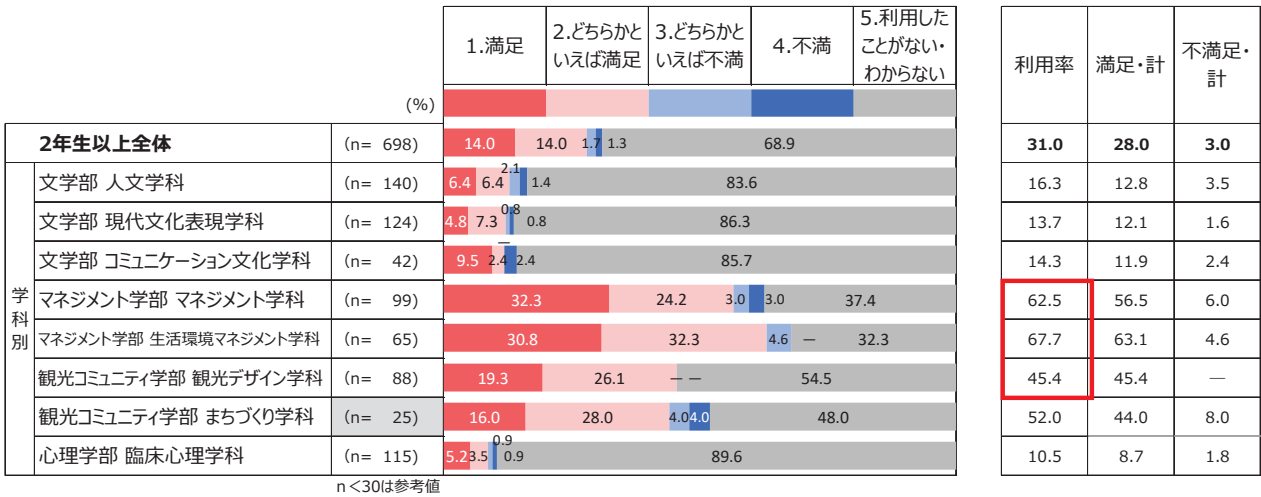
問2-3 【満足度】インターンシップを体験して（2年生以上利用者／単一回答）



問2-3 【満足度】インターンシップを体験して（3）学科別利用率比較

- ✓ 「インターンシップを体験しての満足度」を学科別に集計した。
 - ✓ インターンシップ利用率はマネジメント学部で高く、2学科いずれも6割を超える。ついで、観光コミュニティ学部の観光デザイン学科で45.4%であった。
 - ✓ 一方、文学部、心理学部では利用率が1割台と低い。
- ※n数が30未満の学科は参考値

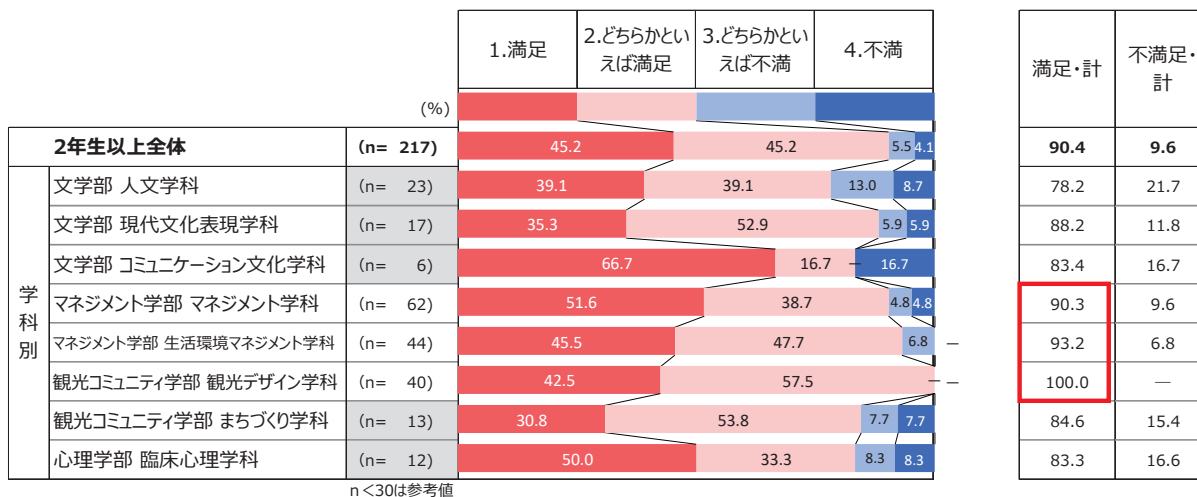
問2-3 【満足度】インターンシップを体験して（2年生以上全体／単一回答）



問2-3 【満足度】インターンシップを体験して（4）学科別満足度比較

- ✓ 「インターンシップを体験しての満足度」の利用者で学科別に集計した。
 - ✓ n30以上の学科ではいずれも満足度が9割以上と高い。
- ※n数が30未満の学科は参考値

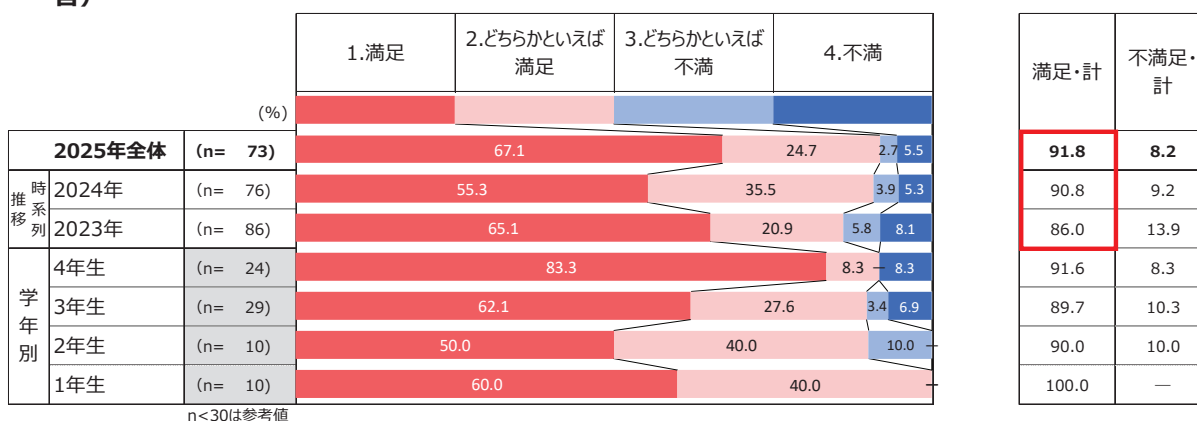
問2-3 【満足度】インターンシップを体験して（2年生以上全体／単一回答）



問2-4 【満足度】海外研修（短期留学、語学研修、オンライン留学等を含む）を体験

- ✓ 海外研修を体験しての満足度は、91.8%と高い。
 - ✓ 時系列でみると2023年度以降、微増傾向となっている。
- ※学年別はいずれもn数が30未満と少ないため参考値

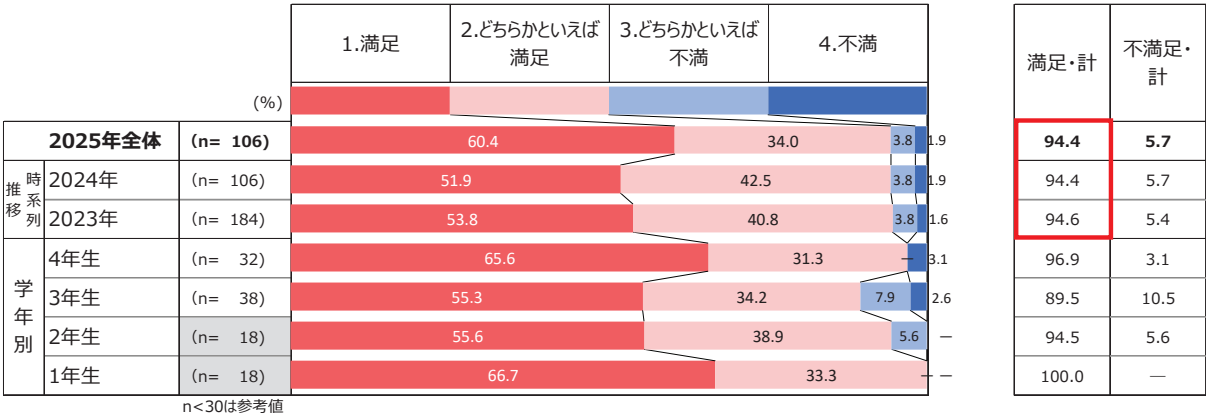
問2-4 【満足度】海外研修（短期留学、語学研修、オンライン留学等を含む）を体験して（利用者／単一回答）



問2-5 【満足度】英会話・韓国語サロンを体験して

- ✓ 英会話サロン・韓国語サロンを体験しての満足度は94.4%と非常に高かった。
- ✓ 時系列で見ると、2023年度以降、安定して満足度が維持されている。
- ✓ 学年別では3年生に比べて4年生の満足度が高い。
※学年別は1年生、2年生のn数は30未満と少ないため参考値

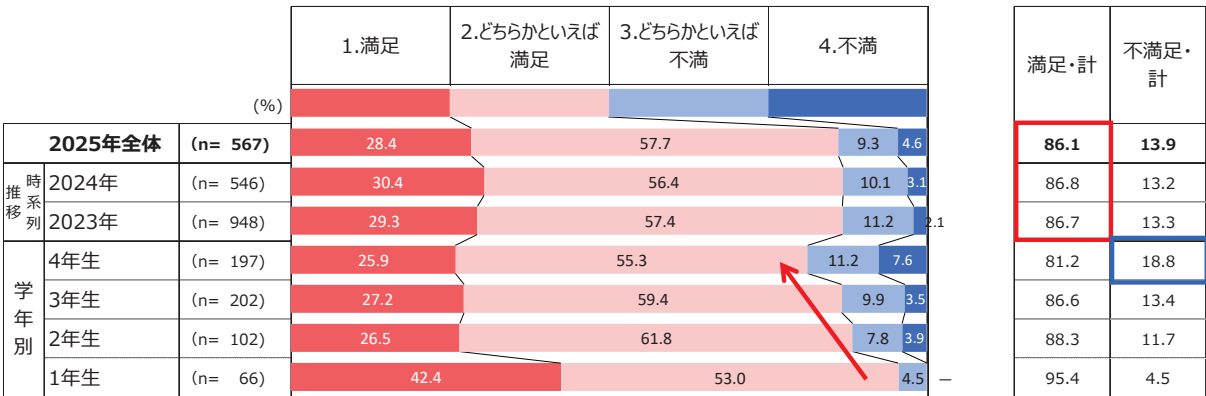
問2-5 【満足度】英会話・韓国語サロンを体験して（利用者／単一回答）



問3 本学の就職支援全般に関する満足度

- ✓ 問3-4は、「問3 本学の就職支援」の領域別総合満足度を問う設問である。満足度は86.1%と高い。
- ✓ 時系列で見ると、2023年度以降、安定して満足度が維持されている。
- ✓ 学年別で見ると、各学年で満足度が8割以上と、おしなべて高い。特に1年生で「満足」が42.4%と高いが、学年が上がるにつれ「不満足」の割合が高くなる傾向にあり、4年生では「不満足・計」が18.8%になっている。

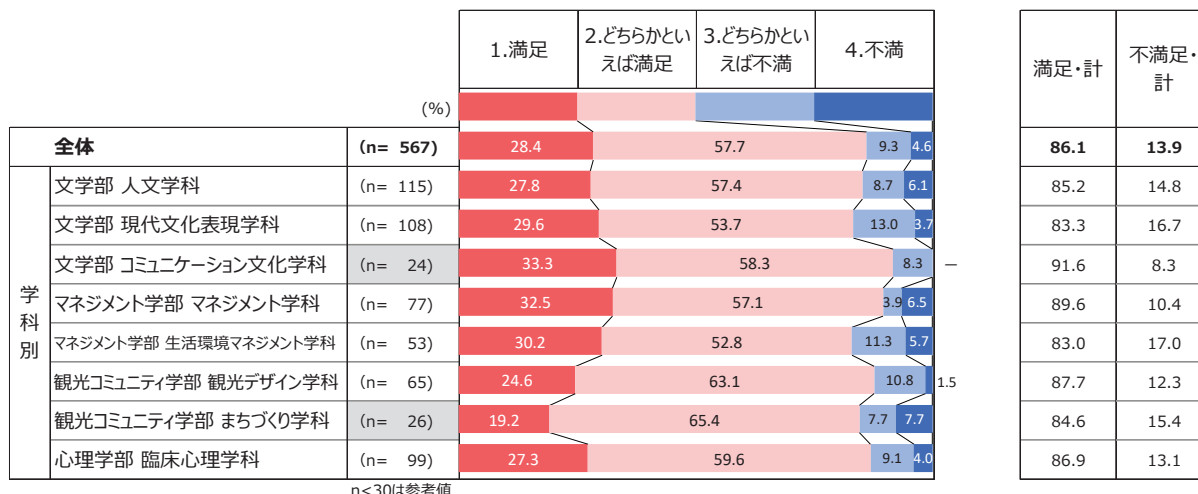
問3-4 【満足度】本学の就職支援全般について（利用者／単一回答）



問3 本学の就職支援全般に関する満足度

- ✓ 「本学の就職支援制度全般」に関する領域別総合満足度を学科別に比較した。
 - ✓ 「満足・計」の割合はおおむね8割以上と学科による大きな差はなく、高い満足度を示している。
- ※n数が30未満の学科は参考値

問3-4 【満足度】本学の就職支援全般について（利用者／単一回答）

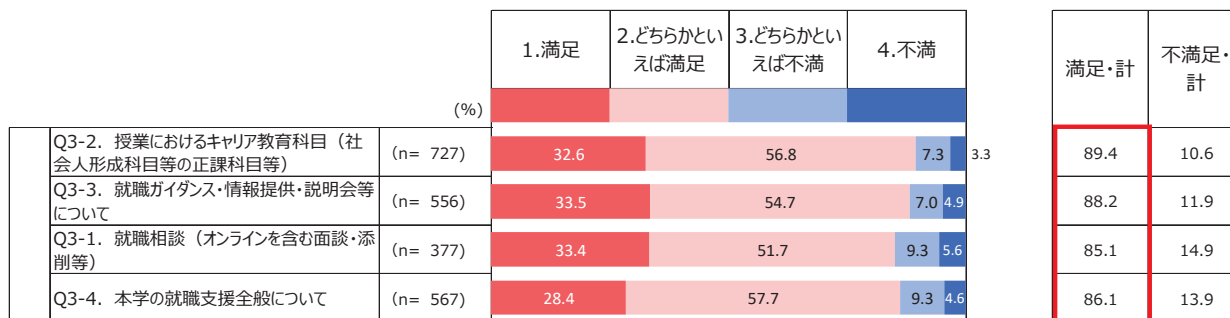


問3 キャリア支援、キャリア教育に関する満足度（個別項目の相対比較①） n=各利用者

「本学のキャリア支援、キャリア教育に関する満足度」を分析するため3つの個別項目について、「参加したことがない・わからない」の回答を除いた集計結果を相対比較した。

- ✓ 各就業支援の満足度は85%以上とおしなべて高い。

問3 本学のキャリア支援、キャリア教育に関する満足度（利用者／単一回答）



問3 キャリア支援、キャリア教育に関する満足度（個別項目の相対比較②） n=全員の回答

「本学のキャリア支援、キャリア教育に関する満足度」を分析するための3つの個別項目について、全体回答の集計結果を相対比較した。

- ✓ 「授業におけるキャリア教育科目」の利用率が74.6%でもっとも高く、「就職相談」の利用率が38.7%でもっとも低い。

問3 本学のキャリア支援、キャリア教育に関する満足度（全体／単一回答）

		1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満	5.利用したことがない・わからない	利用率	満足・計	不満足・計
	(%)								
Q3-2. 授業におけるキャリア教育科目（社会人形成科目等の正課科目等）	(n= 975)	24.3	42.4	5.4	2.5	25.4	74.6	66.7	7.9
Q3-3. 就職ガイダンス・情報提供・説明会等について	(n= 975)	19.1	31.2	4.0	2.8	43.0	57.1	50.3	6.8
Q3-1. 就職相談（オンラインを含む面談・添削等）	(n= 975)	12.9	20.0	3.6	2.2	61.3	38.7	32.9	5.8
Q3-4. 本学の就職支援全般について	(n= 975)	16.5	33.5	5.4	2.7	41.8	58.1	50.0	8.1

※「利用率」のスコアで降順ソート(Q3-4を除く)

問3-1 【満足度】就職相談（オンラインを含む面談・添削等）

- ✓ 2～4年生の就職相談に関する満足度は84.4%と高い。
- ✓ 時系列でみると、トップボックス「満足」のスコアが2024年度まで微増し、今回もほぼ横ばいを維持している。

2022年度以前は2～4年生限定設問として実施していたため、
2023年度以降も経年比較は2～4年生ベースで実施

問3-1 【満足度】就職相談（オンラインを含む面談・添削等）（2年生以上利用者／単一回答）

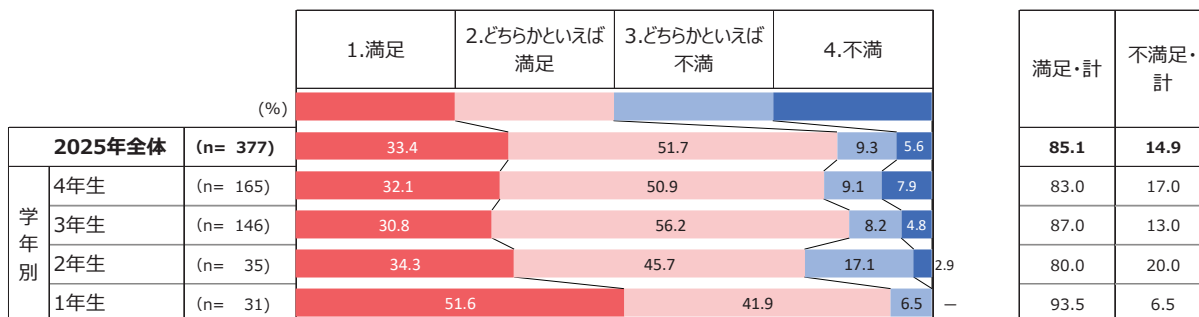
		1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満	満足・計	不満足・計
	(%)						
2025年全体	(n= 346)	31.8	52.6	9.5	6.1	84.4	15.6
時系列推移							
2024年	(n= 309)	32.0	54.0	9.7	4.2	86.0	13.9
2023年	-	31.6	54.1	10.1	4.3	85.7	14.4
2022年	-	30.3	55.7	11.1	2.9	86.0	14.0
2021年	-	27.7	58.4	10.0	3.9	86.1	13.9
2020年	-	24.1	60.3	11.0	4.6	84.4	15.6

※2023年以前はN数なし。

問3-1 【満足度】就職相談（オンラインを含む面談・添削等）

- ✓ 学年別でみると、各学年で満足度が8割以上とおしなべて高い。特に1年生でトップボックス「満足」のスコアが51.6%と特に高い。

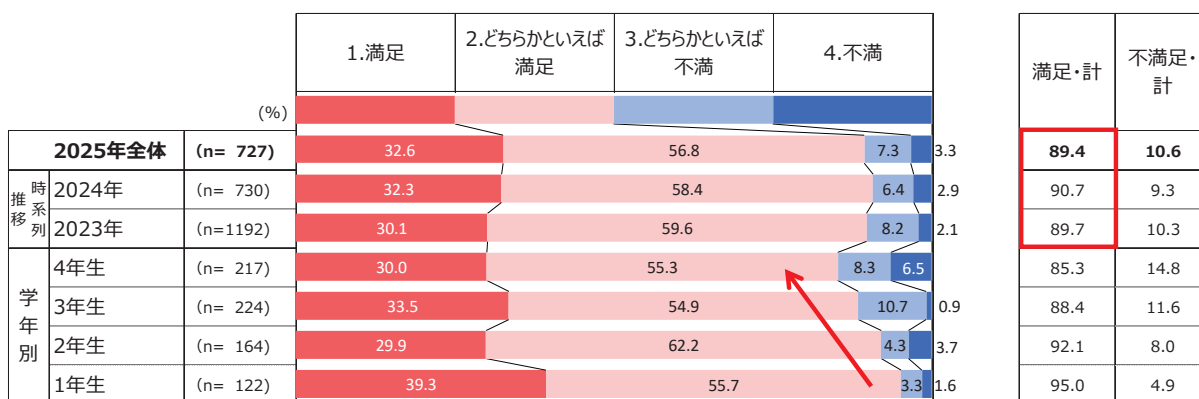
問3-1 【満足度】就職相談（オンラインを含む面談・添削等）（利用者／単一回答）



問3-2 【満足度】授業におけるキャリア教育科目

- ✓ 「授業におけるキャリア教育科目」の満足度は、89.4%と非常に高い。
- ✓ 2023年度以降、安定して高い割合を維持している。
- ✓ 学年別でみると、各学年で満足度が8割以上と、おしなべて高いが、学年が上がるにつれ「不満足」の割合が高くなる傾向にある。

問3-2 【満足度】授業におけるキャリア教育科目（社会人形成科目等の正課科目等）（利用者／単一回答）

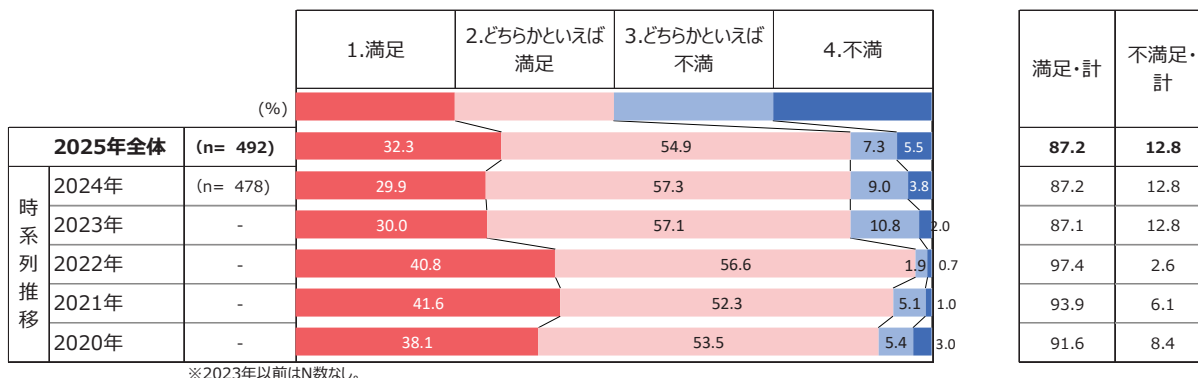


問3-3 【満足度】就職ガイダンス・情報提供・説明会等について

- ✓ 2～4年生の「就職ガイダンス・情報提供・説明会等」の満足度は、87.2%と高い。
- ✓ 2023年度以降、満足度は同レベルを維持しているものの、2022年度以前に比べ低い。

2022年度以前は2～4年生限定設問として実施していたため、
2023年度以降も経年比較は2～4年生ベースで実施

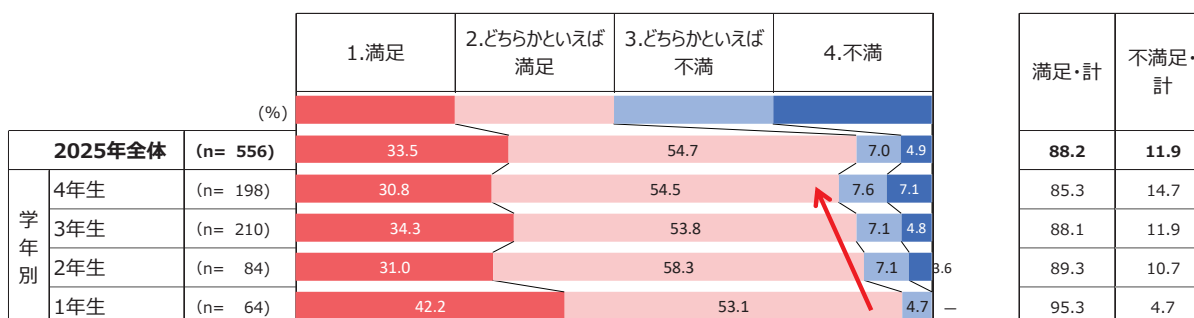
問3-3 【満足度】就職ガイダンス・情報提供・説明会等について（2年生以上利用者／単一回答）



問3-3 【満足度】就職ガイダンス・情報提供・説明会等について

- ✓ 1年生を加えた全学年合計の「就職ガイダンス・情報提供・説明会等」の満足度は、88.2%であった。
- ✓ 学年別でみると、各学年で満足度が8割以上と、おしなべて高く、特に1年生では95.3%ととっても高い。学年が上がるにつれ「不満足」の割合が高くなる傾向にある。

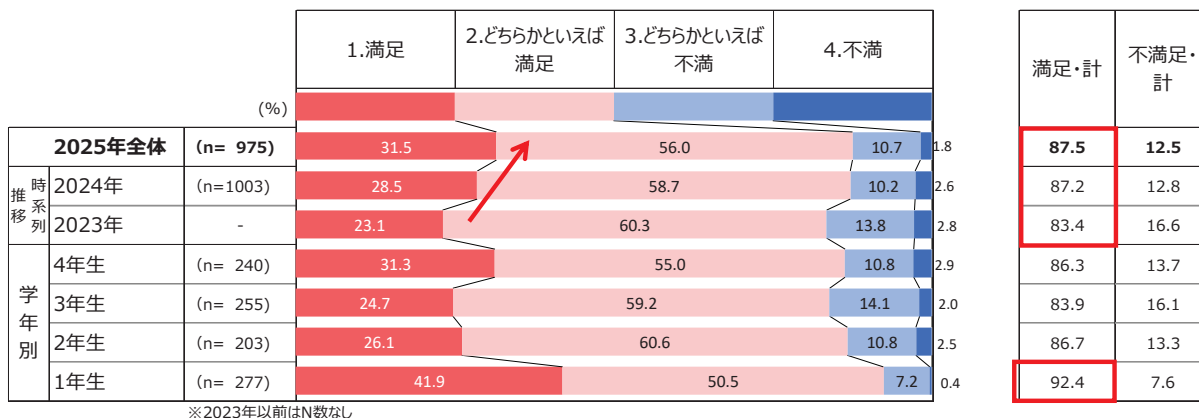
問3-3 【満足度】就職ガイダンス・情報提供・説明会等について（利用者／単一回答）



問4 本学の施設・設備等全般に関する満足度

- ✓ 問4-12は、「問4 本学の施設・設備等全般に関する満足度」の領域別総合満足度を問う設問である。「満足」と「どちらかといえば満足」をあわせた肯定的回答は87.5%であった。
- ✓ 時系列でみると、トップボックス「満足」のスコアが年々上昇し、「満足・計」の割合も微増し続けている。
- ✓ 学年別にみると1年生で満足度が92.4%と最も高い。

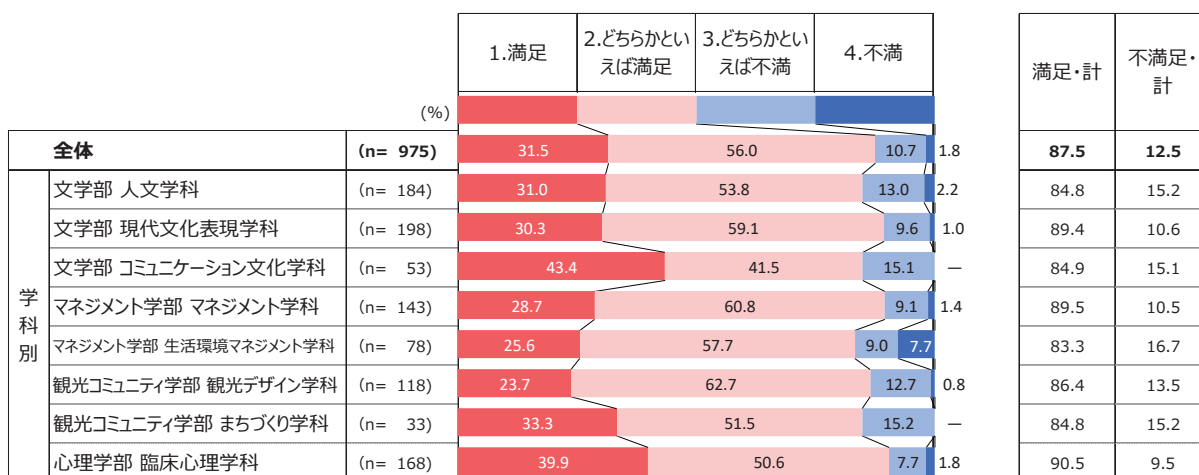
問4-12 【満足度】本学の施設や設備全般について（全体／単一回答）



問4 本学の施設・設備等全般に関する満足度

- ✓ 「本学の施設・設備等全般」に関する領域別総合満足度を学科別に比較した。
- ✓ おおむね8割以上と学科による大きな差はなく、高い満足度を示している。

問4-12 【満足度】本学の施設や設備全般について（全体／単一回答）



問4 本学の施設・設備等全般に関する満足度（個別項目の相対比較①） n=各利用者

「本学の施設・設備等に関する満足度」を分析するための11の個別項目に関する満足度を問う設問について、「利用したことがない・わからない」の回答を除いた集計結果を相対比較した。

- ✓ 満足度が高い（肯定的回答90%以上）施設・設備は「保健室」「図書館」「インタラクティブスペース」「学生会館」であった。
- ✓ 一方、「大学バス」の満足度は58.4%と低い。

問4 本学の施設・設備等全般に関する満足度（利用者／単一回答）

		1.満足	2.どちらかとい えば満足	3.どちらかとい えば不満	4.不満		満足・計	不満足・ 計
		(%)						
Q4-10. 保健室	(n= 277)	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div>61.033.64.3</div>				1.1	94.6	5.4
Q4-9. 図書館	(n= 916)	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div>56.437.35.2</div>				1.0	93.7	6.2
Q4-11. インタラクティブスペース	(n= 365)	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div>55.338.15.2</div>				1.4	93.4	6.6
Q4-8. 学生会館（新座キャンパス）	(n= 656)	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div>52.440.25.2</div>				2.1	92.6	7.3
Q4-1. 各施設の学生ラウンジ、KOMOREBI(コモレビ)等	(n= 595)	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div>44.045.57.7</div>				2.7	89.5	10.4
Q4-7. トイレ	(n= 975)	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div>53.236.37.4</div>				3.1	89.5	10.5
Q4-5. 学内Wi-Fi	(n= 966)	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div>50.335.810.03.8</div>					86.1	13.8
Q4-6. ポータル	(n= 975)	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div>32.646.914.36.3</div>					79.5	20.6
Q4-2. 学生食堂	(n= 835)	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div>37.441.115.85.7</div>					78.5	21.5
Q4-3. 生協	(n= 964)	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div>31.536.821.710.0</div>					68.3	31.7
Q4-4. 大学バス	(n= 848)	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div>23.335.125.216.3</div>					58.4	41.5
Q4-12. 本学の施設や設備全般について	(n= 975)	<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div>31.556.010.7</div>				1.8	87.5	12.5

※「満足・計」のスコアで降順ソート（Q4-12を除く）

※「満足・計」のスコアで降順ソート（Q4-12を除く）

問4 本学の施設・設備等全般に関する満足度（個別項目の相対比較②） n=全員の回答

「本学の施設・設備等に関する満足度」を分析するための11の個別項目について、全回答の集計結果を相対比較した。

- ✓ 利用率を見ると「ポータル」「トイレ」「学内Wi-Fi」「生協」「図書館」が9割以上と特に高い。
- ✓ 一方、「インタラクティブスペース」「保健室」の利用率が3割前後と低い。

問4 本学の施設・設備等全般に関する満足度（全体／単一回答）

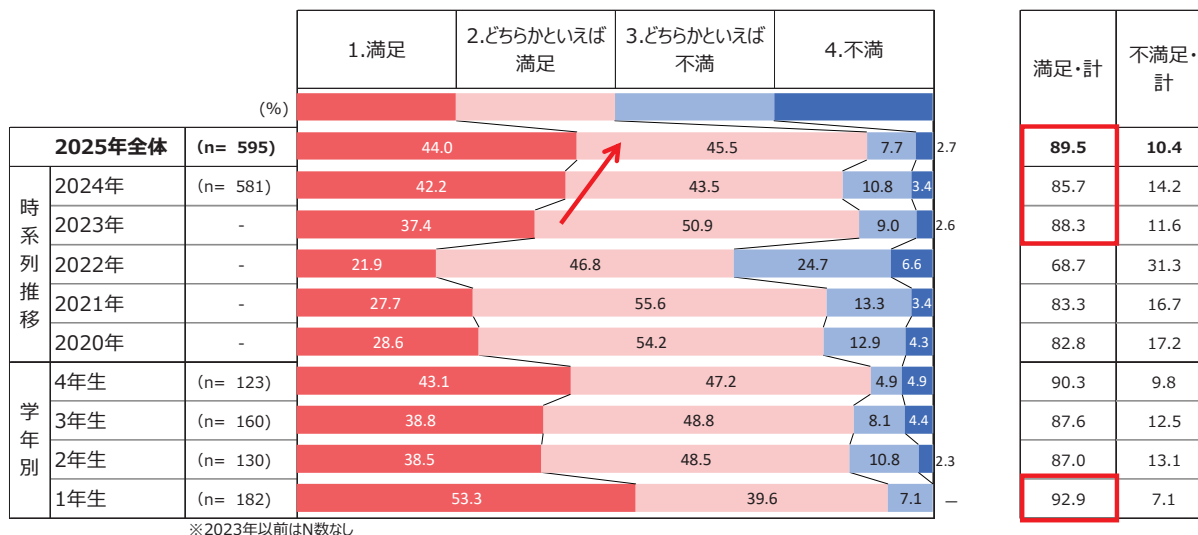
		1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満	5.利用したことがない・わからない	利用率	満足・計	不満・計
	(%)								
Q4-6. ポータル	(n= 975)	32.6	46.9	14.3	6.3	—	100.0	79.5	20.6
Q4-7. トイレ	(n= 975)	53.2	36.3	7.4	3.1	—	100.0	89.5	10.5
Q4-5. 学内Wi-Fi	(n= 975)	49.8	35.5	9.9	3.8	0.9	99.0	85.3	13.7
Q4-3. 生協	(n= 975)	31.2	36.4	21.4	9.8	1.1	98.8	67.6	31.2
Q4-9. 図書館	(n= 975)	53.0	35.1	4.9	0.9	6.1	93.9	88.1	5.8
Q4-4. 大学バス	(n= 975)	20.3	30.6	21.9	14.2	13.0	87.0	50.9	36.1
Q4-2. 学生食堂	(n= 975)	32.0	35.2	13.5	4.9	14.4	85.6	67.2	18.4
Q4-8. 学生会館（新座キャンパス）	(n= 975)	35.3	27.1	3.5	1.4	32.7	67.3	62.4	4.9
Q4-1. 各施設の学生ラウンジ、KOMOREBI(コモレビ)等	(n= 975)	26.9	27.8	4.7	1.6	39.0	61.0	54.7	6.3
Q4-11. インタラクティブスペース	(n= 975)	20.7	14.3	1.9	0.5	62.6	37.4	35.0	2.4
Q4-10. 保健室	(n= 975)	17.3	9.5	1.2	0.3	71.6	28.3	26.8	1.5
Q4-12. 本学の施設や設備全般について	(n= 975)	31.5	56.0	10.7	1.8	—	100.0	87.5	12.5

※「利用率」のスコアで降順ソート（Q4-12を除く）

問4-1 【満足度】各施設の学生ラウンジ、KOMOREBI(コモレビ)等

- ✓ 各施設の学生ラウンジの全体満足度は89.5%であった。
- ✓ 時系列でみると、2023年度以降トップボックス「満足」のスコアが年々上昇し、「満足・計」の割合も9割近くを維持している。
- ✓ 学年別でみると、1年生で満足度が92.9%と非常に高い。

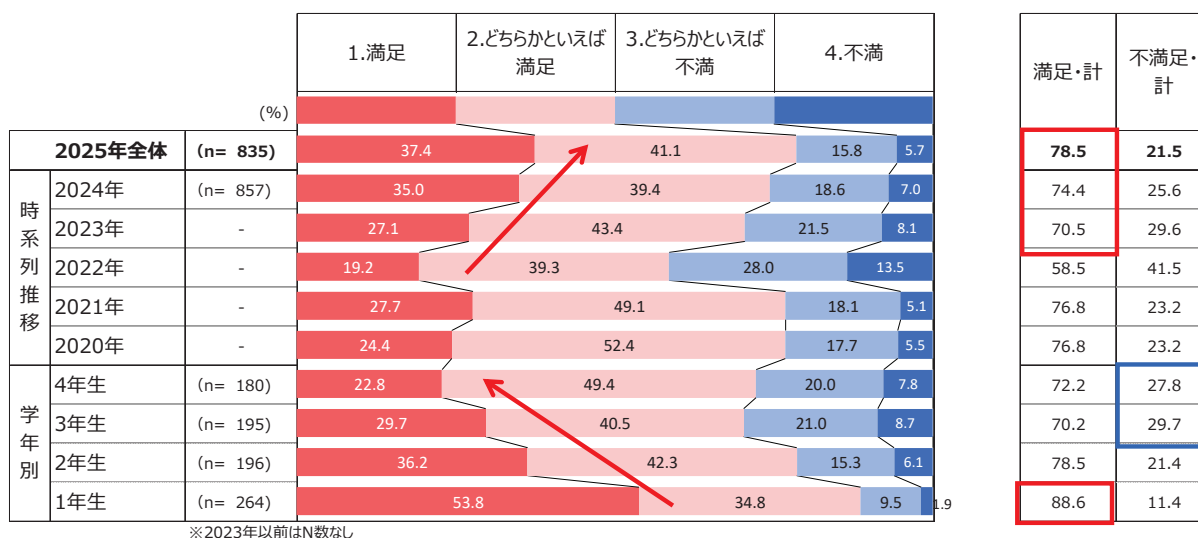
問4-1 【満足度】各施設の学生ラウンジ、KOMOREBI(コモレビ)等（利用者／単一回答）



問4-2 【満足度】学生食堂（学食）

- ✓ 学食の全体満足度は78.5%であった。
- ✓ 時系列でみると、2023年度以降スコアが年々上昇している。
- ✓ 学年別でみると、1年生で満足度が88.6%ととても高い。学年が上がるにつれ「満足」の割合が低下し不満層の割合が増える傾向にあり、3年生、4年生では3割弱が不満としている。

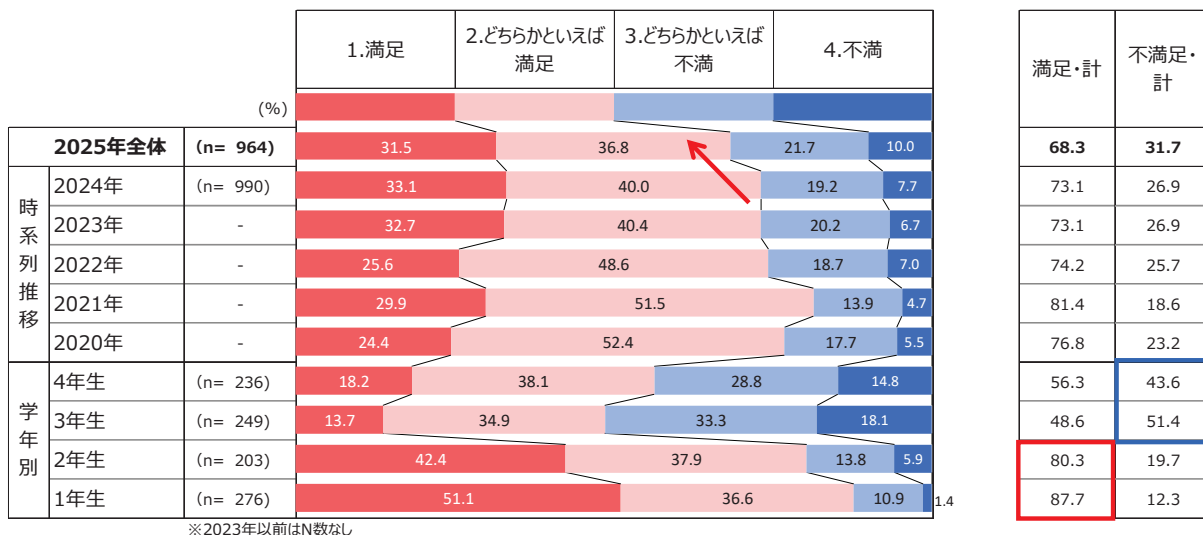
問4-2 【満足度】学生食堂（学食）（利用者／単一回答）



問4-3 【満足度】生協

- ✓ 生協の全体満足度は68.3%であった。
- ✓ 時系列でみると、2024年度から満足度が低下している。
- ✓ 学年別でみると、1年生と2年生で特に高く、3年生でもっとも低い。

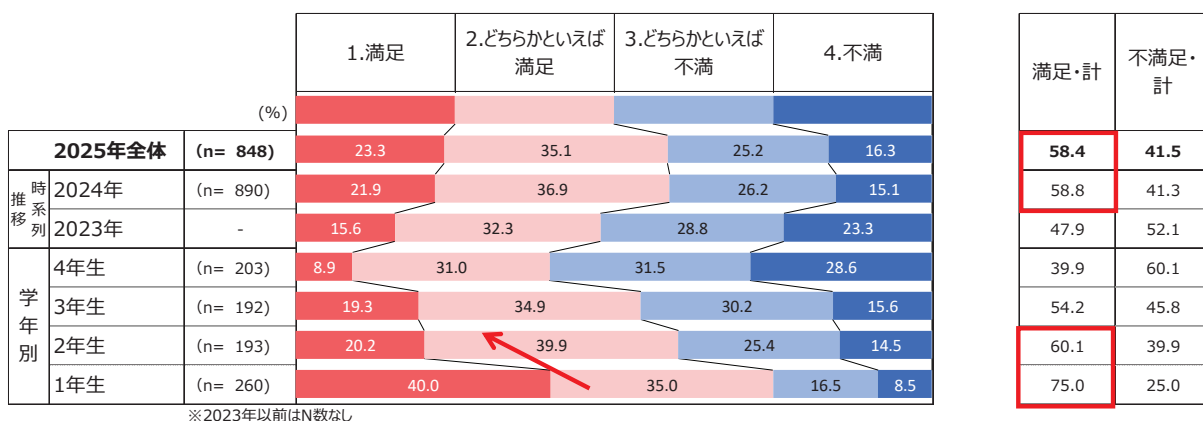
問4-3 【満足度】生協（利用者／単一回答）



問4-4 【満足度】大学バス

- ✓ 大学バスの全体満足度は58.4%であった。
- ✓ 時系列でみると、前年から10.9ptの上昇した2024年度のレベルを維持している。
- ✓ 大学バスの利用者のほとんどが前期課程生であるが、1年生の満足度が高く、2年生になると満足度が下がる。

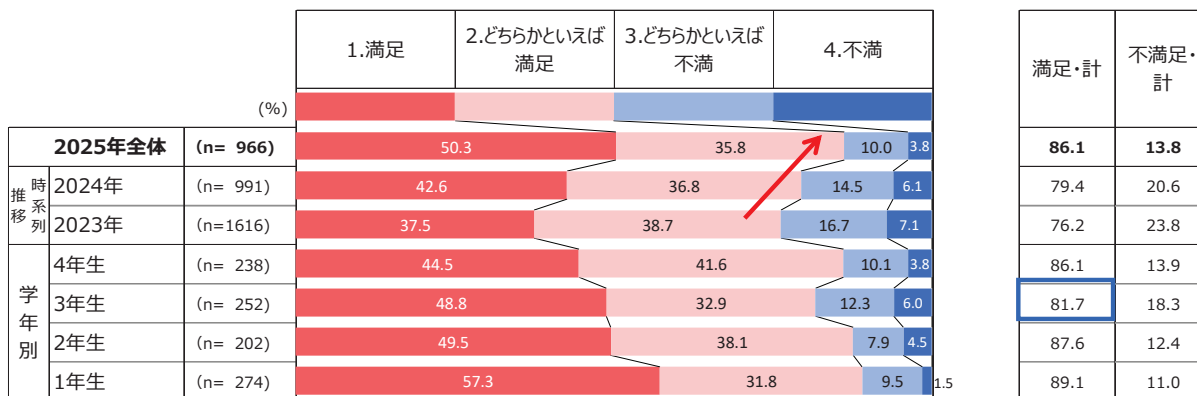
問4-4 【満足度】大学バス（西武バスなどの路線バスを除く）（利用者／単一回答）



問4-5 【満足度】学内Wi-Fi

- ✓ 学内Wi-Fiの全体満足度は86.1%であった。
- ✓ 時系列でみると、2024年度に比べ6.7ポイント上昇し、年々満足度が高まっている。
- ✓ 学年別でみると、各学年でおしなべて満足度が高いが、3年生の満足度が相対的に低い。

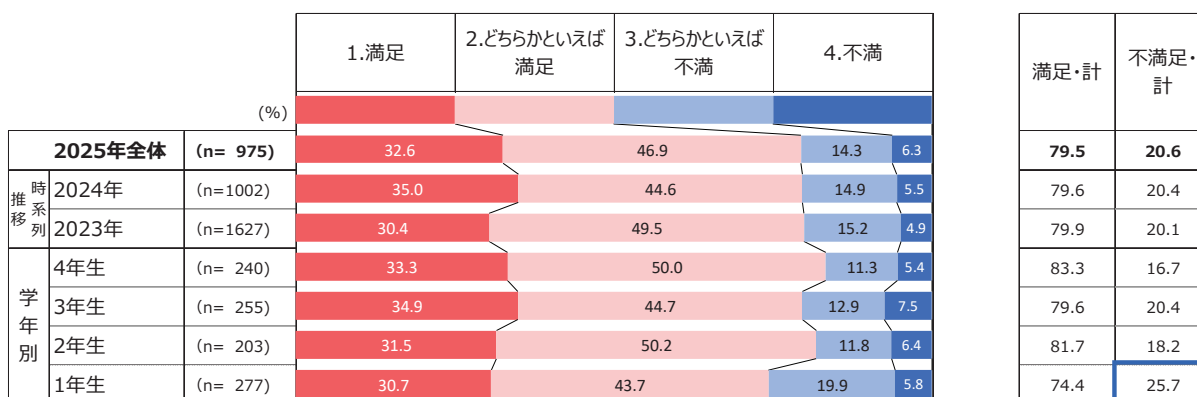
問4-5 【満足度】学内Wi-Fi（利用者／単一回答）



問4-6 【満足度】ポータル

- ✓ ポータルの全体満足度は79.5%であった。
- ✓ 時系列でみると、2023年度以降ほぼ同レベルの満足度を維持している。
- ✓ 学年別でみると、4年生でもっとも高く、1年生以外の学年では8割前後の高い満足度となっている。1年生では「不満・計」が25.7%と4人に1人の割合で不満を抱えている。

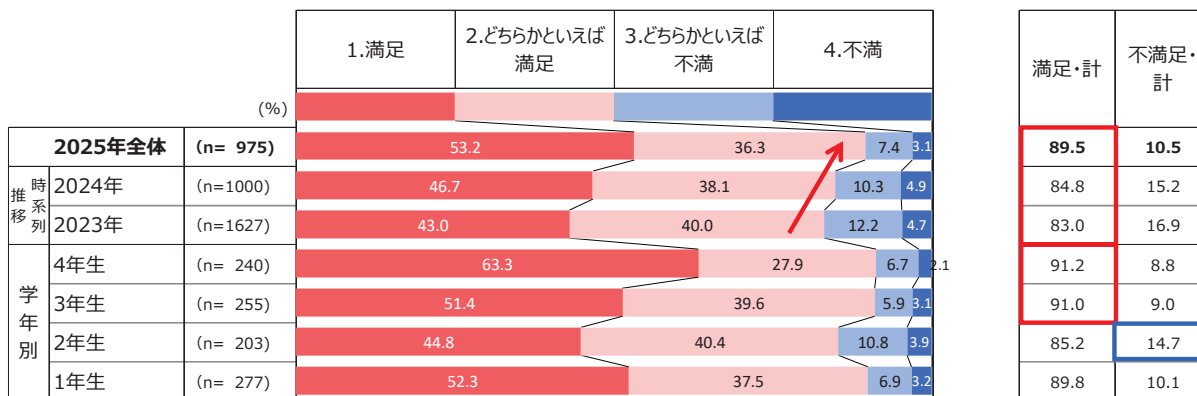
問4-6 【満足度】ポータル（利用者／単一回答）



問4-7 【満足度】トイレ

- ✓ トイレの全体満足度は89.5%であった。
- ✓ 時系列でみると、2023年度以降、満足度のスコアが年々上昇している。
- ✓ 学年別でみると、3年生と4年生で高く、2年生でやや低い。

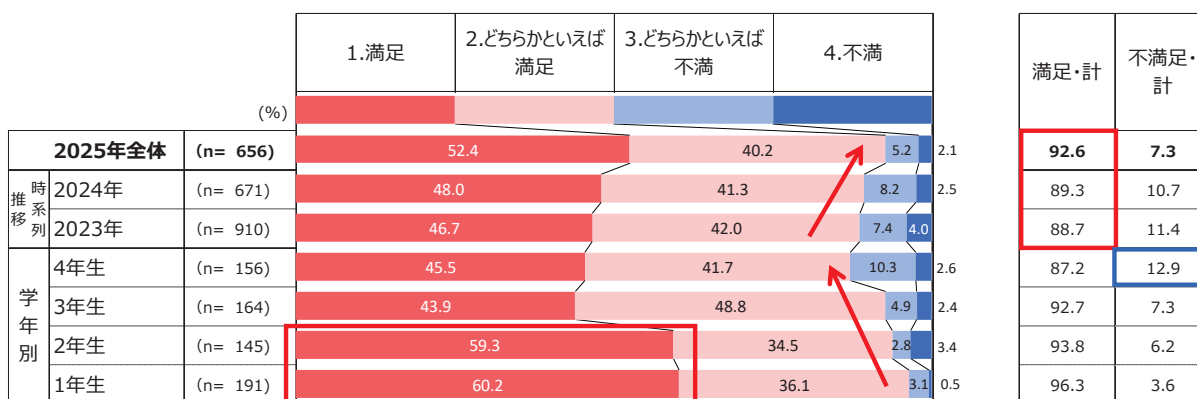
問4-7 【満足度】トイレ（利用者／単一回答）



問4-8 【満足度】学生会館（新座キャンパス）

- ✓ 学生会館の全体満足度は92.6%であった。
- ✓ 時系列でみると、2023年度以降、満足度のスコアが年々上昇している。
- ✓ 学年別でみると、1年生と2年生でトップボックス「満足」が6割と高く、学年が上がるほど満足度は低下し、4年生では「不満足・計」の割合が1割を超える。

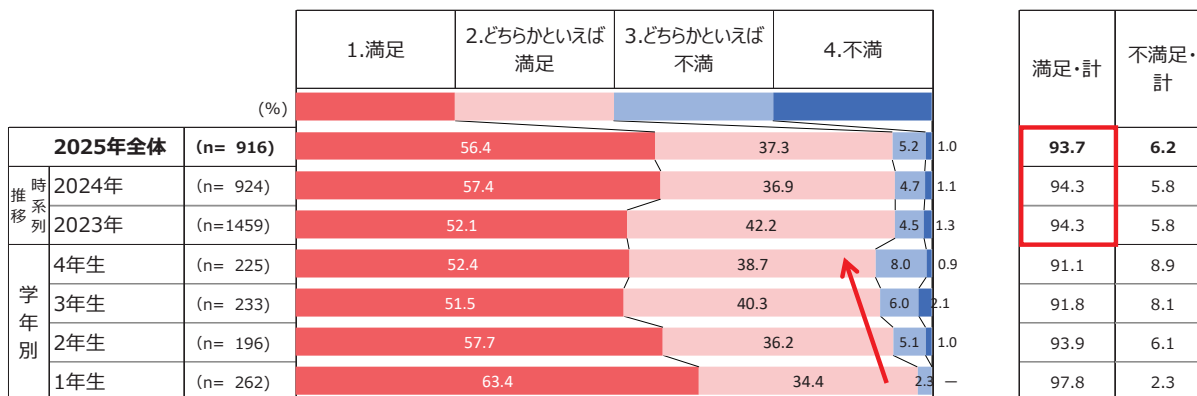
問4-8 【満足度】学生会館（新座キャンパス）（利用者／単一回答）



問4-9 【満足度】図書館

- ✓ 図書館の全体満足度は93.7%と非常に高い。
- ✓ 時系列でみると、2023年度以降ほぼ同レベルの満足度を維持している。
- ✓ 学年別でみると、各学年とも9割以上とおしなべて満足度が高いが、学年が上がるほど満足度は低下する。

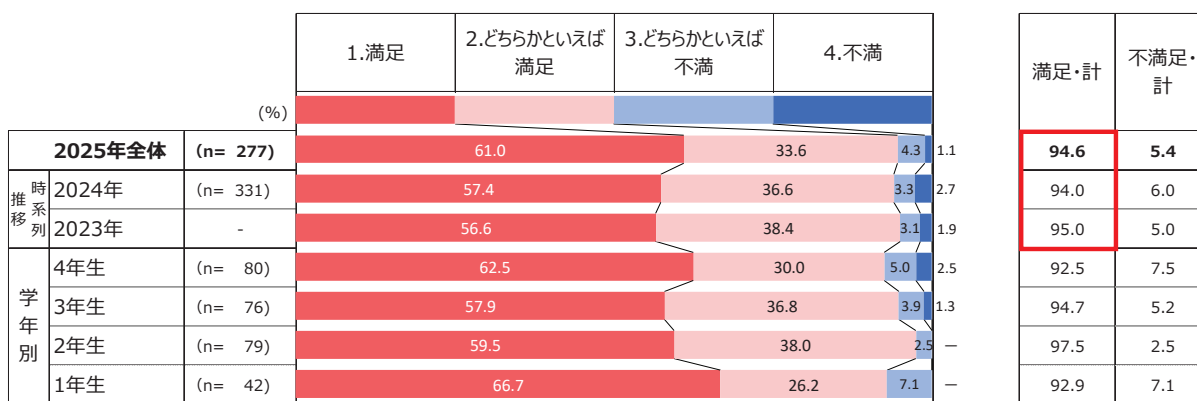
問4-9 【満足度】図書館（利用者／単一回答）



問4-10 【満足度】保健室

- ✓ 保健室の全体満足度は94.6%と高い。
- ✓ 時系列でみると、2023年度以降ほぼ同レベルの満足度を維持している。
- ✓ 学年別でみると、各学年でおしなべて満足度が高い。

問4-10 【満足度】保健室（利用者／単一回答）

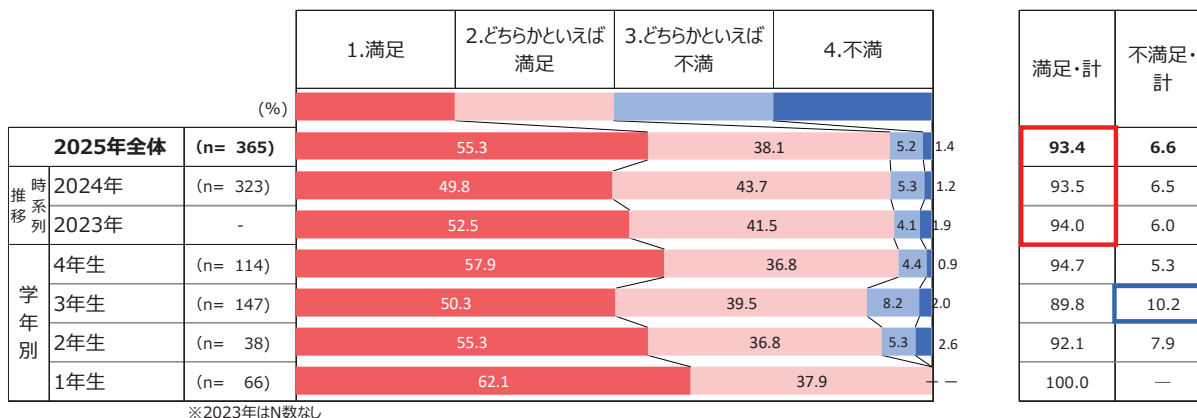


※2023年はN数なし

問4-11 【満足度】インタラクティブスペース

- ✓ インタラクティブスペースの全体満足度は93.4%と高い。
- ✓ 時系列でみると、2023年度以降ほぼ同レベルの満足度を維持している。
- ✓ 学年別でみると、各学年でおしなべて満足度が高いが、3年生で満足度が低く、「不満足・計」の割合が1割を超える。

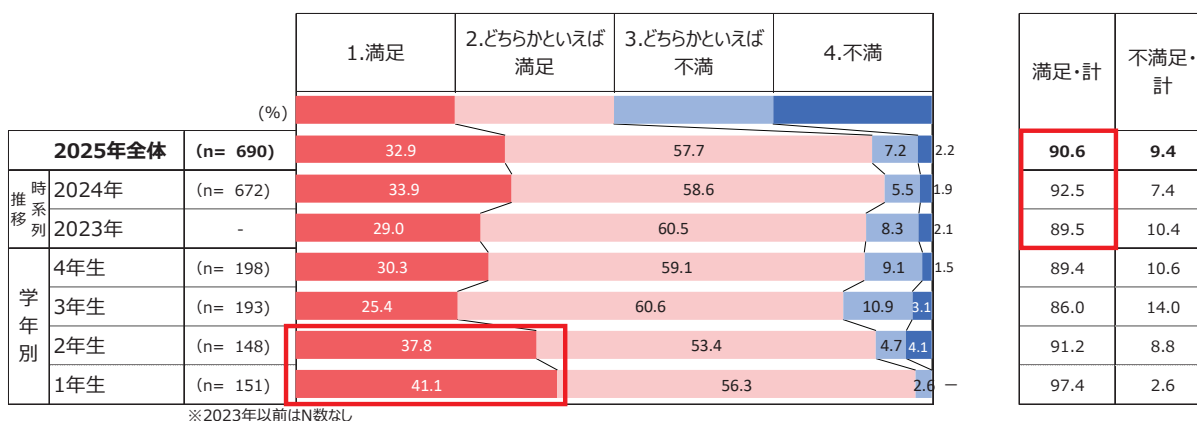
問4-11 【満足度】インタラクティブスペース（利用者／単一回答）



問5 本学の窓口や相談方法全般に関する満足度

- ✓ 問5-12は、「問4 本学の窓口や相談方法全般に関する満足度」の領域別総合満足度を問う設問である。「満足」と「どちらかといえば満足」をあわせた肯定的回答は90.6%と高い。
- ✓ 時系列でみると、2024年度よりも若干低下したが、高い満足度を維持している。
- ✓ 学年別でみると、各学年でおしなべて満足度が高い。特に1年生、2年生で「満足」が4割前後と高い。

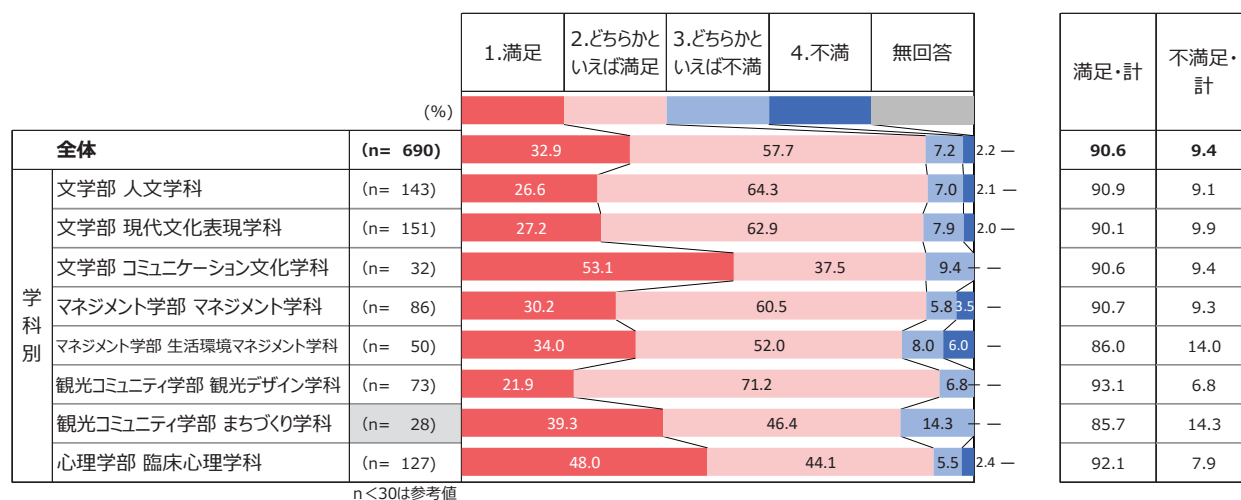
問5-12 【満足度】本学の窓口や相談方法全般（利用者／単一回答）



問5 本学の窓口や相談方法全般に関する満足度

- ✓ 「本学の窓口や相談方法全般」に関する領域別総合満足度を学科別に比較した。
- ✓ おおむね9割前後と学科による大きな差はなく、高い満足度を示している。

問5-12 【満足度】本学の窓口や相談方法全般（全体／単一回答）

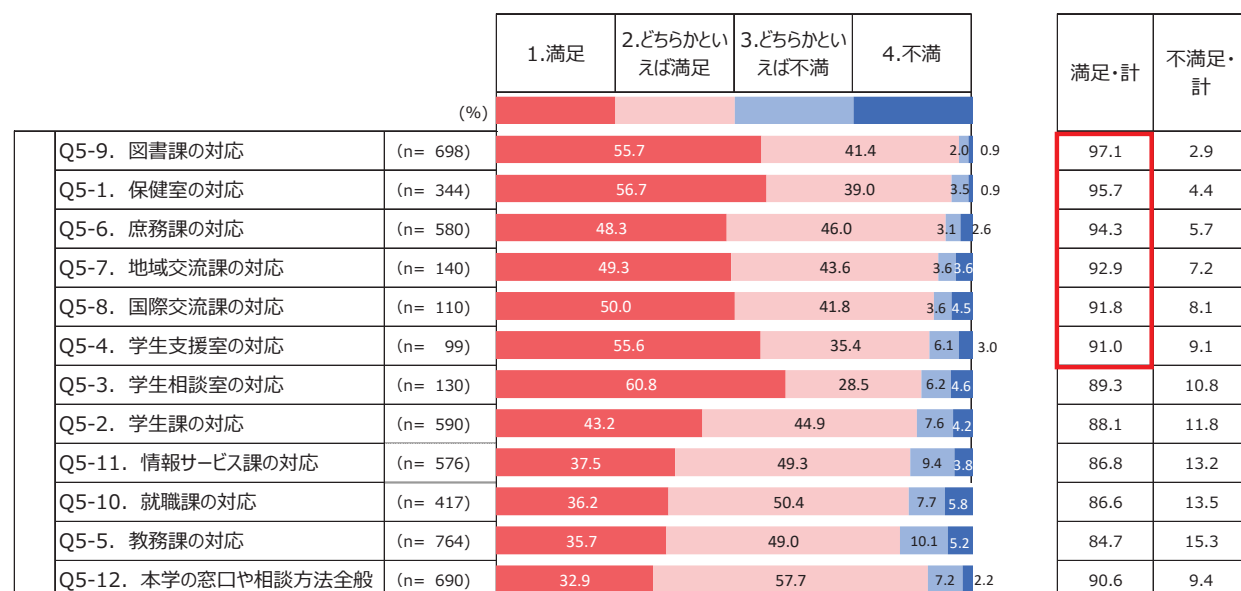


問5 本学の窓口や相談方法全般に関する満足度（個別項目の相対比較①） n=各利用者

「本学の窓口や相談方法に関する満足度」を分析するための11の個別項目について、各窓口利用者の集計結果を相対比較したものである。

- ✓ いずれの窓口も8割以上の満足度となっており、特に「図書課（図書館）」「保健室」「庶務課」「地域交流課」「国際交流課」「学生支援室」「学生相談室」の対応に対する満足度が9割以上と高い。

問5 本学の窓口や相談方法全般に関する満足度（利用者／単一回答）



※「満足・計」のスコアで降順ソート（Q5-12を除く）

問5 本学の窓口や相談方法全般に関する満足度（個別項目の相対比較②） n=「全員」

「本学の窓口や相談方法全般に関する満足度」を分析するための11の個別項目について、全体回答の集計結果を相対比較した。

- ✓ 「教務課」「図書課（図書館）」「学生課」「庶務課」「情報サービス化」の窓口や相談の利用率が特に高い。
- ✓ 一方、「学生支援室」「国際交流課」「学生相談室」「地域交流課」の窓口や相談の利用率は1割台と低い。

問5 本学の窓口や相談方法全般に関する満足度（全体／単一回答）

		1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満	5.利用したことがない・わからない	利用率	満足・計	不満足・計
	(%)								
Q5-5. 教務課の対応	(n= 975)	28.0	38.4	7.9	4.1	21.6	78.4	66.4	12.0
Q5-9. 図書課の対応	(n= 975)	39.9	29.6	1.4	0.6	28.4	71.5	69.5	2.0
Q5-2. 学生課の対応	(n= 975)	26.2	27.2	4.6	2.6	39.5	60.6	53.4	7.2
Q5-6. 庶務課の対応	(n= 975)	28.7	27.4	1.8	1.5	40.5	59.4	56.1	3.3
Q5-11. 情報サービス課の対応	(n= 975)	22.2	29.1	5.5	2.3	40.9	59.1	51.3	7.8
Q5-10. 就職課の対応	(n= 975)	15.5	21.5	3.3	2.5	57.2	42.8	37.0	5.8
Q5-1. 保健室の対応	(n= 975)	20.0	13.7	1.2	0.3	64.7	35.2	33.7	1.5
Q5-7. 地域交流課の対応	(n= 975)	7.1	6.3	0.5	0.8	85.6	14.4	13.4	1.0
Q5-3. 学生相談室の対応	(n= 975)	8.1	3.8	0.6	0.4	86.7	13.3	11.9	1.4
Q5-8. 国際交流課の対応	(n= 975)	5.6	4.7	0.5	0.6	88.7	11.2	10.3	0.9
Q5-4. 学生支援室の対応	(n= 975)	5.6	3.6	0.3	0.6	89.8	10.1	9.2	0.9
Q5-12. 本学の窓口や相談方法全般	(n= 975)	23.3	40.8	5.1	1.5	29.2	70.7	64.1	6.6

※「利用率」のスコアで降順ソート（Q5-12を除く）

問5-1 【満足度】保健室の対応

- ✓ 保健室の対応の満足度は95.7%と高評価であった。
- ✓ 時系列でみると、満足度は2020年以降継続して高い水準を維持している。
- ✓ 学年別でみると、いずれの学年も満足度は9割以上とおしなべて高い。

問5-1 【満足度】保健室の対応（応急措置・健康診断・健康相談）（利用者／単一回答）

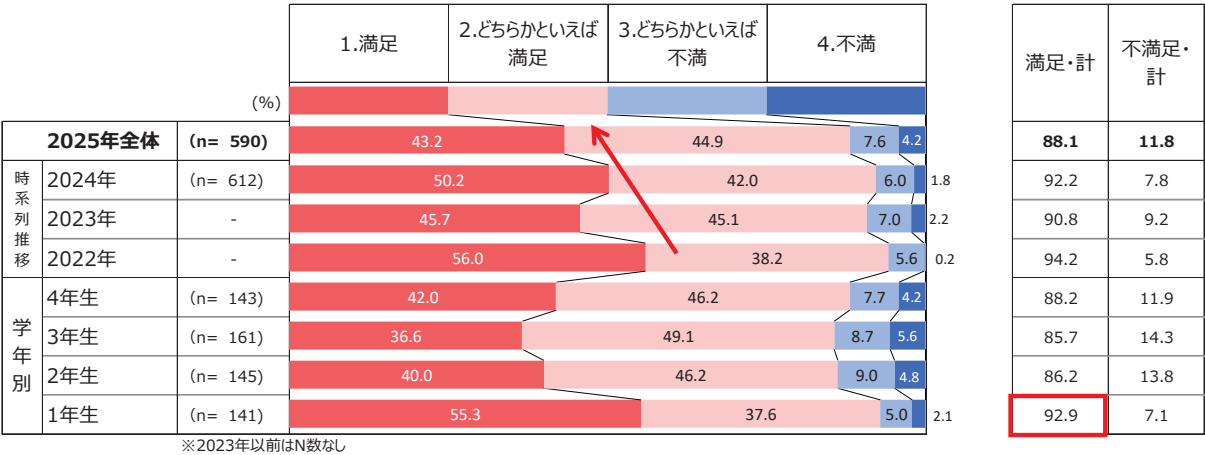
		1.満足	2.どちらかといえば満足	3.どちらかといえば不満	4.不満	満足・計	不満足・計
	(%)						
2025年全体	(n= 344)	56.7	39.0	3.5	0.9	95.7	4.4
時系列推移							
2024年	(n= 385)	55.6	39.2	3.9	1.3	94.8	5.2
2023年	-	55.2	38.9	3.6	2.3	94.1	5.9
2022年	-	70.0	26.5	2.8	0.7	96.5	3.5
2021年	-	73.9	21.0	1.5	3.7	94.9	5.2
2020年	-	69.0	26.9	2.6	1.5	95.9	4.1
学年別							
4年生	(n= 106)	59.4	36.8	2.8	0.9	96.2	3.7
3年生	(n= 93)	50.5	40.9	8.6	-	91.4	8.6
2年生	(n= 91)	61.5	35.2	1.1	2.2	96.7	3.3
1年生	(n= 54)	53.7	46.3	-	-	100.0	-

※2023年以前はN数なし

問5-2 【満足度】学生課の対応

- ✓ 学生課の対応の満足度は88.1%と高評価であった。
- ✓ 時系列で見ると、満足度は依然として高い水準を維持しているものの、2024年度からは4ポイント低下した。トップボックス「満足」の割合が2022年度の56.0%から低下傾向にある。
- ✓ 学年別で見ると、いずれの学年も満足度はおしなべて高いが、1年生の満足度がもっとも高く9割を超えている。

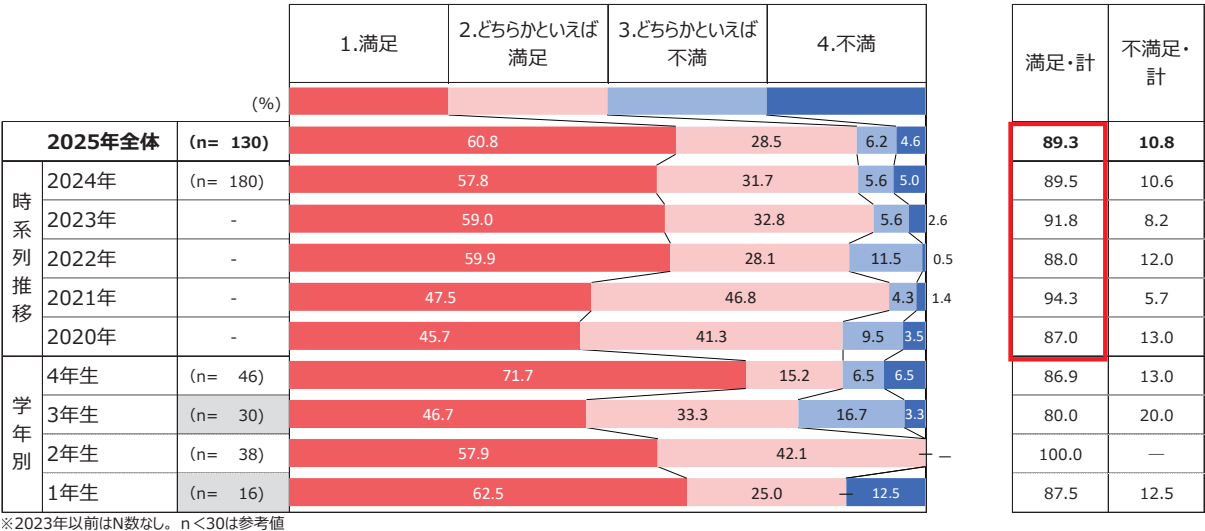
問5-2 【満足度】学生課の対応（クラブ・サークル活動、奨学金、学割、住所変更など）（利用者／単一回答）



問5-3 【満足度】学生相談室の対応

- ✓ 学生相談室の対応の満足度は89.3%と高評価であった。
- ✓ 時系列で見ると、満足度は2020年以降継続して高い水準を維持している。
- ✓ 学年別で見ると、（n数が30以上の）2年生・4年生の満足度はいずれも8割以上と高い。

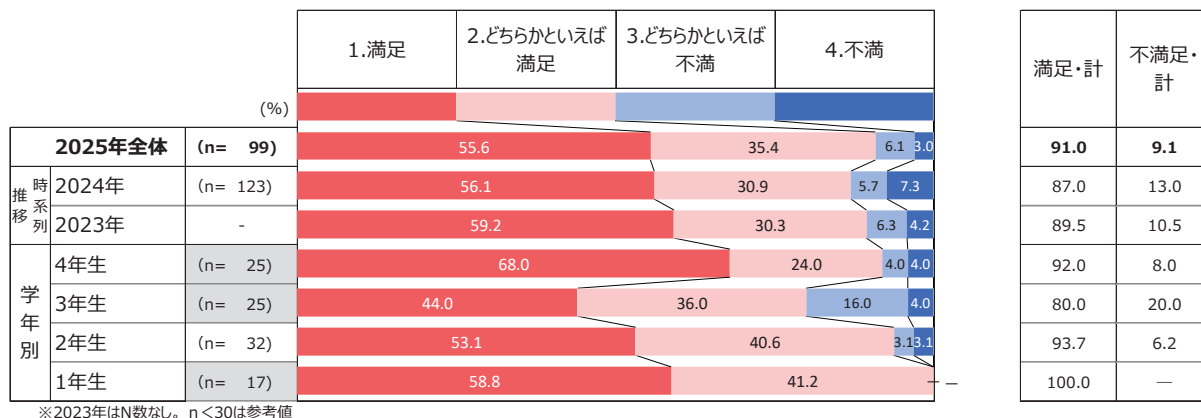
問5-3 【満足度】学生相談室の対応（カウンセリング）（利用者／単一回答）



問5-4 【満足度】学生支援室の対応

- ✓ 学生支援室の対応の満足度は91.0%と高評価であった。
- ✓ 時系列で見ると、満足度は2023年度以降ほぼ同レベルの高い満足度を維持している。
- ✓ 学年別はn数が30以上が2年生のみのため参考値。

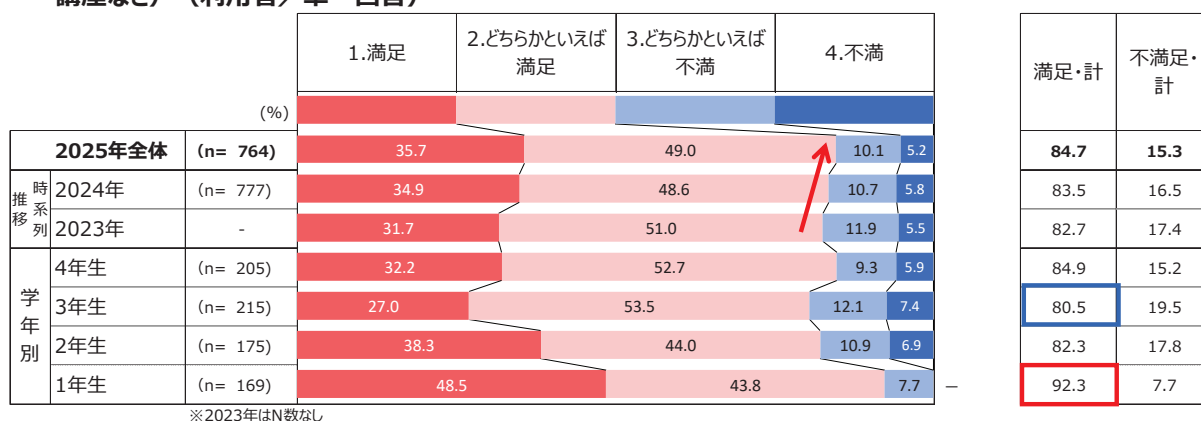
問5-4 【満足度】学生支援室の対応（要支援学生の支援）（利用者／単一回答）



問5-5 【満足度】教務課の対応

- ✓ 教務課の対応の満足度は84.7%と高評価であった。
- ✓ 時系列で見ると、満足度は毎年微増しながら、高い満足度を維持している。
- ✓ 学年別で見ると、1年生の満足度がもっとも高く9割を超えている。3年生は8割が満足としているが相対的にもっとも低い。

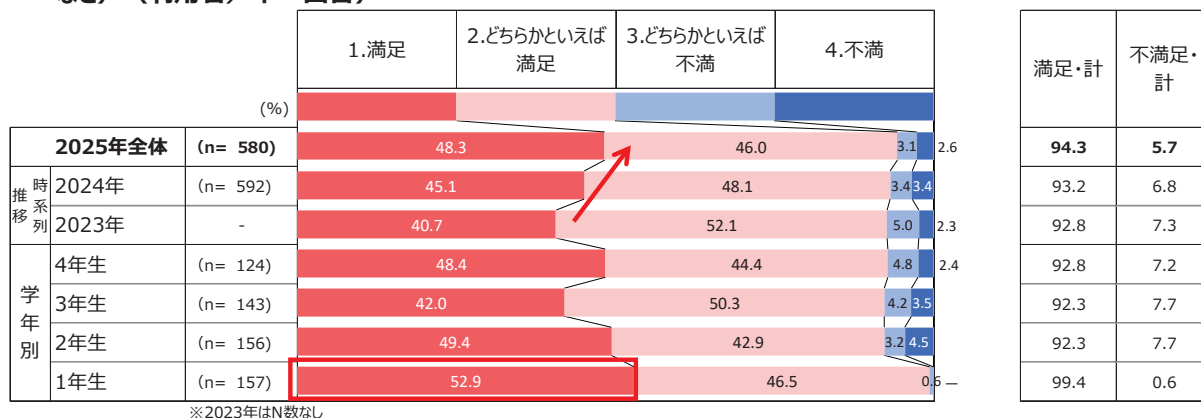
問5-5 【満足度】教務課の対応（授業時間割、休講、履修、単位修得、定期試験、資格課程、授業欠席、公開講座など）（利用者／単一回答）



問5-6 【満足度】庶務課の対応

- ✓ 庶務課の対応の満足度は94.3%と高評価であった。
- ✓ 時系列で見ると、満足度は毎年微増しながら、高い満足度を維持。トップボックスの「満足」は2023年度から7.6ポイント上昇している。
- ✓ 学年別で見ると、いずれの学年も満足度はおしなべて高く、1年生で「満足」が52.9%と特に高い。

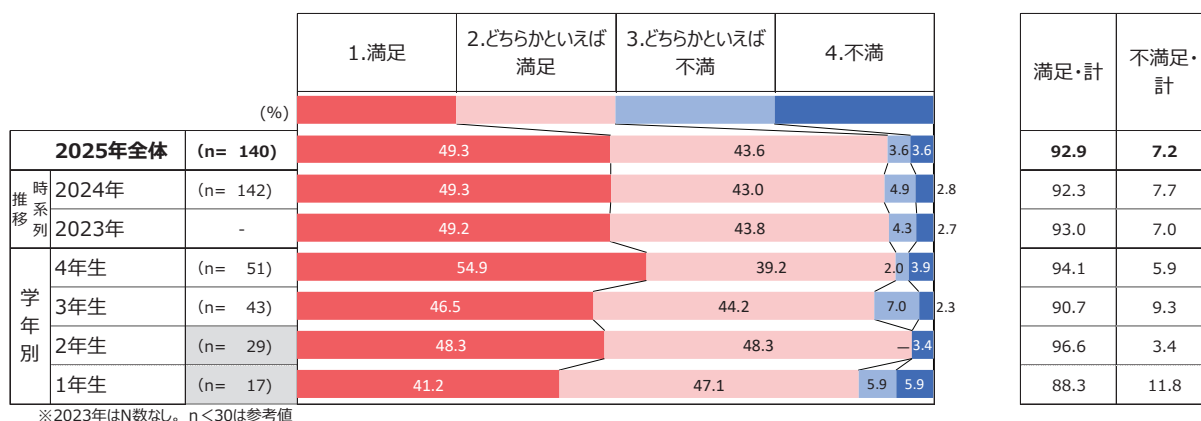
問5-6 【満足度】庶務課の対応（大学公示、大学バス、個人情報保護、施設利用、火災予防・災害防止、警備など）（利用者／単一回答）



問5-7 【満足度】地域交流課の対応

- ✓ 地域交流課の対応の満足度は92.9%と高評価であった。
- ✓ 時系列で見ると、満足度は2023年度以降、高い満足度を維持している。
- ✓ 学年別で見ると、(n数が30以上の) 3年生～4年生で満足度はいずれも9割以上と非常に高い。

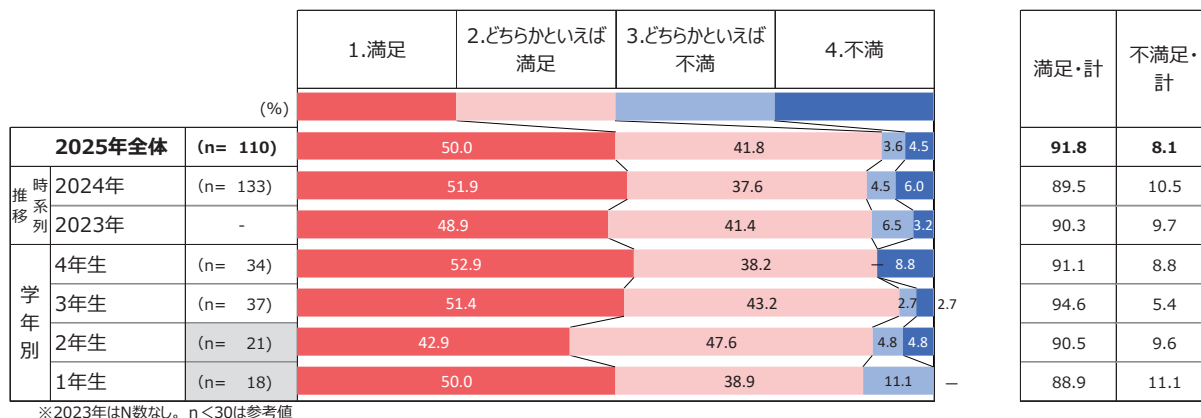
問5-7 【満足度】地域交流課の対応（地域連携に関すること）（利用者／単一回答）



問5-8 【満足度】国際交流課の対応

- ✓ 国際交流課の対応の満足度は91.8%と高評価であった。
- ✓ 時系列でみると、満足度は2023年度以降、高い満足度を維持している。
- ✓ 学年別でみると、(n数が30以上の) 3年生～4年生で満足度はいずれも9割以上と非常に高い。

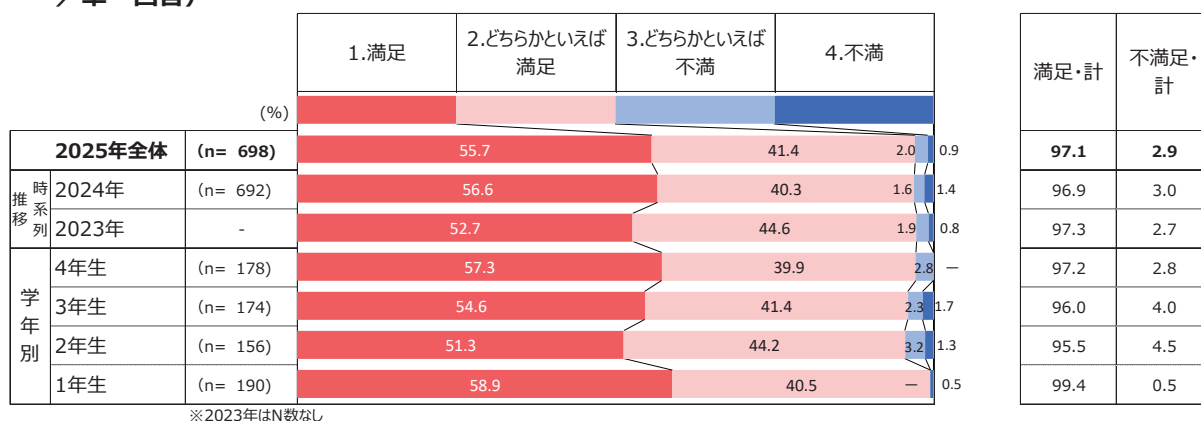
問5-8 【満足度】国際交流課の対応（留学・海外研修に関すること）（利用者／単一回答）



問5-9 【満足度】図書課の対応

- ✓ 図書課の対応の満足度は97.1%と非常に高評価であった。
- ✓ 時系列でみると、満足度は2023年度以降、高い満足度を維持している。
- ✓ 学年別でみると、いずれの学年も満足度が非常に高い。

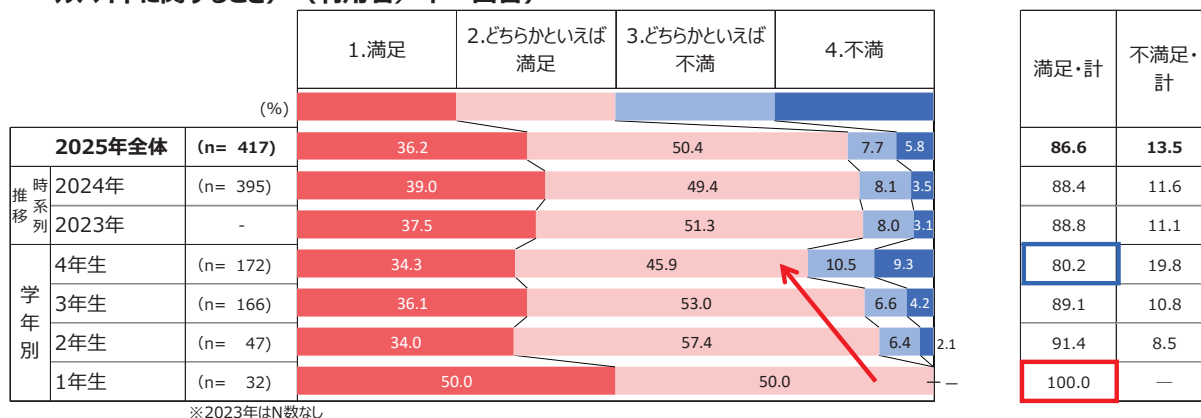
問5-9 【満足度】図書課の対応（図書館の資料・施設に関すること、レファレンスサービスに関すること）（利用者／単一回答）



問5-10 【満足度】就職課の対応

- ✓ 就職課の対応の満足度は86.6%と高評価であった。
- ✓ 時系列で見ると、満足度は2023年度以降、高い満足度を維持している。
- ✓ 学年別にみると満足度は1年生がもっとも高く、学年が上がるにつれ不満足割合が高くなる傾向にある。

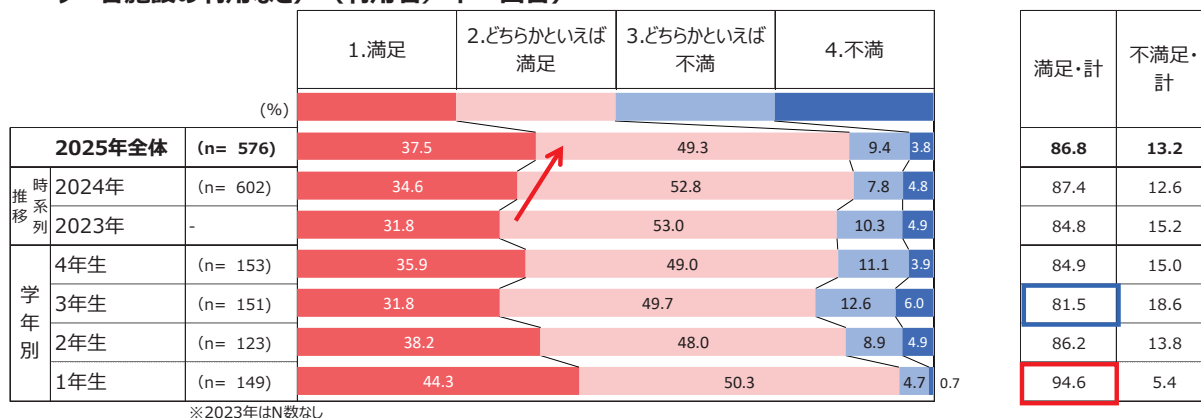
問5-10 【満足度】就職課の対応（就職・大学院進学等卒業後の進路に関すること、キャリア支援に関すること、アルバイトに関すること）（利用者／単一回答）



問5-11 【満足度】情報サービス課の対応

- ✓ 情報サービス課の対応の満足度は86.8%と高評価であった。
- ✓ 時系列で見ると、満足度は2023年度以降、高い満足度を維持している。トップボックスの「満足」は2023年度年々上昇している。
- ✓ 学年別にみると満足度は1年生がもっとも高く、3年生がもっとも低い。学年が上がるにつれ不満足割合が高くなる傾向にある。

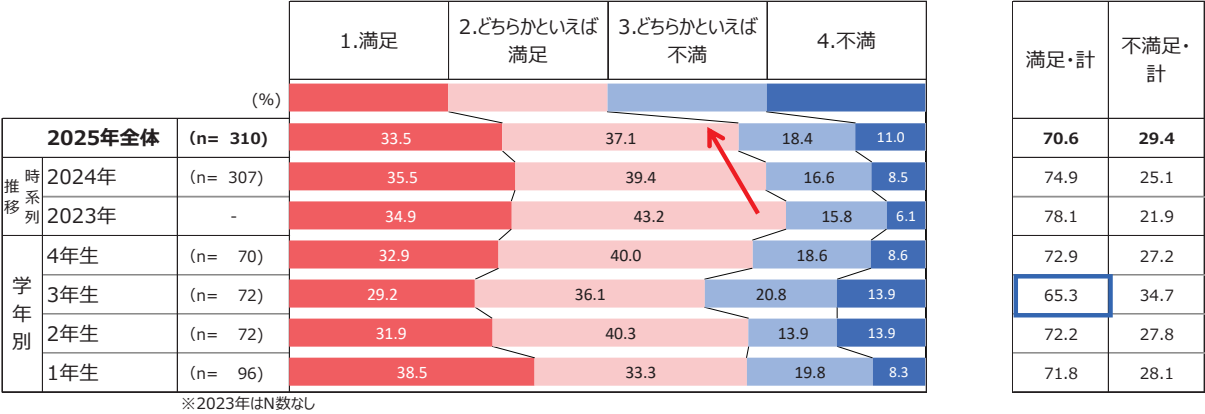
問5-11 【満足度】情報サービス課の対応（メール、ポータル、Microsoft365、学内Wi-Fi、情報メディアセンター各施設の利用など）（利用者／単一回答）



問6 クラブ・サークル、学生会活動に関する満足度

- ✓ クラブ・サークル、学生会活動の満足度は70.9%と、他項目の満足度と比べて相対的にやや低めであった。
- ✓ 時系列で見ると、満足度は年々低下し続けている。
- ✓ 学年別で見ると、いずれも満足度が7割以上である中で3年生が65%とやや低い。

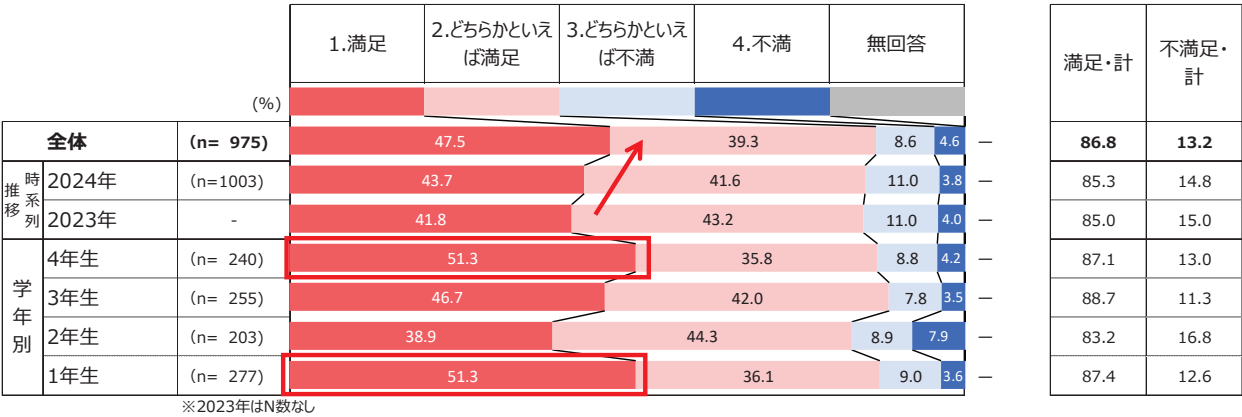
問6 クラブ、サークル、学生会活動等について、どの程度満足していますか（参加者／単一回答）



問7 学内での友人関係に関する満足度

- ✓ 学内での友人関係の満足度は86.8%と高評価であった。
- ✓ 時系列で見ると、満足度は2023年度以降、高い満足度を維持している。トップボックスの「満足」は2023年度年々上昇している。
- ✓ 学年別で見ると、いずれも8割以上である中で、1年生、4年生でトップボックスの「満足」が51.3%と特に高い。

問7 学内における友人関係について、どの程度満足していますか（全体／単一回答）



第2章

学生生活・学修行動の現状

問9 入学後に学内で遭遇したトラブル ①

- ✓ 入学後に学内で何らかのトラブルにあったと回答されたのは全体の2.7%にとどまり昨年と同程度であった。
- ✓ 学科別にみると、人文学科で7.1%と相対的に高い割合となっている。

問9 あなたは入学後に「学内」で何らかの犯罪や被害・トラブルにあったことがありますか。
(全体／単一回答)

			1.ある	2.ない	無回答
			(%)		
2025年全体			(n= 975)	2.7	97.3
前回	2024年	(n=1003)	1.5	98.5	
学 年 別	4年生	(n= 240)	4.2	95.8	
	3年生	(n= 255)	3.5	96.5	
	2年生	(n= 203)	2.5	97.5	
	1年生	(n= 277)	0.7	99.3	
学 科 別	文学部 人文学科	(n= 184)	7.1	92.9	
	文学部 現代文化表現学科	(n= 198)	0.5	99.5	
	文学部 コミュニケーション文化学科	(n= 53)	1.9	98.1	
	マネジメント学部 マネジメント学科	(n= 143)	2.8	97.2	
	マネジメント学部 生活環境マネジメント学科	(n= 78)	1.3	98.7	
	観光コミュニティ学部 観光デザイン学科	(n= 118)	1.7	98.3	
	観光コミュニティ学部 まちづくり学科	(n= 33)	3.0	97.0	
	心理学部 臨床心理学科	(n= 168)	1.8	98.2	

問9 入学後に学内で遭遇したトラブル ②

- ✓ 遭遇したトラブルの内訳では、「ハラスメント、ストーカーなどの被害」が1.3%と最も多い。
- ✓ その他の被害・トラブルでは、SNSでの暴言など交友関係上のトラブル、学内の風紀の乱れなどがみられた。

▶「その他」の被害・トラブル

- ・SNS
- ・サークル内でのlineでの暴言
- ・ゼミの先生の発言が怖い
- ・トイレの個室で湯切りをしている者がいる。知らずに個室に入った際汚れていて不快だったため厳罰化を求める。
- ・授業内の不適切な発言
- ・新座キャンパスのKOMOREBIで、たまに6～7人の集団でその場にいられないほど騒いでいる人達がいいます。せっかくの休憩スペースですし、新座キャンパスにはソファのある休憩所がそこかないので困ります。
- ・知らない学生から自分の服を見て悪口を言われたことがある。
- ・部員の無責任な行動について話したら相手側が被害妄想を膨らませてしまい周囲にご迷惑をおかけしてしまつた。
- ・新座キャンパスの教務課の人間は基本的に「申し訳ございません」が素直に言える人が少なくて残念。私が当たった教務課の人間全員そうだった。誰かは覚えてないが改善するべき。
- ・先生に住所を教えてしまった
- ・先生の対応が荒々しく、学校に行くのが少し怖くなった。

		学内トラブル						
		マルチ商法、悪徳販売、高額セミナーによる被害	宗教勧誘の被害	ハラスメント、ストーカーなどの被害	盗難、恐喝	けんかなどの暴行	その他	
全体	(975)	0.1	0.1	1.3	0.7	0.0	1.2	
4年生	(240)	0.4	0.4	2.9	1.7	0.0	0.4	
3年生	(255)	0.0	0.0	1.2	0.4	0.0	2.0	
2年生	(203)	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	2.0	
1年生	(277)	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.7	

(%)

問9 入学後に学内で遭遇したトラブル ③

- ✓ 遭遇したトラブルの内訳を学科別にみたところ、人文学科で遭遇率がやや高い。
(「ハラスメント、ストーカーなどの被害」3.3%＝6名、「その他」3.8%＝7名)

		学内トラブル					
		マルチ商法、 悪徳販売、 高額セミナー による被害	宗教勧誘の 被害	ハラスメント、 ストーカーなど の被害	盗難、恐喝	けんかなどの 暴行	その他
全体	(975)	0.1	0.1	1.3	0.7	0.0	1.2
文学部 人文学科	(184)	0.5	0.5	3.3	1.6	0.0	3.8
文学部 現代文化表現学科	(198)	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
文学部 コミュニケーション文化学科	(53)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
マネジメント学部 マネジメント学科	(143)	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.7
マネジメント学部 生活環境マネジメント学科	(78)	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0
観光コミュニティ学部 観光デザイン学科	(118)	0.0	0.0	1.7	0.8	0.0	0.8
観光コミュニティ学部 まちづくり学科	(33)	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0
心理学部 臨床心理学科	(168)	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	1.2

(%)

問9 入学後に学内で遭遇したトラブル ④

- ✓ 2022年～2024年と3年連続で0%であった「マルチ商法、悪徳販売、高額セミナーによる被害」が2025年度に1件発生している。
- ✓ 2021年～2023年と3年連続で0%であった「宗教勧誘の被害」が、2024年に続き2025年にも1件回答がある（ただし4年生の回答のため、昨年と同じ回答者の可能性もある）。
- ✓ 「ハラスメント・ストーカーなどの被害」や「盗難・恐喝」の被害が昨年と比較すると増加傾向にある。

		学内トラブル					
		マルチ商法、 悪徳販売、 高額セミナー による被害	宗教勧誘の 被害	ハラスメント、 ストーカーなど の被害	盗難、恐喝	けんかなどの 暴行	その他
2025年	(975)	0.1	0.1	1.3	0.7	0.0	1.2
2024年	(1,003)	0.0	0.1	1.2	0.6	0.2	1.5
2023年	-	0.0	0.0	0.6	0.3	0.1	0.4
2022年	-	0.0	0.0	0.5	0.0	0.1	0.9
2021年	-	0.1	0.0	0.3	0.1	0.1	1.1
2020年	-	0.1	0.2	0.7	0.2	0.0	1.5

※2023年以前はN数なし (%)

問10 入学後に学外で遭遇したトラブル ①

- ✓ 学外のトラブルの遭遇率は7.8%と、学内と比べると被害・トラブルに遭遇する確率は高い。2024年度と同程度の遭遇率である。
- ✓ 学科別にみると、まちづくり学科、人文学科で相対的に高い割合となっている。

問10 あなたは入学後に「学外」で何らかの犯罪や被害・トラブルにあったことがありますか。
(全体／単一回答)

		1.ある	2.ない	無回答
		7.8		
		92.2		
		7.8		
2025年全体	(n= 975)	7.8	92.2	
前回 2024年	(n=1003)	8.5	91.5	
学 年 別	4年生	12.9	87.1	
	3年生	7.1	92.9	
	2年生	9.9	90.1	
	1年生	2.5	97.5	
学 科 別	文学部 人文学科	13.0	87.0	
	文学部 現代文化表現学科	6.1	93.9	
	文学部 コミュニケーション文化学科	9.4	90.6	
	マネジメント学部 マネジメント学科	7.0	93.0	
	マネジメント学部 生活環境マネジメント学科	3.8	96.2	
	観光コミュニティ学部 観光デザイン学科	1.7	98.3	
	観光コミュニティ学部 まちづくり学科	15.2	84.8	
	心理学部 臨床心理学科	8.9	91.1	

問10 入学後に学外で遭遇したトラブル ②

- ✓ 在学期間が長いため、4年生のトラブル遭遇率が高く、特に「ハラスメント、ストーカーなどの被害」が8.3%と高い。
- ✓ その他の内容では「痴漢」や盗撮など性的な被害が多い。

		学外トラブル									
		マルチ商法、 悪徳販売、 高額セミナー による被害	宗教勧誘の 被害	ハラスメント、 ストーカーなど の被害	盗難、恐喝	けんかなどの 暴行	急性 アルコール 中毒	交通事故	アルバイト先 での賃金未 払いや不当 解雇の被害	その他	
全体	(975)	<div><div></div><div>0.3</div></div>	<div><div></div><div>1.5</div></div>	<div><div></div><div>3.7</div></div>	<div><div></div><div>0.7</div></div>	<div><div></div><div>0.1</div></div>	<div><div></div><div>0.1</div></div>	<div><div></div><div>0.6</div></div>	<div><div></div><div>1.1</div></div>	<div><div></div><div>1.5</div></div>	
4年生	(240)	<div><div></div><div>0.8</div></div>	<div><div></div><div>2.1</div></div>	<div><div></div><div>8.3</div></div>	<div><div></div><div>0.4</div></div>	<div><div></div><div>0.4</div></div>	<div><div></div><div>0.4</div></div>	<div><div></div><div>0.8</div></div>	<div><div></div><div>1.7</div></div>	<div><div></div><div>2.1</div></div>	
3年生	(255)	<div><div></div><div>0.0</div></div>	<div><div></div><div>1.2</div></div>	<div><div></div><div>4.3</div></div>	<div><div></div><div>0.0</div></div>	<div><div></div><div>0.0</div></div>	<div><div></div><div>0.0</div></div>	<div><div></div><div>0.8</div></div>	<div><div></div><div>1.6</div></div>	<div><div></div><div>2.0</div></div>	
2年生	(203)	<div><div></div><div>0.5</div></div>	<div><div></div><div>1.5</div></div>	<div><div></div><div>2.5</div></div>	<div><div></div><div>1.5</div></div>	<div><div></div><div>0.0</div></div>	<div><div></div><div>0.0</div></div>	<div><div></div><div>1.0</div></div>	<div><div></div><div>1.0</div></div>	<div><div></div><div>2.5</div></div>	
1年生	(277)	<div><div></div><div>0.0</div></div>	<div><div></div><div>1.4</div></div>	<div><div></div><div>0.0</div></div>	<div><div></div><div>1.1</div></div>	<div><div></div><div>0.0</div></div>	<div><div></div><div>0.0</div></div>	<div><div></div><div>0.0</div></div>	<div><div></div><div>0.4</div></div>	<div><div></div><div>0.0</div></div>	
										(%)	

▶「その他」の被害・トラブル

- ・痴漢（計6件） ※具体的には「埼京線内での痴漢」「電車に乗っているときに痴漢の被害にあいました」など
- ・電車に乗っていて知らない女子2人組に笑われた。
- ・私自身ではないが、親がインターフォン越しに、宗教関連のビラポストに入れていい？って3回くらいしつこく聞かれてた。
- ・いきなり、真後ろからバイクのクラクションを鳴らされたうえに一方的に暴言を吐かれた。
- ・ピンポンダッシュ 敷地内への不法侵入
- ・飲食のアルバイトで、シフトで何時までと決まっていたのに、天候やお客さんが少ないから早めに上がってもらってもいい？（30－1時間ぐらい）というのがしょっちゅうあった。また、店長が私に対して言葉が悪く、メンタルが来てしまったのでやめました。
- ・見知らぬ人からの暴行
- ・1年生の春学期にJR武蔵野線北朝霞駅～新座駅間にてスカートの中を盗撮されて、警察に対応していただいたことがありました。
- ・被害というほどでもないが、就活エージェントから電話がかかってくる
- ・寮での騒音などの問題行為

問10 入学後に学外で遭遇したトラブル ③

✓ 直近の学外で遭遇したトラブルの推移は、「ハラスメント・ストーカーなどの被害」が5年連続で増加傾向にある。

		学外トラブル									
		マルチ商法、 悪徳販売、 高額セミナー による被害	宗教勧誘の 被害	ハラスメント、 ストーカーなど の被害	盗難、恐喝	けんかなどの 暴行	急性 アルコール 中毒	交通事故	アルバイト先 での賃金未 払いや不当 解雇の被害	その他	
2025年	(975)	0.3	1.5	3.7	0.7	0.1	0.1	0.6	1.1	1.5	
2024年	(1,003)	0.7	2.4	3.6	0.7	0.3	0.4	0.4	1.2	1.8	
2023年	-	1.0	1.5	2.9	0.7	0.3	0.2	0.9	0.6	0.9	
2022年	-	0.6	0.8	2.2	0.1	0.0	0.3	0.5	0.5	1.4	
2021年	-	0.7	0.4	1.7	0.2	0.2	0.1	0.5	0.2	1.1	
2020年	-	0.6	1.1	2.6	0.4	0.0	0.2	0.8	0.4	1.4	

(%)

【参考資料】 学生一人当たりの1週間の大学の授業の平均時間

- ✓ 2025年度春学期の履修登録データを基に、学年ごとの授業時間数を算出した。
- ✓ 集中講義は算出対象としているが、補講、時間外講義は算出対象外としている。
- ✓ 学生一人当たりの1週間の大学の授業の平均時間を全体でみると、「20～30時間未満」が51.2%でもっとも高かった。
- ✓ 学年別でみると、1年生と3年生で「20～30時間未満」が顕著に高い。
- ✓ 2024年度と比較してほとんど変化はない。

		学生一人当たりの1週間の大学の授業の平均時間						
		なし (1時間未満)	1～5時間 未満	5～10時間 未満	10～15時間 未満	15～20時間 未満	20～30時間 未満	30時間 以上
	全体	1.3	0.4	0.5	9.0	36.8	51.2	0.8
	4年生	2.4	0.7	3.6	36.8	47.1	9.4	0.0
	3年生	0.0	0.0	0.0	0.6	29.4	69.7	0.3
	2年生	2.4	0.5	1.1	7.8	49.4	37.5	1.3
	1年生	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	97.6	1.1
前回	2024年全体	1.3	0.1	1.0	12.6	33.3	50.8	1.0

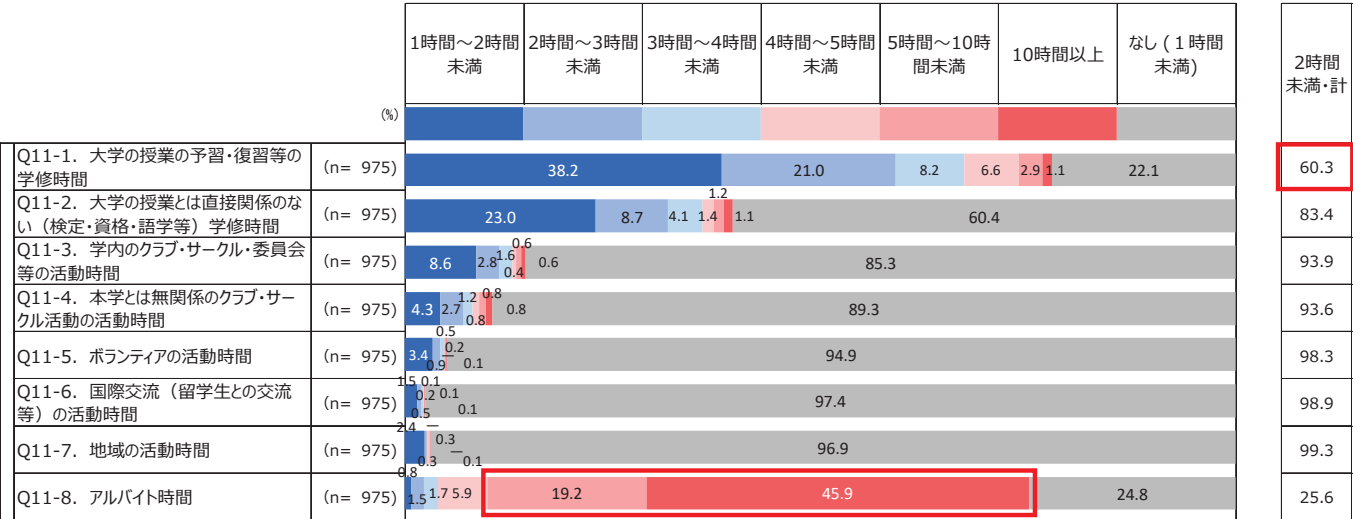
(%)

問11 1週間あたりの学修行動時間（個別項目の相対比較）

「1週間あたりの学修行動」を分析するための8項目について、全体回答の集計結果を相対比較した。

- ✓ 活動時間の長いアルバイト時間では、1週間あたり10時間以上従事している割合が45.9%ともっとも多く、5～10時間未満でも19.2%である。
- ✓ 大学の授業の予習・復習等の学修時間は1週間あたり2時間未満の学生が6割を占める。
- ✓ ボランティア、国際交流、地域の活動の1週間あたりの活動時間は、95%以上の学生が「活動時間なし～1時間未満」で活動者が少ない。

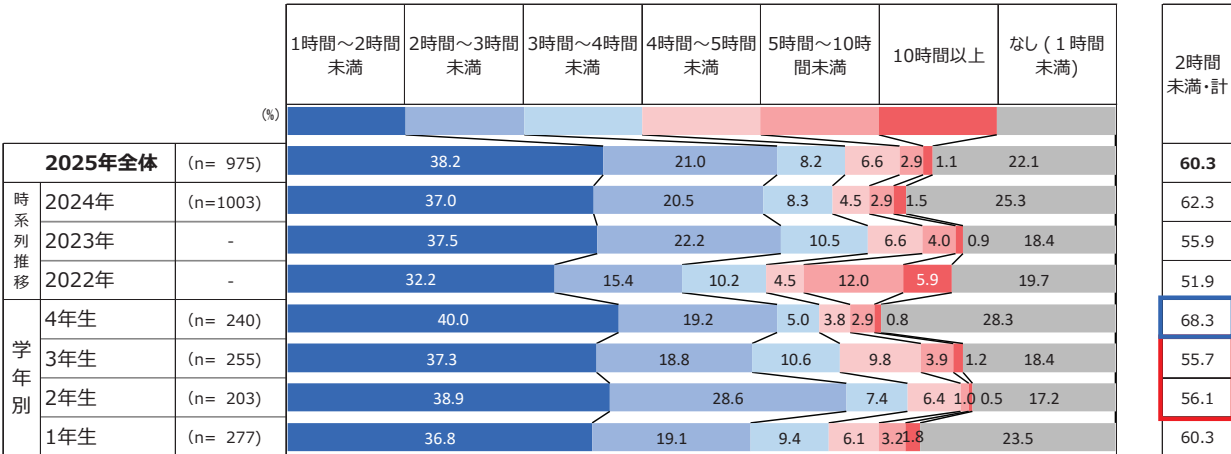
問11 1週間あたりの学修行動時間（全体／単一回答）



問11-1 【1週間あたりの活動時間】大学の授業の予習・復習等の学修

- ✓ 大学の授業の予習・復習にかかる学修時間をみると、もっとも多いのは「1時間～2時間未満」の38.2%であった。
- ✓ 時系列の推移からは、「2時間未満・計」の割合は60.3%で2024年度と比べて2pt減り、2024年度まで毎年減少傾向にあった学修時間が、2025年度は若干増加した。
- ✓ 学年別でみると、2～3年生は学年による差はあまりないが、他の学年に比べて4年生がやや短い。

問11-1 【活動時間】大学の授業の予習・復習等の1週間あたりの学修時間（全体／単一回答）

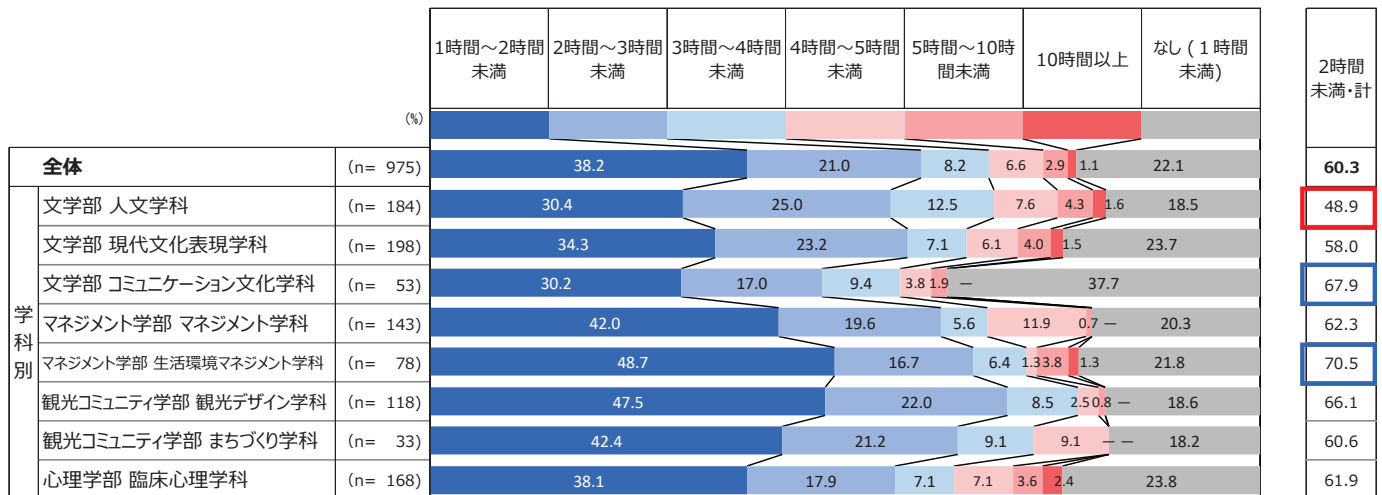


※2023年以前はN数なし

問11-1 【1週間あたりの活動時間】大学の授業の予習・復習等の学修

- ✓ 大学の授業の予習・復習にかかる学修時間について、費やす時間が短い目安「2時間未満・計」の割合で学科別に比較すると、おおむね6割前後の学科が多い。
- ✓ 学修時間がもっとも長い学科は人文学科、短い学科は生活環境マネジメント学科、コミュニケーション文化学科であった。

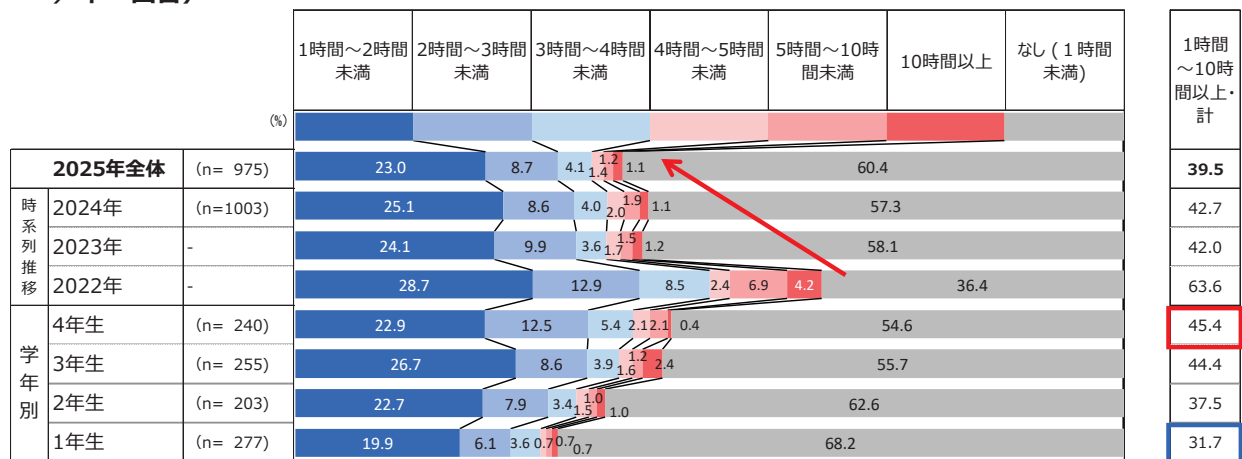
問11-1 【活動時間】大学の授業の予習・復習等の1週間あたりの学修時間（全体／単一回答）



問11-2 【1週間あたりの活動時間】大学の授業とは直接関係のない学修

- ✓ 大学の授業とは直接関係のない（検定・資格・語学等）学修時間をみると、もっとも多いのは「1時間～2時間未満」の23.0%であった。
- ✓ 時系列の推移からは2020年度以降、学修時間が毎年減少傾向にあることが読み取れる。2025年度は「なし（1時間未満）」の割合が6割を超えている。
- ✓ 学年別でみると、1年生がもっとも短く、学年が上がるにつれて長くなり、もっとも長いのが4年生である。

問11-2 【活動時間】大学の授業とは直接関係のない（検定・資格・語学等）1週間あたりの学修時間（全体／単一回答）

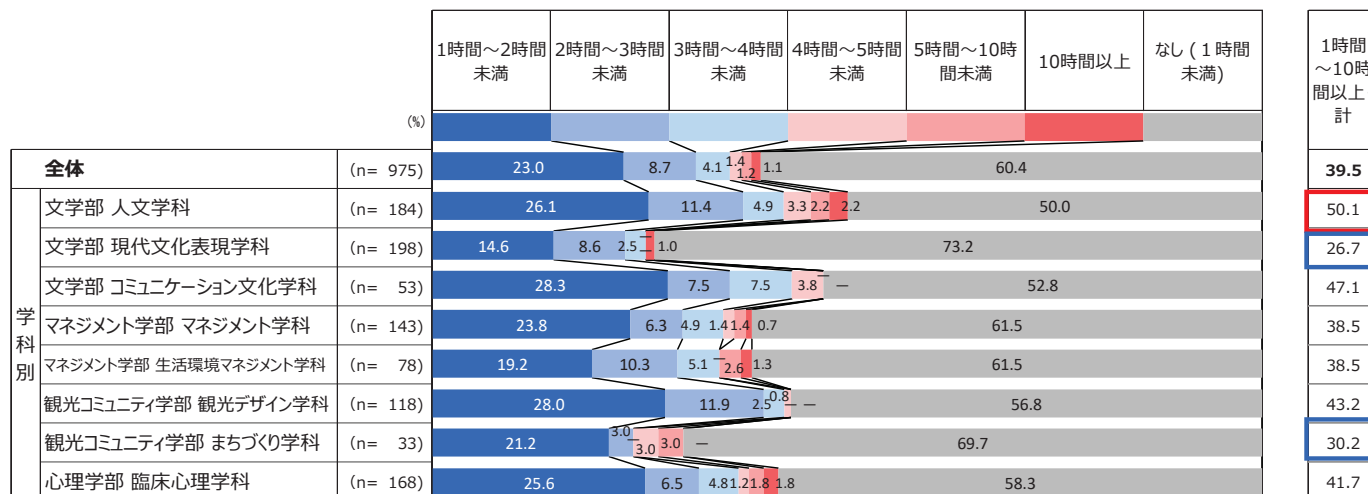


※2023年以前はN数なし

問11-2 【1週間あたりの活動時間】大学の授業とは直接関係のない学修

- ✓ 大学の授業とは直接関係のない（検定・資格・語学等）学修時間について、「なし（1時間未満）」を除く「1時間～10時間以上」の割合で学科別に比較すると、おおむね4割前後の学科が多い。
- ✓ 1時間以上学修している割合がもっとも高い学科は人文学科、学修時間が短い学科は現代文化表現学科、まちづくり学科であった。

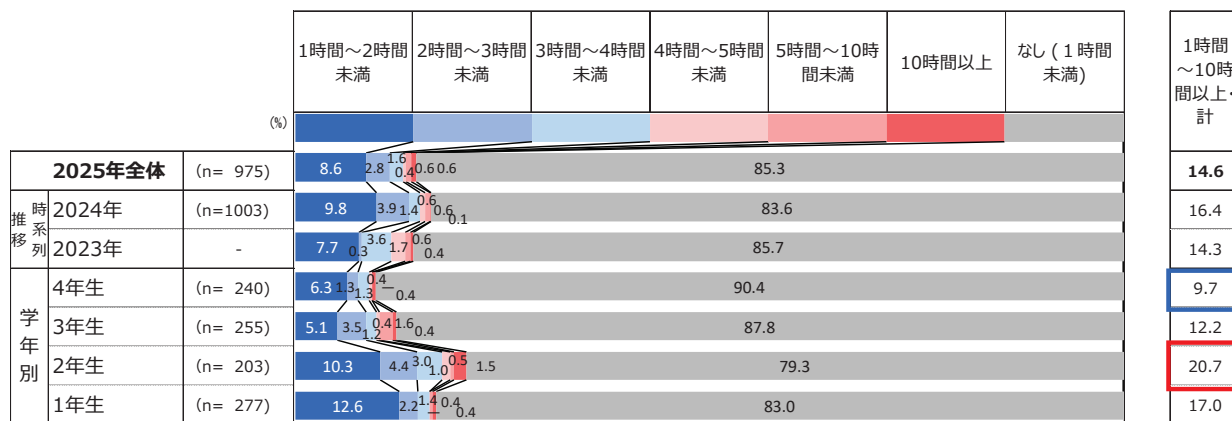
問11-2 【活動時間】大学の授業とは直接関係のない（検定・資格・語学等）1週間あたりの学修時間（全体／単一回答）



問11-3 【1週間あたりの活動時間】学内のクラブ・サークル・委員会等

- ✓ 学内のクラブ・サークル・委員会等の活動時間をみると、もっとも多いのは「1時間～2時間未満」の8.6%であった。
- ✓ 時系列でみると、1時間以上の活動者の割合は、2023年度以降ほぼ変わらず15%前後で推移している。
- ✓ 学年別でみると、活動者の割合がもっとも多いのが2年生であるが、8割が「なし（1時間未満）」と回答している。

問11-3 【活動時間】学内のクラブ・サークル・委員会等の1週間あたりの活動時間（全体／単一回答）



問11-4 【1週間あたりの活動時間】本学とは無関係のクラブ・サークル活動

- ✓ 大学とは関係のないクラブ・サークルの活動時間をみると、もっとも多いのは「1時間～2時間未満」の4.3%であった。
- ✓ 時系列でみると、1時間以上の活動者の割合は、2023年度以降ほぼ変わらず約10%で推移している。
- ✓ 学年別にみても、学年による違いはほとんど見られない。

問11-4 【活動時間】本学とは無関係のクラブ・サークル活動の1週間あたりの活動時間（ボランティア、国際交流活動、地域活動等を除く）（全体／単一回答）

			1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間～5時間未満	5時間～10時間未満	10時間以上	なし（1時間未満）	1時間～10時間以上・計
			(%)							
時系列推移	2025年全体	(n= 975)	4.3	2.7	0.8	0.8	0.8	89.3		10.6
	2024年	(n=1003)	4.0	2.5	2.6	1.0	0.6	88.5		11.5
	2023年	-	4.3	2.0	1.3	1.4	0.8	89.8		10.2
			4.3	2.7	0.8	0.8	0.8	89.3		10.6
学年別	4年生	(n= 240)	5.0	2.1	1.3	0.4	1.7	88.8		11.3
	3年生	(n= 255)	4.7	2.7	0.8	0.4	0.4	90.6		9.4
	2年生	(n= 203)	3.0	3.4	5.1	1.5		89.2		10.9
	1年生	(n= 277)	4.3	2.5	2.2	1.1		88.8		11.2

※2023年はN数なし

問11-5 【1週間あたりの活動時間】ボランティア

- ✓ ボランティアの活動時間をみると、1時間以上の活動者の割合は5.1%で、95%が「なし（1時間未満）」と回答している。
- ✓ 1時間以上の活動者の割合の推移を時系列でみると、微増傾向にあるものの、ほぼ変わらず約5%で推移している。
- ✓ 学年別でみると、活動者の割合がもっとも多いのが3年生（8.3%）であった。

問11-5 【活動時間】1週間あたりのボランティアの活動時間（全体／単一回答）

			1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間～5時間未満	5時間～10時間未満	10時間以上	なし（1時間未満）	1時間～10時間以上・計
			(%)							
時系列推移	2025年全体	(n= 975)	3.4	0.5	0.2	0.1	0.1	94.9		5.1
	2024年	(n=1003)	2.6	0.3	0.4	0.2	0.2	95.3		4.7
	2023年	-	2.1	0.3	0.6	0.1	0.1	95.8		4.2
			2.1	0.3	0.6	0.1	0.1	95.8		4.2
学年別	4年生	(n= 240)	4.6	—	—	—	—	95.0		5.0
	3年生	(n= 255)	5.1	1.2	1.6	0.4		91.8		8.3
	2年生	(n= 203)	1.1	2.5	0.5	—		95.6		4.5
	1年生	(n= 277)	2.2	0.4	—	0.4		97.1		3.0

※2023年はN数なし

問11-6 【1週間あたりの活動時間】国際交流（留学生との交流等）

- ✓ 国際交流（留学生との交流等）の活動時間をみると、1時間以上の活動者の割合は2.5%で、97%が「なし（1時間未満）」と回答している。
- ✓ 1時間以上の活動者の割合の推移を時系列でみると、割合はほぼ変わらないが微減傾向で推移している。
- ✓ 学年別みても、学年による違いはほとんど見られない。

問11-6 【活動時間】1週間あたりの国際交流（留学生との交流等）の活動時間（全体／単一回答）

			1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間～5時間未満	5時間～10時間未満	10時間以上	なし（1時間未満）	1時間～10時間以上・計
2025年全体 (n= 975)			1.4	0.2	0.1	0.1	97.4			2.5
時 移 列	2024年	(n=1003)	2.8	0.2	—	—	96.7			3.3
	2023年	-	2.2	0.3	0.1	—	96.4			3.6
			1.7	—	—	—	97.9			2.1
学 年 別	4年生	(n= 240)	1.7	—	—	—	97.6			2.4
	3年生	(n= 255)	1.2	—	—	—	97.0			3.0
	2年生	(n= 203)	1.5	0.5	0.5	—	97.1			3.0
	1年生	(n= 277)	1.8	0.4	—	—	97.1			3.0

※2023年はN数なし

問11-7 【1週間あたりの活動時間】地域の活動時間

- ✓ 地域の活動時間をみると、1時間以上の活動者の割合は3.1%で、97%が「なし（1時間未満）」と回答している。
- ✓ 1時間以上の活動者の割合の推移を時系列でみたが、割合に変化はみられない。
- ✓ 学年別でみると、活動者の割合がもっとも多いのが4年生（5.0%）であった。

問11-7 【活動時間】1週間あたりの地域の活動時間（全体／単一回答）

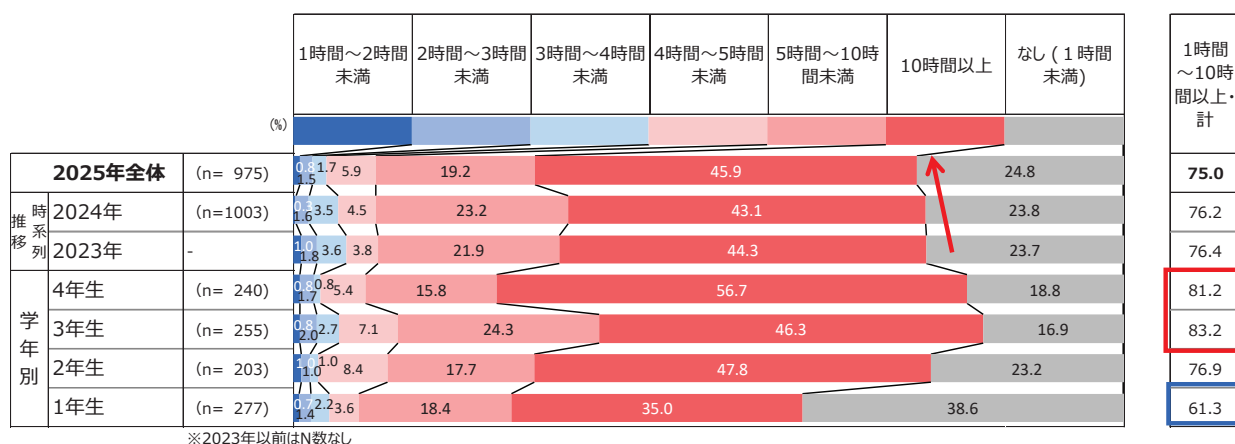
			1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間～5時間未満	5時間～10時間未満	10時間以上	なし（1時間未満）	1時間～10時間以上・計
2025年全体 (n= 975)			2.4	0.3	0.1	—	96.9			3.1
時 移 列	2024年	(n=1003)	1.9	0.5	0.1	—	96.9			3.1
	2023年	-	2.2	0.4	0.1	—	96.6			3.4
			4.6	0.4	—	—	95.0			5.0
学 年 別	4年生	(n= 240)	4.6	0.4	—	—	96.9			3.2
	3年生	(n= 255)	2.1	0.5	0.4	—	96.6			3.5
	2年生	(n= 203)	2.5	1.0	—	—	98.9			1.1
	1年生	(n= 277)	0.7	—	—	—	98.9			1.1

※2023年はN数なし

問11-8 【1週間あたりの活動時間】アルバイト

- ✓ アルバイトの時間は学生生活・学修行動の項目においてもっとも長く、全体の4割以上が1週間あたり10時間以上と回答している。
- ✓ 1時間以上の活動者の割合の推移を時系列でみると、割合はほぼ変わらないが微減傾向で推移している。
- ✓ 学年別では、3～4年生で8割以上の学生が何らかのアルバイトを行っており、従事する時間も長い。

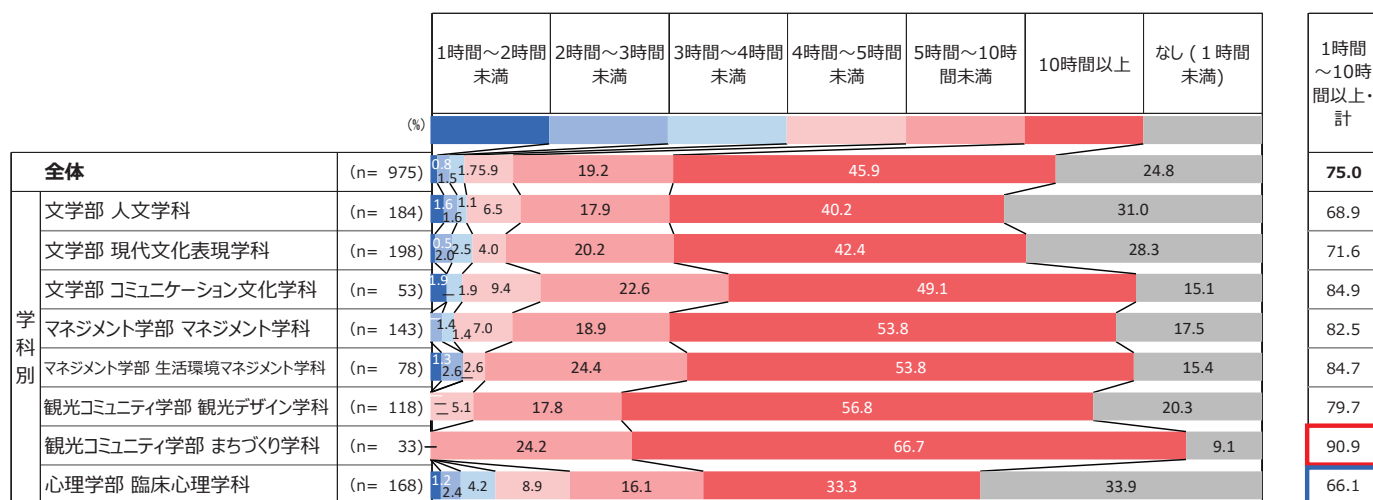
問11-8 【活動時間】1週間あたりのアルバイト時間（全体／単一回答）



問11-8 【1週間あたりの活動時間】アルバイト

- ✓ アルバイト時間について、1時間以上の活動者の割合を学科別に比較すると、もっとも多い学科はまちづくり学科で、うち66.7%が10時間以上従事しており時間も長い。一方、臨床心理学科はもっとも低く66.1%であった。

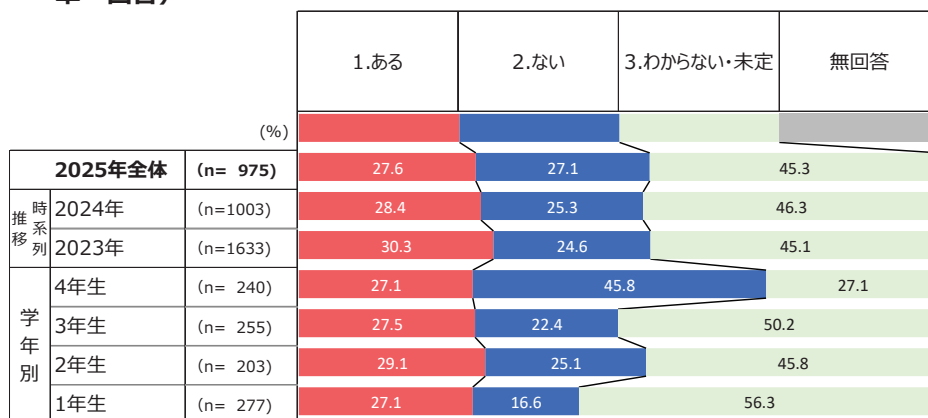
問11-8 【活動時間】1週間あたりのアルバイト時間（全体／単一回答）



問12 学修や進路（就職）のために必要な資格や免許等の有無

- ✓ 学修や進路に対して必要な資格・免許等が「ある」と回答した学生の割合は27.6 %で昨年と同程度であるが、年々微減傾向にある。
- ✓ 「ある」と回答した割合は学年による差異はあまり見られないが、「わからない・未定」の割合は学年が上がるにつれて下がり、4年生になると「ない」の割合が45.6%と最も高くなっている。

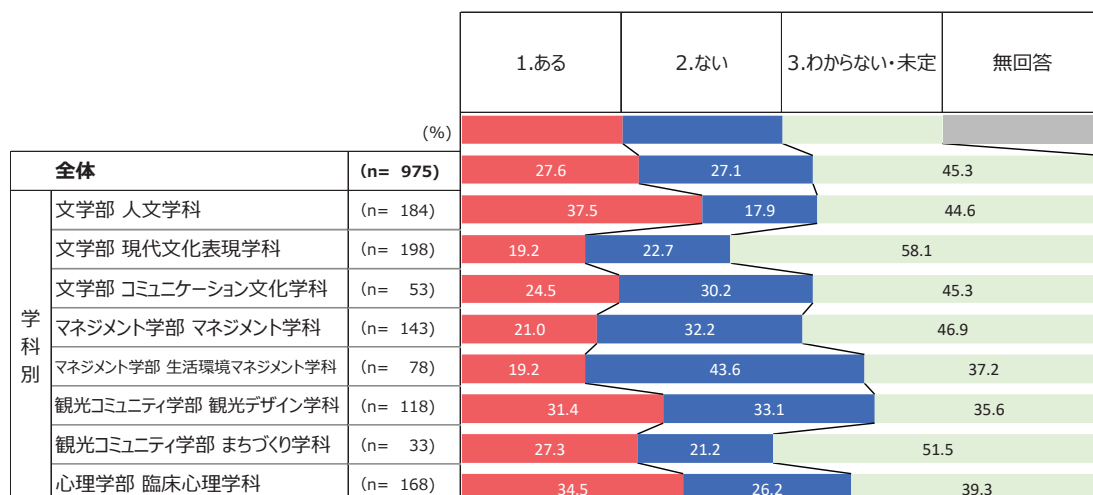
問12 あなたの学修や進路（就職）のために、必要な資格や免許等がありますか。（全体／単一回答）



問12 学修や進路（就職）のために必要な資格や免許等の有無

- ✓ 学修や進路に対して必要な資格・免許等が「ある」と回答した学生の割合を学科別に比較したところ、もっとも多いのは人文学科（37.5%）、次いで臨床心理学科、観光デザイン学科までが3割以上で続く。

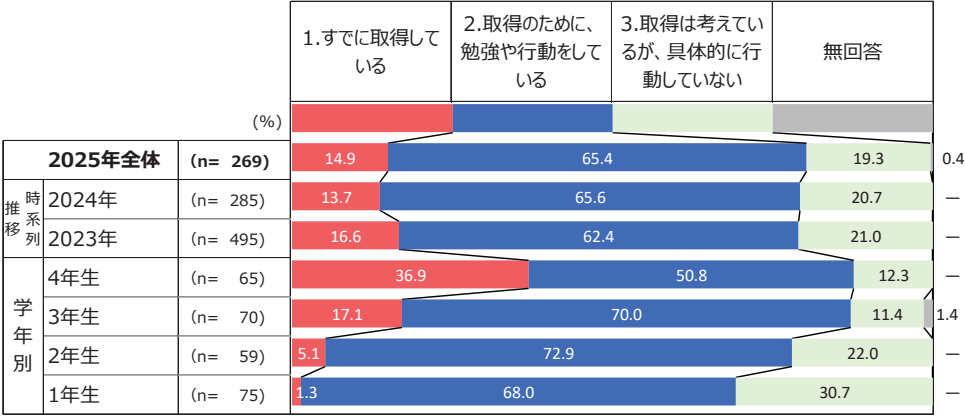
問12 あなたの学修や進路（就職）のために、必要な資格や免許等がありますか。（全体／単一回答）



問13 資格取得に向けて勉強や行動

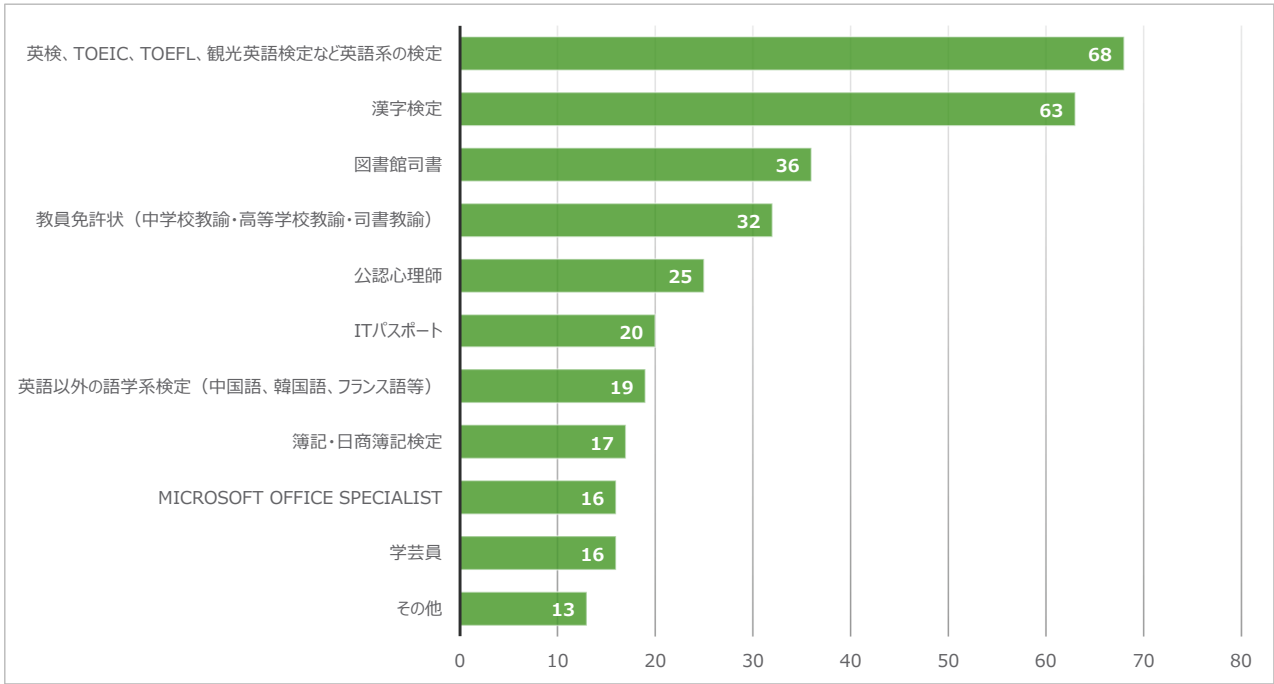
- ✓ 学修や進路に対して必要な資格・免許等が「ある」と回答した人のうち、「すでに取得している」「資格取得に向けて勉強や行動している」割合は、ともに2023年以降同程度で推移している。
- ✓ 学年進行によって取得状況や学修行動に変化があり、学年が上がるにつれて取得率、行動率が上がっている。

問13 資格取得に向けて勉強や行動をしていますか。（問12で「ある」と回答した人／単一回答）



問14 「すでに取得している」または「取得のために勉強や行動をしている」資格名

- ✓ 英語に関する資格が最多で68件、次いで漢字検定が63件と語学に関する資格がトップ2となった。
- ✓ それに次ぐボリュームゾーンは図書館司書、教員免許、公認心理師となっている。

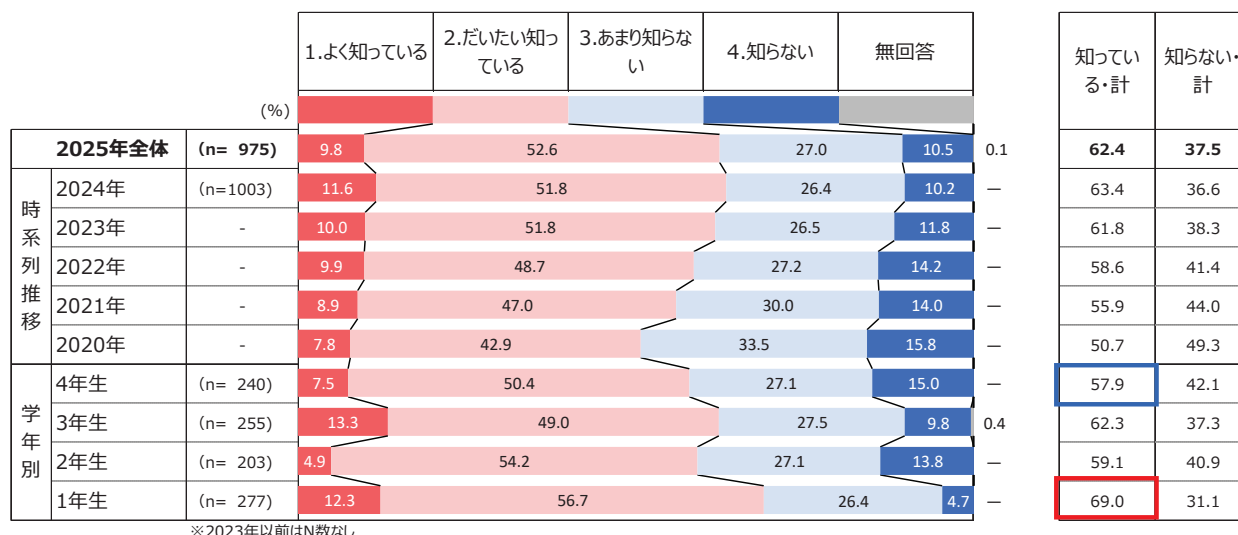


※回答数は200件、1人の回答でも複数の資格名を回答している方もあり、全てカウント済み。
※別添資料で、資格一覧と選択肢にない資格名について掲載

問15 本学の建学の精神や理念、教育目標について

- ✓ 本学の建学の精神や教育目標に関する認知度は、「よく知っている」「だいたい知っている」の肯定的回答が62.4%、「あまり知らない」「知らない」の否定的回答は37.5%であった。
- ✓ 時系列の推移では、肯定的回答は昨年度同程度であった。
- ✓ 学年別にみると肯定的回答率は1年生が69.0%でもっとも高く、6割を切る4年生がもっとも低い。

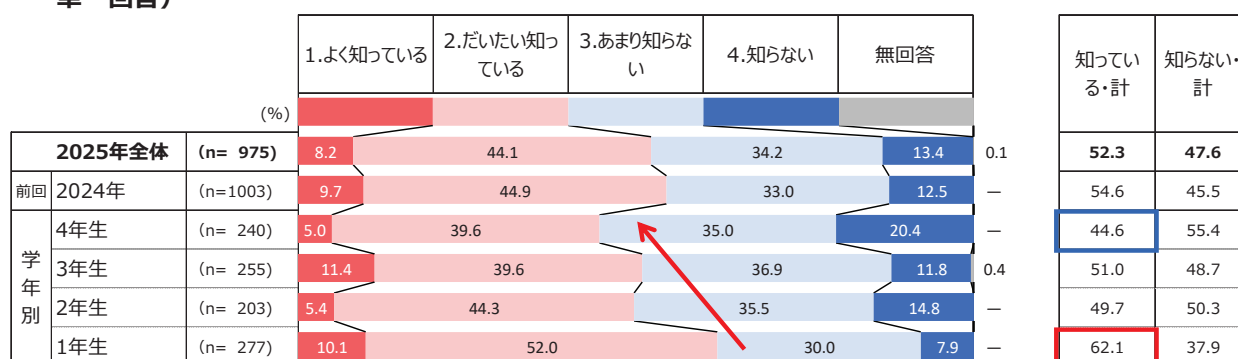
問15 あなたは本学の建学の精神や理念、教育目標を知っていますか。（全体／単一回答）



問16 学部・学科の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)について

- ✓ 学部・学科の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)の認知度は52.3%であった。2024年度から微減している。
- ✓ 学年別でみると、1年生で認知度が高く、学年が上がるにつれて認知度は下がる傾向にある。

問16 あなたは自分が在籍する学部・学科の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を知っていますか。（全体／単一回答）



第3章

学修成果の把握

問17 学生の学修成果の把握（個別項目の相対比較）

- ✓ 学生の学修成果の把握について「役立っている・計」のスコアをみると、どの項目についてもおおむね7割以上の肯定的回答を得ている。
- ✓ もっとも高いのは「広い視野をもって専門知識を体系的に理解する力」77.8%で、次いで「価値観の多様性を理解し、他者に働きかけるコミュニケーションスキルと表現力」が続く。もっとも低いのは「問題を発見し、解決に導く論理的思考力」の69.1%であった。

問17 学生の学修成果の把握（全体／単一回答）

		1.大変役立っている	2.まあまあ役に立っている	3.どちらとも言えない	4.あまり役立っていない	5.役に立っていない	無回答		役立っている・計	役立っていない・計
		(%)								
Q17-1. 広い視野をもって専門知識を体系的に理解する力	(n= 975)	21.1	56.7		17.3	2.7	2.2	—	77.8	4.9
Q17-2. 価値観の多様性を理解し、他者に働きかけるコミュニケーションスキルと表現力	(n= 975)	25.5	50.3		18.6	3.8	1.8	—	75.8	5.6
Q17-3. 問題を発見し、解決に導く論理的思考力	(n= 975)	18.6	50.5		24.0	5.2	1.7	—	69.1	6.9
Q17-4. 生涯にわたって活かすことのできる、実践と結びついた豊かな教養と創造力	(n= 975)	23.1	51.4		20.3	3.5	1.7	—	74.5	5.2
Q17-5. 現代社会のさまざまな場面において、協働して目標を達成できる力	(n= 975)	22.2	49.6		21.7	4.5	1.9	—	71.8	6.4

問17-1 【学修成果】広い視野をもって専門知識を体系的に理解する力

- ✓ 「広い視野をもって専門知識を体系的に理解する力」については、「役立っている・計」が77.8%を占める。
- ✓ 時系列でみると、「役立っている・計」は2024年度と同程度であった。
- ✓ 学年別でみると、1年生と4年生で「役立っている・計」が79%台で高い。

問17-1 【役立ち度】広い視野をもって専門知識を体系的に理解する力（全体／単一回答）

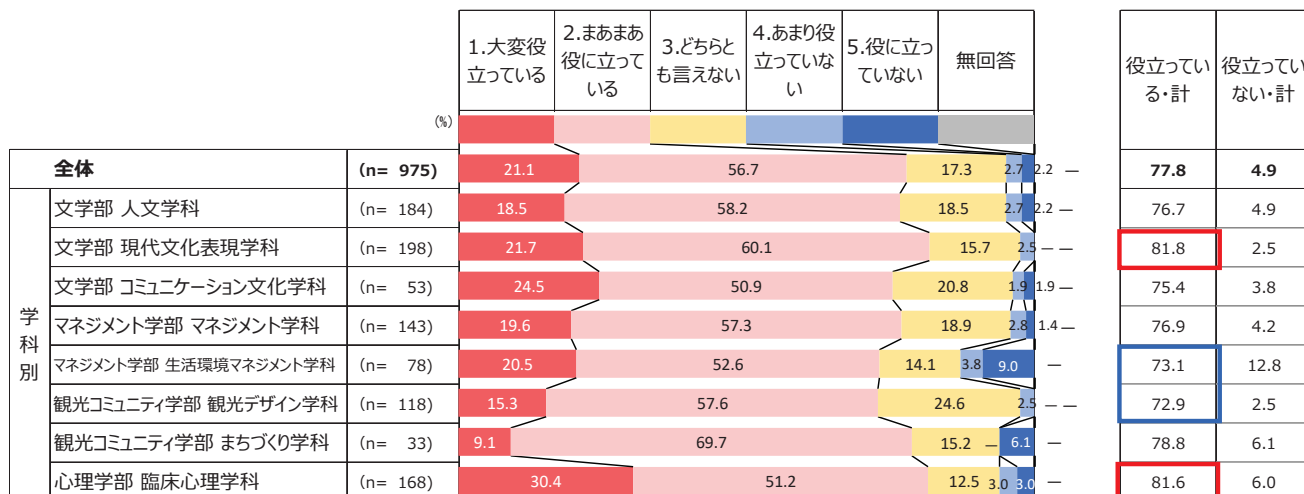
		1.大変役立っている	2.まあまあ役に立っている	3.どちらとも言えない	4.あまり役立っていない	5.役に立っていない	無回答		役立っている・計	役立っていない・計
		(%)								
2025年全体		(n= 975)	21.1	56.7	17.3	2.7	2.2	—	77.8	4.9
時系列	2024年	(n=1003)	20.7	56.5	17.5	2.9	2.3	—	77.2	5.2
	2023年	-	21.5	53.5	19.6	4.0	1.4	—	75.0	5.4
学年別	4年生	(n= 240)	24.2	55.4	14.2	2.5	3.8	—	79.6	6.3
	3年生	(n= 255)	20.8	56.1	18.0	3.1	2.0	—	76.9	5.1
	2年生	(n= 203)	16.7	58.1	19.7	3.0	2.5	—	74.8	5.5
	1年生	(n= 277)	22.0	57.4	17.7	2.2	0.7	—	79.4	2.9

※2023年はN数なし

問17-1 【学修成果】広い視野をもって専門知識を体系的に理解する力

- ✓ 「広い視野をもって専門知識を体系的に理解する力」について学科別に比較したところ、「役立っている・計」の割合が高いのは現代文化表現学科、臨床心理学科であった。生活環境マネジメント学科、観光デザイン学科でやや低い。

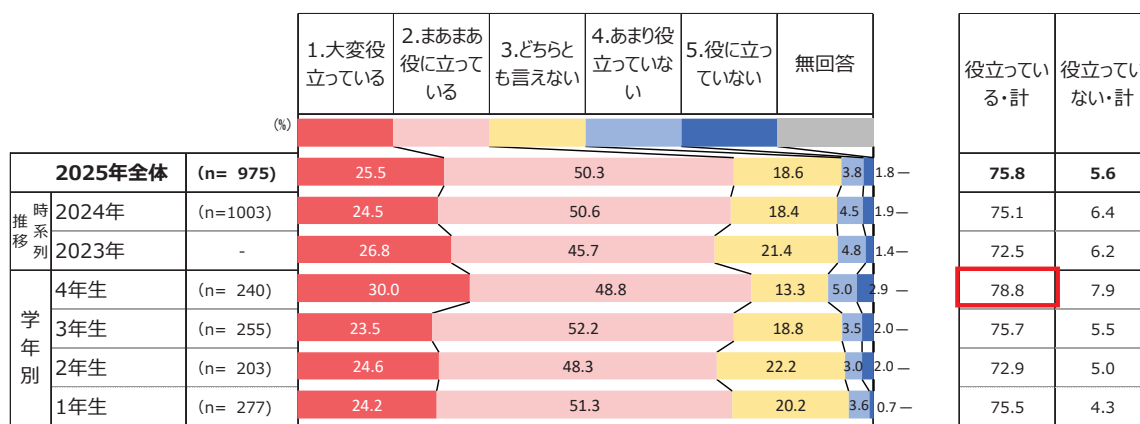
問17-1 【役立ち度】広い視野をもって専門知識を体系的に理解する力（全体／単一回答）



問17-2 【学修成果】価値観の多様性を理解し、他者に働きかけるコミュニケーションスキルと表現力

- ✓ 「価値観の多様性を理解し、他者に働きかけるコミュニケーションスキルと表現力」については、「役立っている・計」が75.8%を占める。
- ✓ 時系列でみると、「役立っている・計」は2024年度と同程度であった。
- ✓ 学年別では大きな差はみられないが、4年生で「役立っている・計」の割合がやや高い。

問17-2 【役立ち度】価値観の多様性を理解し、他者に働きかけるコミュニケーションスキルと表現力（全）

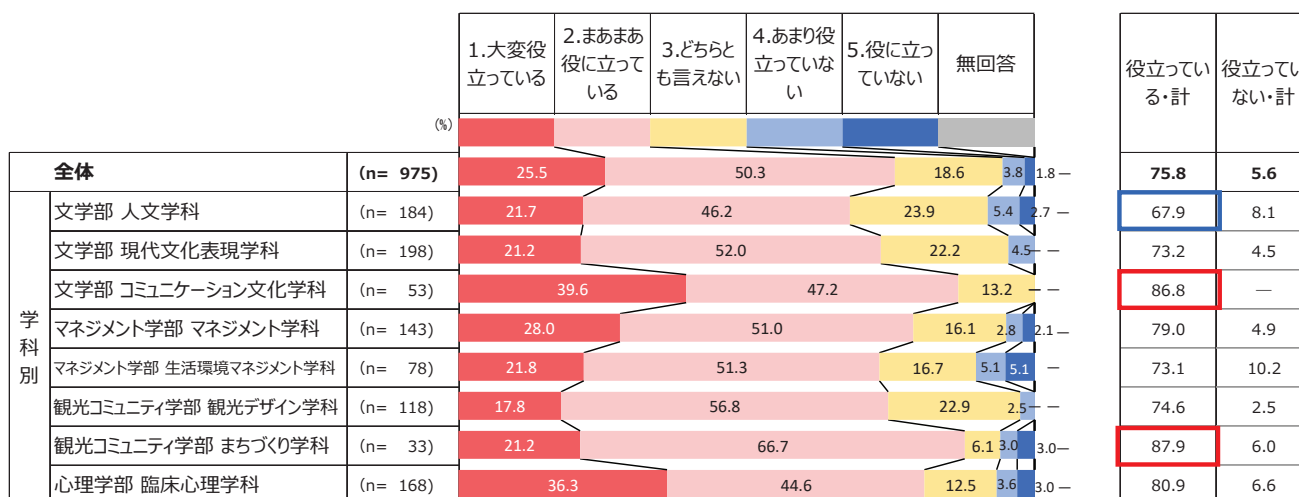


※2023年はN数なし

問17-2 【学修成果】価値観の多様性を理解し、他者に働きかけるコミュニケーションスキルと表現力

- ✓ 「価値観の多様性を理解し、他者に働きかけるコミュニケーションスキルと表現力」について学科別に比較したところ、「役立っている・計」の割合が高いのはまちづくり学科、コミュニケーション文化学科であった。人文学科ではやや低い割合となっている。

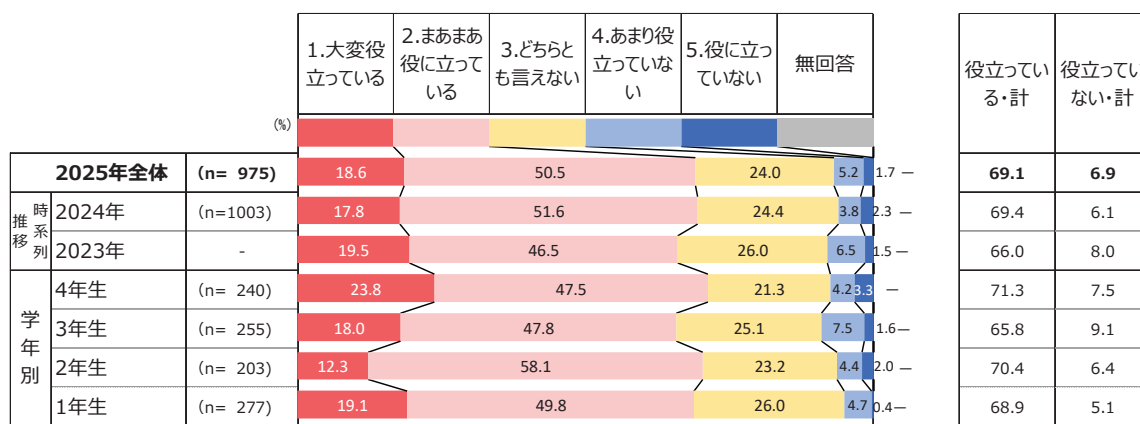
問17-2 【役立ち度】価値観の多様性を理解し、他者に働きかけるコミュニケーションスキルと表現力（全体／単一回答）



問17-3 【学修成果】問題を発見し、解決に導く論理的思考力

- ✓ 「問題を発見し、解決に導く論理的思考力」については、「役立っている・計」が69.1%を占める。
- ✓ 時系列でみると、「役立っている・計」は2024年度と同程度であった。
- ✓ 学年別では大きな差はみられないが、4年生でトップボックス「大変役立っている」の割合が23.8%と高い。

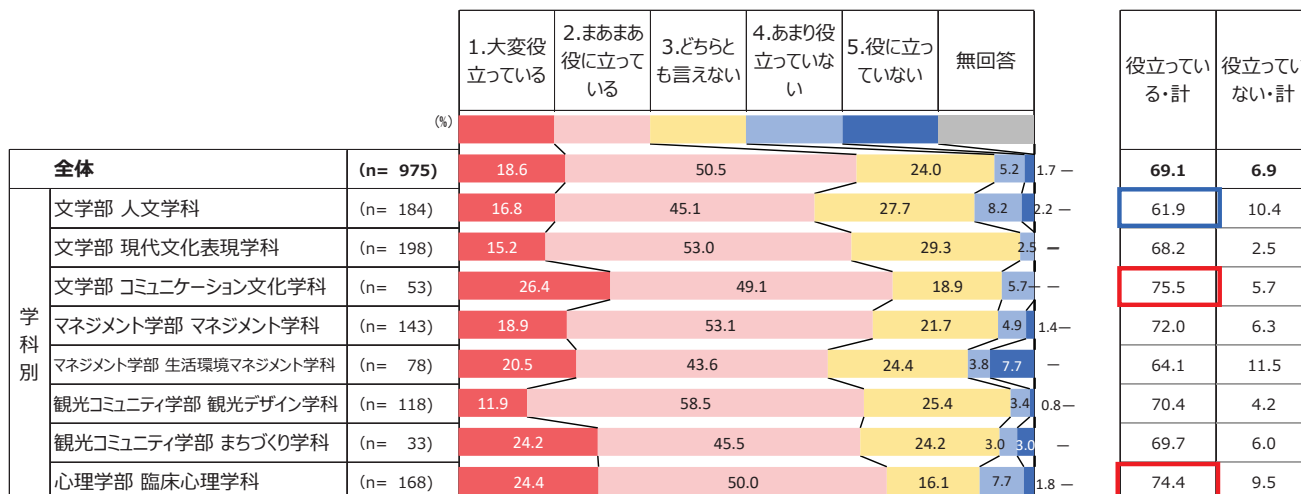
問17-3 【役立ち度】問題を発見し、解決に導く論理的思考力（全体／単一回答）



問17-3 【学修成果】問題を発見し、解決に導く論理的思考力

- ✓ 「問題を発見し、解決に導く論理的思考力」について学科別に比較したところ、「役立っている・計」の割合が高いのはコミュニケーション文化学科、臨床心理学科であった。人文学科ではやや低い割合となっている。

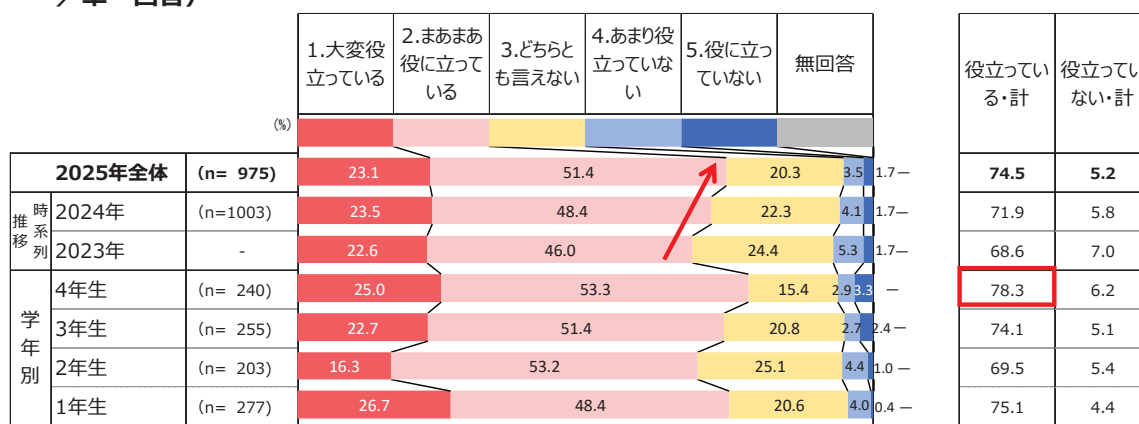
問17-3 【役立ち度】問題を発見し、解決に導く論理的思考力（全体／単一回答）



問17-4 【学修成果】生涯にわたって活かすことのできる、実践と結びついた豊かな教養と創造力

- ✓ 「生涯にわたって活かすことのできる、実践と結びついた豊かな教養と創造力」については、「役立っている・計」が74.5%を占める。
- ✓ 時系列でみると、「役立っている・計」は年々上昇している。
- ✓ 学年別では、4年生で「役立っている・計」の割合が78.3%と高い。

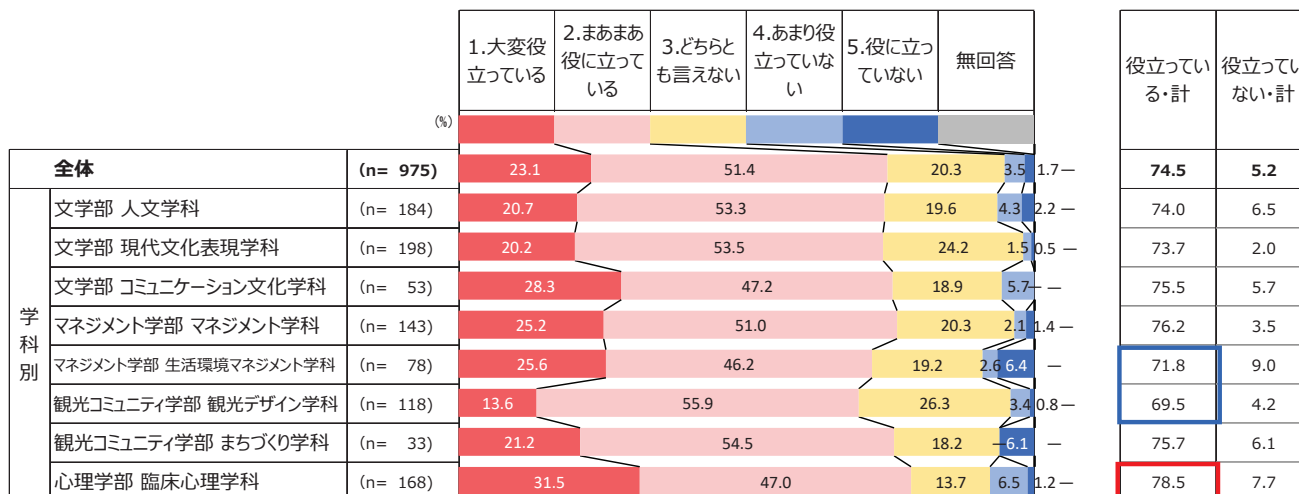
問17-4 【役立ち度】生涯にわたって活かすことのできる、実践と結びついた豊かな教養と創造力（全体／単一回答）



問17-4 【学修成果】生涯にわたって活かすことのできる、実践と結びついた豊かな教養と創造力

- ✓ 「生涯にわたって活かすことのできる、実践と結びついた豊かな教養と創造力」について学科別に比較したところ、「役立っている・計」の割合が高いのは臨床心理学科であった。観光デザイン学科、生活環境マネジメント学科ではやや低い割合となっている。

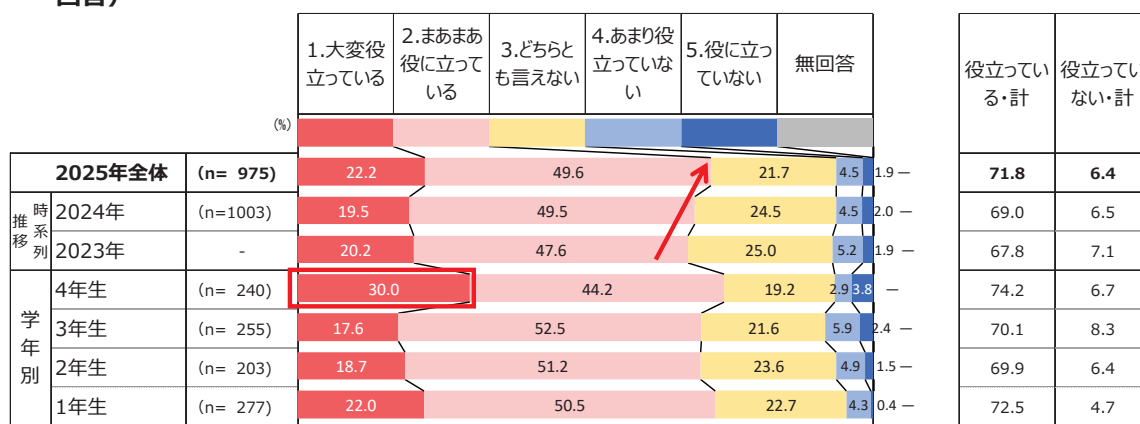
問17-4 【役立ち度】生涯にわたって活かすことのできる、実践と結びついた豊かな教養と創造力（全体／単一回答）



問17-5 【学修成果】現代社会のさまざまな場面において、協働して目標を達成できる力

- ✓ 「現代社会のさまざまな場面において、協働して目標を達成できる力」については、「役立っている・計」が71.8%を占める。
- ✓ 時系列でみると、「役立っている・計」は年々上昇している。
- ✓ 学年別でみると、トップボックス「大変役に立っている」の割合が30.0%と高い。

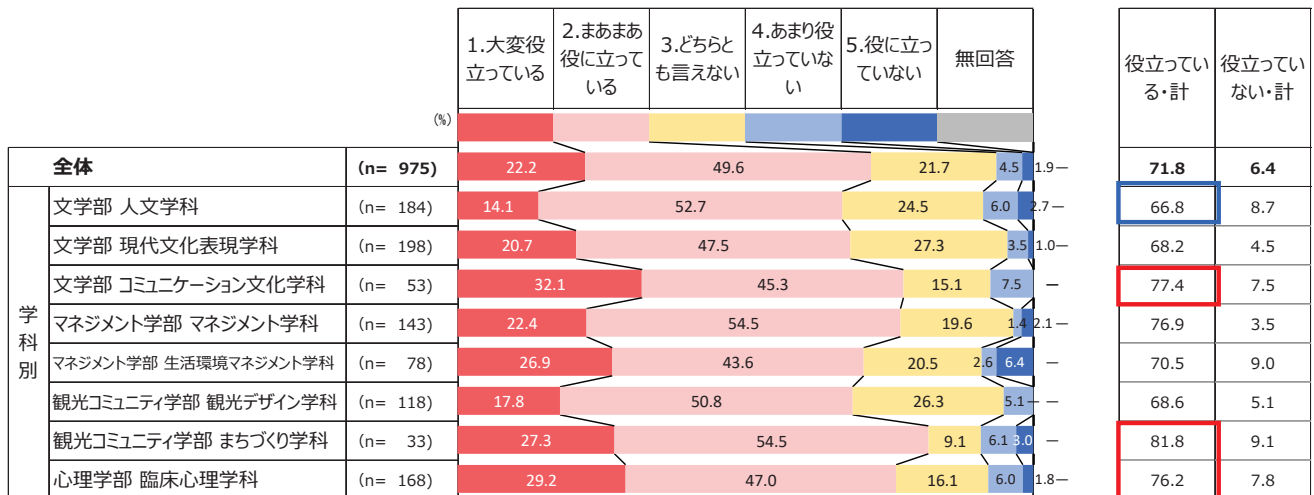
問17-5 【役立ち度】現代社会のさまざまな場面において、協働して目標を達成できる力（全体／単一回答）



問17-5 【学修成果】現代社会のさまざまな場面において、協働して目標を達成できる力

- ✓ 「現代社会のさまざまな場面において、協働して目標を達成できる力」について学科別に比較したところ、「役立っている・計」の割合が高いのはまちづくり学科、コミュニケーション文化学科、臨床心理学科であった。人文学科ではやや低い割合となっている。

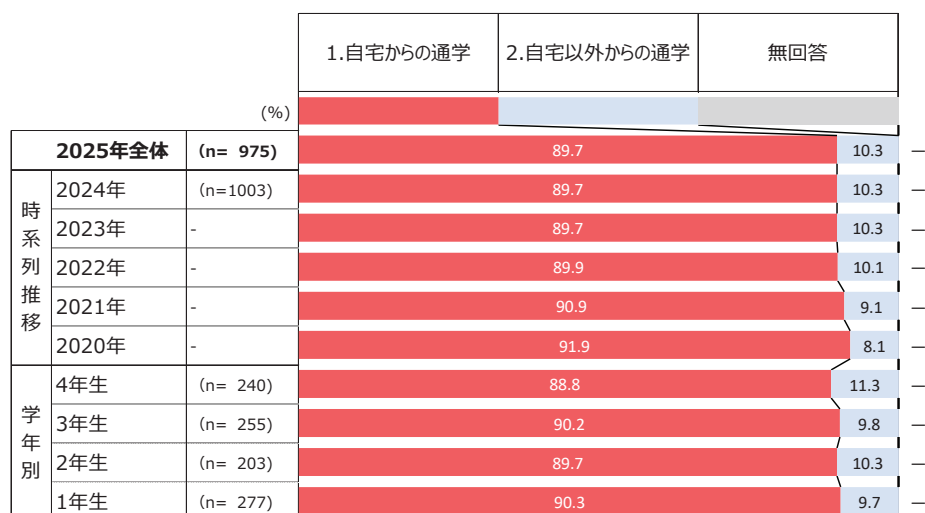
問17-5 【役立ち度】現代社会のさまざまな場面において、協働して目標を達成できる力（全体／単一回答）



学生の居住状況

- ✓ 自宅からの通学が9割程度を占める。
- ✓ 時系列の推移も、ほぼ例年と同様の傾向であった。
- ✓ 学年別でみると、各学年とも自宅からの通学が9割前後となっている。

F3. 居住状況（全体／単一回答）



※2023年以前はN数なし

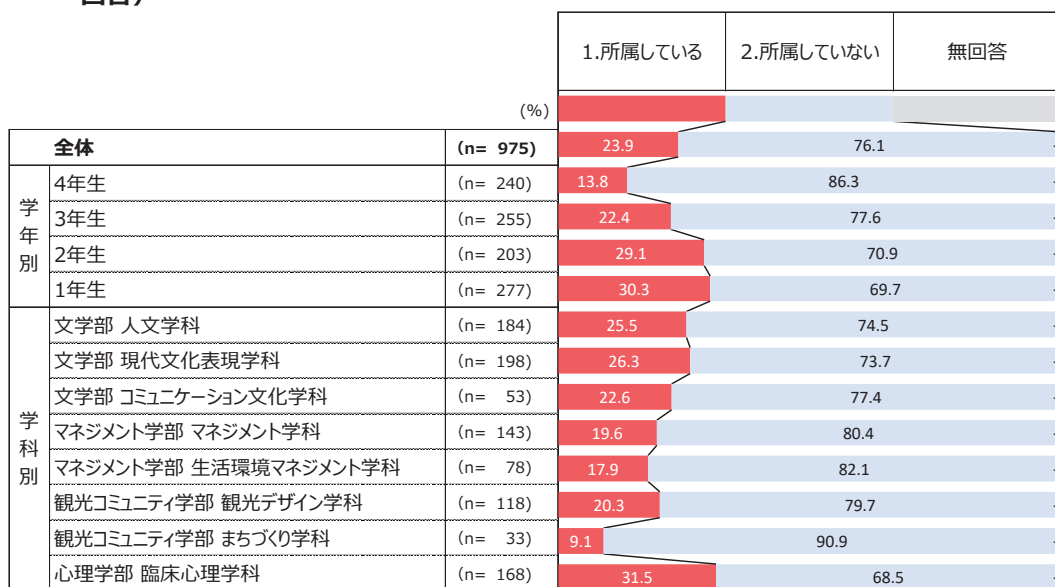
第4章

特別設問

問19 学内のクラブ・サークル・委員会の所属状況

- ✓ 学内のクラブ・サークル・委員会の現在、所属について尋ねたところ、全体の所属率は23.9%であった。
- ✓ 学年別では1年生、2年生で高く3割、学年が上がるにつれて低下し4年生では13.8%であった。
- ✓ 学科別にみると、もっとも高いのは臨床心理学科31.5%であった（回答者に占める1年生の割合が高いためと思われる）

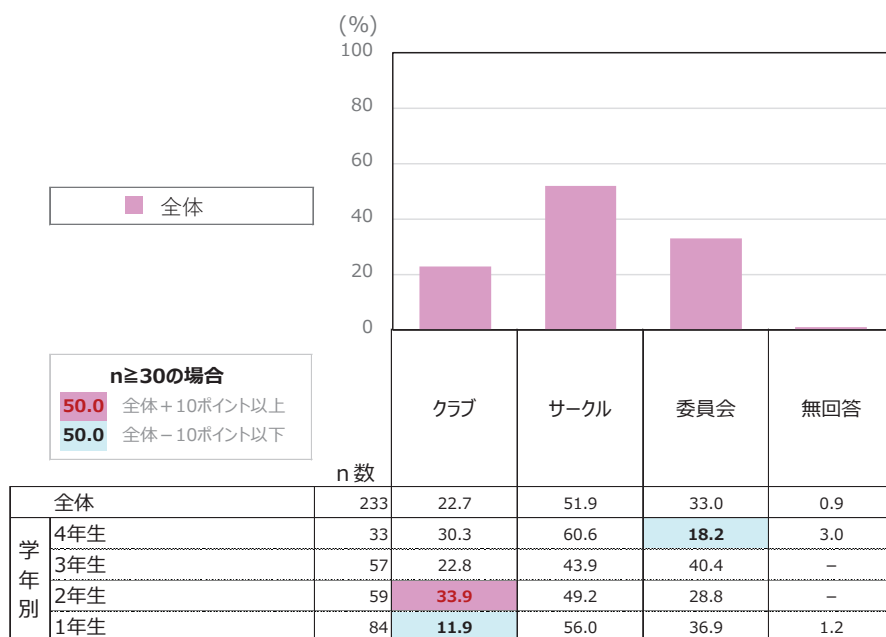
問19 あなたは、現在、学内のクラブ・サークル・委員会のいずれかに所属していますか？（全体／単一回答）



問20 所属している活動

- ✓ 所属している学生に、活動の種類を尋ねたところ、「サークル」が51.9%ともっとも高く、「委員会」33.0%、「クラブ」22.7%であった。
- ✓ 学年別の特徴としては、2年生で「クラブ」の所属率が33.9%と高い。

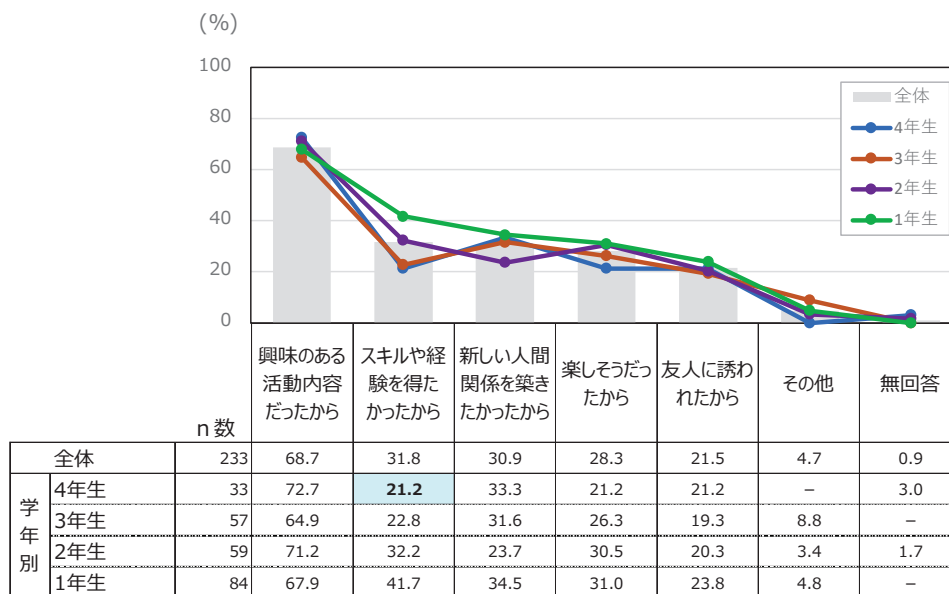
Q20.所属している活動（活動参加者／複数回答）



問21 所属している理由

- ✓ 所属している学生にその理由を複数回答で尋ねた。突出して高いのは「興味のある活動内容だったから」68.7%、以下、「スキルや経験を得たかったから」「新しい人間関係を築きたかったから」が3割強で続く。その他の回答では就職活動を見据えた「ガクチカ」を理由にあげる回答が散見された。
- ✓ 学年による差がみられるのは「スキルや経験を得たかったから」で、もっとも高い1年生ともっとも低い4年生では約20ポイントの開きがある。

Q21.所属している理由（複数選択可）（活動参加者／複数回答）



※全体の回答の降順ソート（「その他」「無回答」を除く）

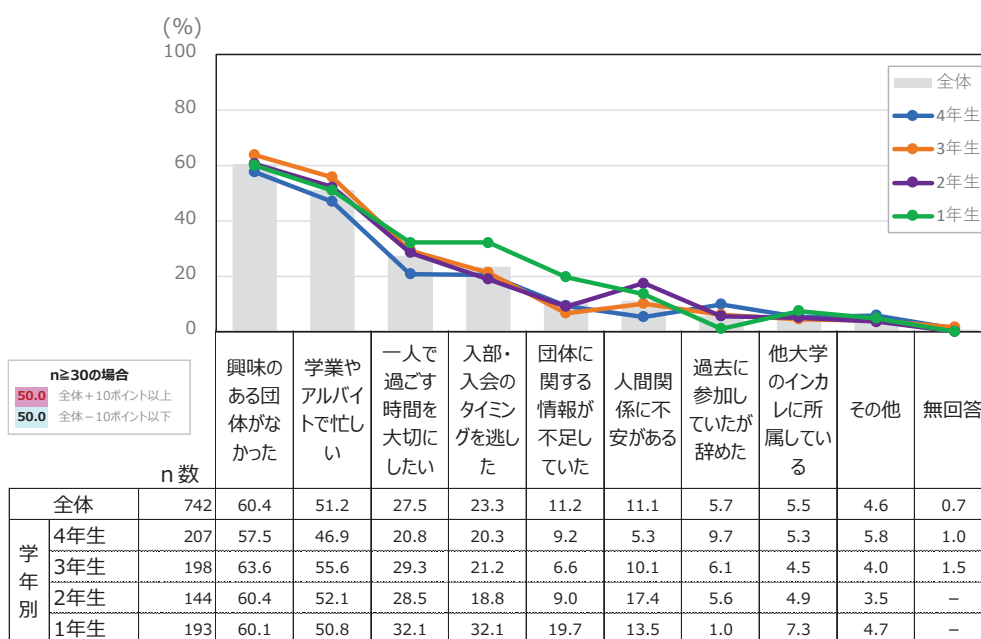
▶「その他」の理由

- ・ガクチカ
- ・ガクチカが欲しかったから
- ・がくちかになるから
- ・ガクチカのため
- ・せっかくの大学生なのだから、サークルに入ってみたいと思ったから
- ・勧誘されたから
- ・高校時代での継続
- ・自分が活動したかったから
- ・自分で作った
- ・仲良くなりたい子が入っていたから。
- ・友人を助けるため

問22 クラブ・サークル・委員会に参加していない理由

- ✓ 所属していない学生にその理由を尋ねたところ、「興味のある団体がなかった」60.4%、「学業やアルバイトで忙しい」51.2%が2大理由となっている。そのほかの内容では、すでに引退、自宅からの遠さ、習い事などほかの活動で忙しいなどが多い。
- ✓ 学年別にみると、1年生で「入部・入会のタイミングを逃した」「団体に関する情報が不足していた」の割合がほかの学年に比べて高い。

Q22.クラブ・サークル・委員会に参加していない理由（非参加者／複数回答）



※全体の回答の降順ソート（「その他」「無回答」を除く）

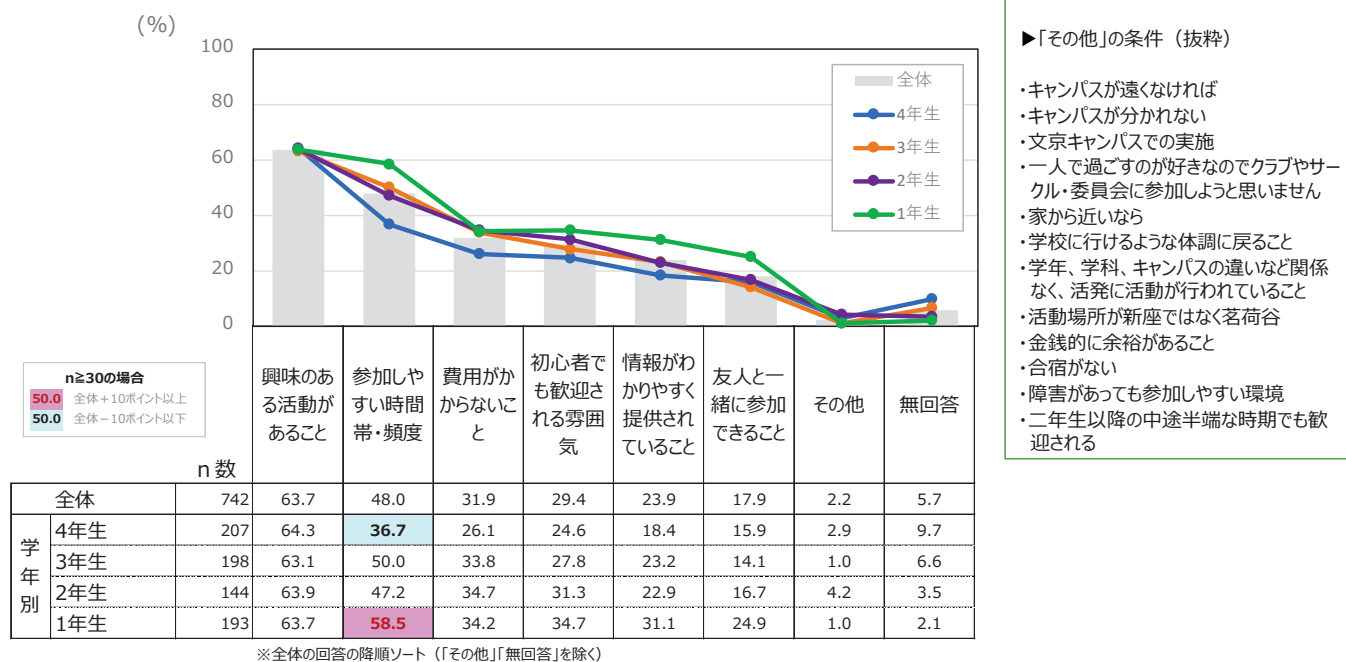
▶「その他」の理由（抜粋）

- ・3年次に引退した
- ・4年生になるので引退した
- ・家から学校までが遠くてサークル入りたのに入れない。
- ・新座と茗荷谷両方行くのが大変
- ・インカレに参加したかったけどあまりに遠かった
- ・一人暮らしで時間がうまく使えるのかわからなかった
- ・大学生生活に慣れてからがよかったから
- ・学外で稽古事をしている
- ・学校に行っていない日が多くなってしまったため。
- ・活動が活発でなく、入る必要性を感じなかった
- ・所属の仕方がわからない
- ・書道部が気になってたけど、自分のやりたい書道パフォーマンスなどがなかったため、入らなかった。
- ・地域のボランティア活動を積極的に行いたかった
- ・入りたいものがあつたけど活動しているのかわからないのかもわかりづらかった。
- ・入会の前に見学の連絡を入れたが、後ほど連絡をされると言われたまま返信が無いまま入会期間が終了していた。

問23 参加したい条件

- ✓ 所属していない学生に、どのような条件が整えば参加したいと思うか尋ねたところ、「興味のある活動があること」が63.7%と最も高く、次いで「参加しやすい時間帯・頻度」が48.0%で続く。
- ✓ 学年別にみると、1年生ではほかの学年に比べて選択率が高く、「参加しやすい時間帯・頻度」「初心者でも歓迎される雰囲気」「情報がわかりやすく提供されていること」「友人と一緒に参加できること」など多くの条件をあげている。

Q23.参加したい条件（非参加者／複数回答）

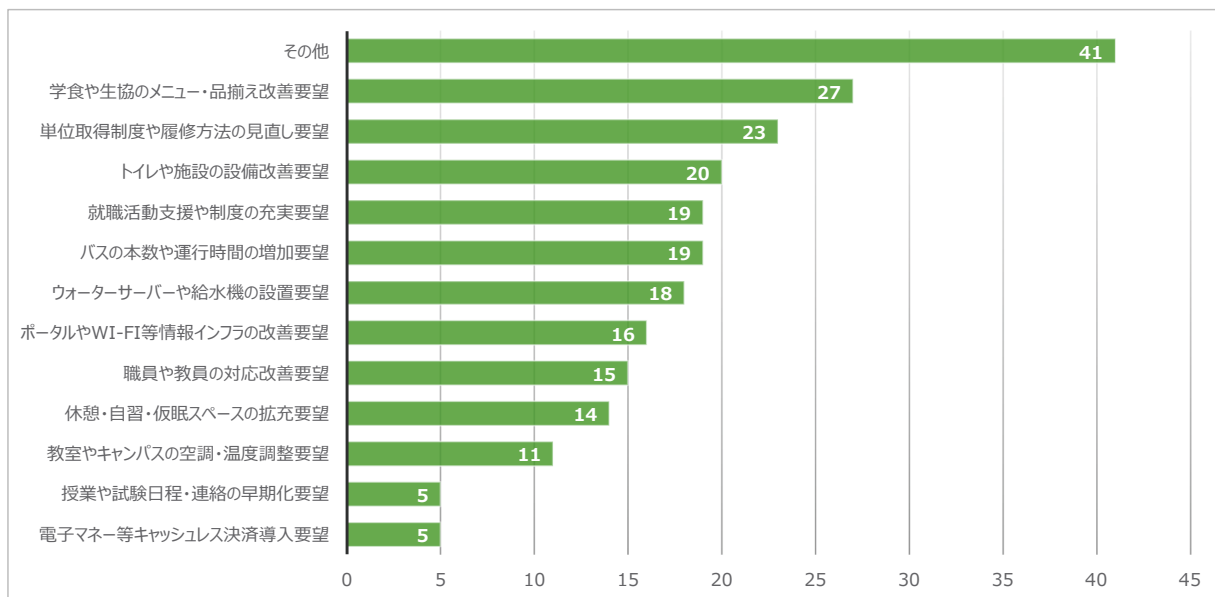


第5章

自由記述回答

問18 本学への要望や意見 自由記述回答（項目別集計）

- ✓ フリーコメントをテキストマイニングで分析して、項目別に仕分けすると下記のような傾向となった。
- ✓ 「いずれも当てはまらない」の最多を除くと、トップは「学食や生協のメニュー・品揃え改善要望」となった。
- ✓ 次いで、「単位取得制度や履修方法の見直し要望」、「トイレや施設の設備改善要望」と続く



參考資料

設問項目一覽

設問	回答	番号	設問項目
属性	形式	No.	あなたの現在の居住状況を選択してください。
選択肢	SA	1 2	1 自宅からの通学 2 自宅以外からの通学
問1	形式	No.	本学の授業やカリキュラム、履修制度等について、どの程度満足していますか。
項目	SA	1 2 3 4 5 6 7	1 本学のカリキュラム（授業科目体系）の構成 2 シラバスのわかりやすさ 3 1学期ごとの履修登録単位数の制限 4 抽選となる科目の数 5 各科目の履修者数 6 受講している授業の内容や進め方についての満足度 7 本学の授業やカリキュラム、履修制度全般について、どの程度満足していますか
選択肢		1 2 3 4	1 満足 2 どちらかといえば満足 3 どちらかといえば不満 4 不満
問2	形式	No.	本学の学習支援制度や仕組みに関して、どの程度満足していますか。
項目	SA	1 2 3 4 5 6	1 アカデミックアドバイザーやオフィスアワー等の本学の学習をサポートする仕組みの満足度 2 地域交流活動（フィールドワークやボランティア等）を体験しての満足度 3 インターンシップを体験しての満足度 4 海外研修（短期留学、語学研修、オンライン留学等を含む）を体験しての満足度 5 英会話・韓国語サロンを体験しての満足度 6 本学の学習支援制度や仕組み全般に関して、どの程度満足していますか
選択肢		1 2 3 4 5	1 満足 2 どちらかといえば満足 3 どちらかといえば不満 4 不満 5 利用したことがない・わからない
問3	形式	No.	本学のキャリア支援、キャリア教育等に関して、どの程度満足していますか。
項目	SA	1 2 3 4	1 就職相談（オンラインを含む面談・添削等）の満足度 2 授業におけるキャリア教育科目（社会人形成科目等の正課科目等）の満足度 3 就職ガイダンス・情報提供・説明会等についての満足度 4 本学の就職支援全般について、どの程度満足していますか。
選択肢		1 2 3 4 5	1 満足 2 どちらかといえば満足 3 どちらかといえば不満 4 不満 5 利用したことがない・わからない
問4	形式	No.	本学の施設や設備等に関して、どの程度満足していますか。
項目	SA	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	1 各施設の学生ラウンジ、インタラクティブスペース、KOMOREBI(コモレビ)等 2 学生食堂 3 生協 4 大学バス 5 学内Wi-Fi 6 ポータル 7 トイレ 8 学生会館（新座キャンパス） 9 図書館 10 保健室 11 本学の施設や設備全般について、どの程度満足していますか

設問	回答	番号	設問項目
選択肢		1 2 3 4 5	満足 どちらかといえば満足 どちらかといえば不満 不満 利用したことがない・わからない
問5	形式	No.	本学の下記の窓口や相談方法について、どの程度満足していますか。
項目	SA	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	保健室の対応（応急措置、健康診断・健康相談） 学生課の対応（クラブ・サークル活動、奨学金、学割、住所変更など） 学生相談室の対応（カウンセリング） 学生支援室の対応（要支援学生の支援） 教務課の対応（授業時間割、休講、履修、単位修得、定期試験、資格課程、授業欠席、公開講座など） 庶務課の対応（大学公示、大学バス、個人情報保護、施設利用、火災予防・災害防止、警備など） 地域交流課の対応（地域連携に関する事） 国際交流課の対応（留学・海外研修に関する事） 図書課の対応（図書館の資料・施設に関する事、レファレンスサービスに関する事） 就職課の対応（卒業後の進路に関する事、キャリア支援に関する事、アルバイトに関する事） 情報サービス課の対応（メール、ポータル、Microsoft365、情報メディアセンター各施設など） 本学の窓口や相談方法全般について、どの程度満足していますか
選択肢		1 2 3 4 5	満足 どちらかといえば満足 どちらかといえば不満 不満 利用したことがない・わからない
問6	形式	No.	クラブ、サークル、学生会活動等について、どの程度満足していますか
選択肢	SA	1 2 3 4 5	満足 どちらかといえば満足 どちらかといえば不満 不満 利用したことがない・わからない
問7	形式	No.	学内における友人関係について、どの程度満足していますか
選択肢	SA	1 2 3 4	満足 どちらかといえば満足 どちらかといえば不満 不満
問8	形式	No.	本学での教育・学習、学生生活等に関して、全体としてどの程度満足していますか
選択肢	SA	1 2 3 4	満足 どちらかといえば満足 どちらかといえば不満 不満
問9	形式	No.	あなたは入学後に、「学内」で何らかの犯罪や被害・トラブルにあったことがありますか。
項目	SA	1 2 3 4 5 6	マルチ商法、悪徳販売、高額セミナーによる被害 宗教勧誘の被害 ハラスメント、ストーカーなどの被害 盗難、恐喝 けんかなどの暴行 その他
選択肢		1 2	ある ない

設問	回答	番号	設問項目
問10	形式	No.	あなたは入学後に、「学外」で何らかの犯罪や被害・トラブルにあったことがありますか。
項目	SA	1	マルチ商法、悪徳販売、高額セミナーによる被害
		2	宗教勧誘の被害
		3	ハラスメント、ストーカーなどの被害
		4	盗難、恐喝
		5	けんかなどの暴行
		6	急性アルコール中毒
		7	交通事故
		8	アルバイト先での賃金未払いや不当解雇の被害
		9	その他
選択肢		1	ある
		2	ない
問11	形式	No.	次の活動をしている1週間あたりの時間数を平均的にみると、どのくらいですか。
項目	SA	1	大学の授業の予習・復習等の1週間あたりの学修時間
		2	大学の授業とは直接関係のない（検定・資格・語学等）1週間あたりの学修時間
		3	学内のクラブ・サークル・委員会等の1週間あたりの活動時間
		4	大学とは関係のないクラブ・サークルの1週間あたりの活動時間
		5	1週間あたりのボランティアの活動時間
		6	1週間あたりの国際交流（留学生との交流等）の活動時間
		7	1週間あたりの地域の活動時間
		8	1週間あたりのアルバイト時間
選択肢		1	1週間あたり、およそ（ ）時間 ※5時間までは1時間刻み、5時間以上は5～10時間と10時間以上で集計
問12	形式	No.	資格取得に向けた学修や行動について
項目	SA	1	あなたの学修や進路（就職）のために、必要な資格や免許等がありますか。
選択肢		1	ある
		2	ない
		3	わからない・未定
問13	形式	No.	資格取得に向けた学修や行動について
項目	SA	1	（問12で「ある」と回答した人限定）必要な資格取得に向けて勉強や行動をしていますか。
		1	すでに取得している
		2	取得のために、勉強や行動をしている
		3	取得は考えているが、具体的に行動していない
問14	形式	No.	資格取得に向けた学修や行動について
	MA/FA	1	（問13で「すでに取得している」または「取得のために勉強や行動をしている」と回答した人限定）資格名を正式名称で記載してください
		1	取得資格名
問15	形式	No.	あなたは本学の建学の精神や理念、教育目標を知っていますか。
選択肢	SA	1	よく知っている
		2	だいたい知っている
		3	あまり知らない
		4	知らない
問16	形式	No.	あなたは自分が在籍する学部・学科の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を知っていますか。
選択肢	SA	1	よく知っている
		2	だいたい知っている
		3	あまり知らない
		4	知らない

設問	回答	番号	設問項目
問17 項目	形式 SA	No. 1	本学の学びは、あなたが次のようなスキルや知識等を身に着けるために、どの程度役立っていますか。
		1	広い視野をもって専門知識を体系的に理解する力。
		2	価値観の多様性を理解し、他者に働きかけるコミュニケーションスキルと表現力。
		3	問題を発見し、解決に導く論理的思考力。
		4	生涯にわたって活かすことのできる、実践と結びついた豊かな教養と創造力。
		5	現代社会のさまざまな場面において、協働して目標を達成できる力。
選択肢		1	大変役立っている
		2	まあま役に立っている
		3	どちらとも言えない
		4	あまり役立っていない
		5	役に立っていない
問18	形式 FA	No.2	自由記述（本学への要望）
		1	本学への要望や意見などがありましたら記入してください。
2025特別設問			
問19 選択肢	形式 SA	No. 1	あなたは、現在、学内のクラブ・サークル・委員会のいずれかに所属していますか？
		2	所属していない
問20 選択肢	形式 MA	No. 1	（Q19で「はい」と答えた人限定）所属しているのは、次のどれですか？（複数選択可）
		2	クラブ
		3	サークル
		3	委員会
問21 選択肢	形式 MA	No. 1	（※Q19で「はい」と答えた人限定）所属している理由を教えてください（複数選択可）
		2	興味のある活動内容だったから
		3	友人に誘われたから
		4	新しい人間関係を築きたかったから
		5	スキルや経験を得たかったから
		6	楽しそうだったから
		6	その他（自由記述）
問22 選択肢	形式 MA	No. 1	（Q19で「いいえ」と答えた人限定）クラブ・サークル・委員会に参加していない理由を教えてください（複数選択可）
		2	興味のある団体がなかった
		3	他大学のインカレに所属している
		4	学業やアルバイトで忙しい
		5	人間関係に不安がある
		6	入部・入会のタイミングを逃した
		7	一人で過ごす時間を大切にしたい
		8	団体に関する情報が不足していた
		9	過去に参加していたが辞めた
		9	その他（自由記述）
問23 選択肢	形式 MA	No. 1	（※Q19で「いいえ」と答えた人限定）どのような条件が整えば参加したいと思いますか？（複数選択可）
		2	興味のある活動があること
		3	初心者でも歓迎される雰囲気
		4	参加しやすい時間帯・頻度
		5	友人と一緒に参加できること
		6	費用がかからないこと
		7	情報がわかりやすく提供されていること
		7	その他（自由記述）

SA:シングルアンサー（単一回答）
MA:マルチプルアンサー（複数回答）
MA/FA:複数回答にFAを含む
FA:フリーアンサー（自由記述回答）